# 取扱説明書

## Home Cinema

# EH-TW8100
# EH-TW8100W

**お使いになる前に**

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。

本製品を、安全に正しくお使いいただくために、添付のマニュアル類をよくお読みください。不明な点はいつでも解決できるように、その後はすぐに見られる場所に大切に保存してください。

# 各説明書の使い方

本機の説明書は次のとおり構成されています。

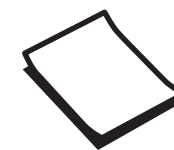
### 安全にお使いいただくために/ サポートとサービスのご案内

本機を安全にお使いいただくための注意事項とサポート・サービスのご案内、トラブルチェックシートなどが記載されています。使い始める前に、必ずご覧ください。

### 取扱説明書（本書）

本機を使い始めるまでの準備や基本操作、環境設定メニューの使い方と、困ったときの対処方法、お手入れの方法などについて記載しています。

### 3Dメガネ　取扱説明書

3Dメガネの取り扱い方法や注意などについて記載しています。

### WirelessHDトランスミッター　取扱説明書

WirelessHDトランスミッターの取り扱い方法や注意などについて記載しています。

# 説明書中の表示の意味

## 安全に関する表示

取扱説明書および本機には、本機を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。
その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

## 一般情報に関する表示

注意

本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。

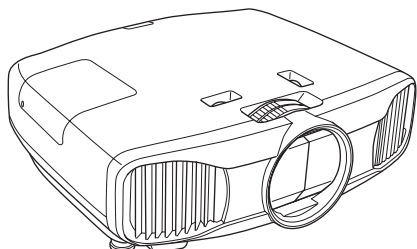
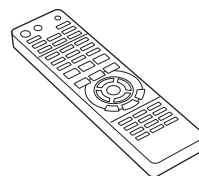
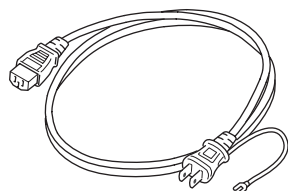
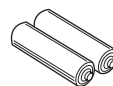
| | |
|---|---|
| | 関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。 |
| ☛ | 関連事項やより詳しい説明を記載しているページを示しています。 |
| [メニュー名] | 環境設定メニューの項目を示しています。<br>例：[画質] － [カラーモード] |
| ボタン名 | リモコンまたは操作パネルのボタンを示しています。<br>例：Menu ボタン |

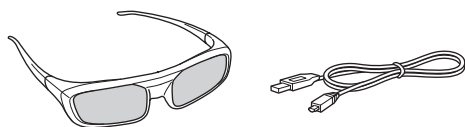
## 「本機」または「本プロジェクター」という表記について

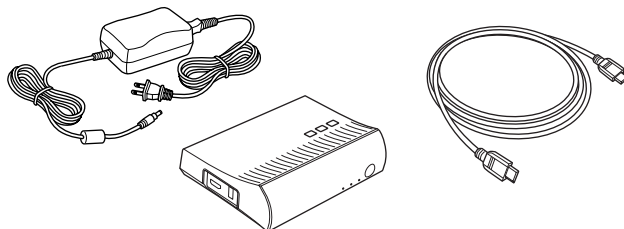
本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほかに同梱品やオプション品も含まれる場合があります。

# 同梱品の確認

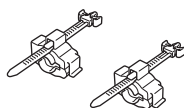
下記をご覧になり、同梱品を確認してください。
万一、不足や不良がありましたら、お手数ですがお買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

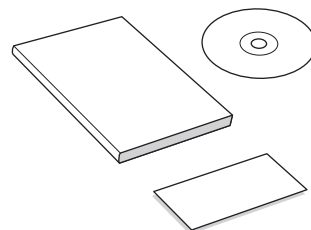
**プロジェクター本体**

**リモコン** ☛ p.12

**電源ケーブル**

**単3形アルカリ乾電池（2本）** ☛ p.23

**3Dメガネ一式** ☛ p.44

3Dメガネの同梱品は、3Dメガネの
取扱説明書をご覧ください。

**WirelessHDトランスミッター一式（EH-TW8100Wのみ）** ☛ p.51

HDMIケーブルは2mです。

**USB充電AC電源アダプター** ☛ p.44

（3Dメガネ充電用、
EH-TW8100のみ）

**HDMIケーブルクランプ（2個）** ☛ p.22

**説明書** ☛ p.1

**保証書**

## 説明書の構成と表示の意味


**各説明書の使い方 .................... 1**

**説明書中の表示の意味 ................ 2**

安全に関する表示 ...................... 2

一般情報に関する表示 .................. 2

「本機」または「本プロジェクター」という表記について ...................... 2

**同梱品の確認 ........................ 3**


## はじめに


**本機の特長 .......................... 7**

臨場感あふれる3D立体表示 .............. 7

使用環境に合わせた映像切り替え（カラーモード） ............................ 7

こだわりの色調整 ...................... 8

WirelessHD規格の無線伝送に対応（EH-TW8100Wのみ） .................... 8

映像をより楽しむための機能 ............ 8

**各部の名称と働き .................... 9**

前面/ 上面 ............................ 9

操作パネル ........................... 10

リモコン ............................. 12

背面 ................................. 15

底面 ................................. 16

**外形寸法図 ......................... 17**


## 使い始めるまでの準備


**設置しよう ......................... 18**

いろいろな投写方法 ................... 18

投写サイズを調整する ................. 19

**機器と接続しよう ................... 20**

ビデオ機器との接続 ................... 20

コンピューターとの接続 ............... 21

外部機器との接続 ..................... 21

Trigger out端子の接続 ................ 21

WirelessHD機器の接続（EH-TW8100Wのみ） ............................... 21

インターフェイスカバーの外し方 ....... 22

HDMIケーブルクランプの接続 ........... 22

**リモコンを準備しよう ............... 23**

リモコンに電池をセットする ........... 23

リモコンの操作範囲 ................... 23

操作可能範囲（左右） ................. 23

操作可能範囲（上下） ................. 23


## 基本操作


**投写と終了のしかた ................. 24**

電源を入れて投写する ................. 24

目的の映像が映らない場合 ............. 25

電源の切り方 ......................... 25

**投写画面を調整しよう ............... 27**

テストパターン表示 ................... 27

ピント調整（フォーカス調整） ......... 27

投写サイズの調整（ズーム調整） ....... 27

本機の傾きを調整する ................. 28

投写映像の位置調整（レンズシフト） ... 28

台形ゆがみを補正する ................. 29

映像を一時的に消す ................... 29


## 画質の調整


**画質の調整をしよう ................. 30**

映り具合を選ぶ（カラーモード） ....... 30

画面をワイドやズームに切り替える（アスペクト） ............................. 31

**こだわりの色調整をしよう ........... 33**

色相・彩度・明度の調整 ............... 33

ガンマの調整 ......................... 33

補正値を選んで調整する ............... 34

映像を見ながら調整する ............... 34

ガンマ調整グラフで調整する ........... 34

RGBの調整（オフセット・ゲイン） ..... 35

絶対色温度 ........................... 35

肌の色調整 ........................... 35

**さらに画質を究めよう ............... 36**

シャープネスの調整 ................... 36

オートアイリス（自動絞り）の設定 ..... 37

フレーム補間 ......................... 37

超解像 .... 38
液晶アライメント補正 .... 38
映像処理 .... 39
**登録した画質で映像を見る（メモリー機能） .... 40**
登録できる機能 .... 40
メモリーの登録 .... 40
メモリーの呼出し .... 41
メモリーの削除 .... 41
メモリー名称変更 .... 41

## 便利な機能

**3Dを楽しもう .... 43**
3Dに設定する .... 43
3D映像が見えないときは .... 43
3Dメガネを使用する .... 44
3Dメガネを充電する .... 44
3Dメガネをペアリングする .... 45
3Dメガネの装着 .... 45
3D映像を見る範囲 .... 46
3D映像視聴に関する注意 .... 47
2D映像を3Dに変換して見る .... 50
**WirelessHDで接続する（EH-TW8100Wのみ） .... 51**
WirelessHDトランスミッターの取り付け .... 51
WirelessHDトランスミッターの各部の名称 .... 52
WirelessHDトランスミッターをセットする .... 53
映像を投写する .... 54
WirelessHDの設定メニュー .... 55
WirelessHDの通信範囲 .... 56
WirelessHDトランスミッターの便利な機能 .... 57
映像出力先を切り替える .... 57
映像ソースの切り替え .... 58
リモコンの操作範囲 .... 60
**HDMIリンクで操作しよう .... 61**
HDMIリンク機能 .... 61
HDMIリンク設定 .... 61
接続機器一覧 .... 62
**2種類の映像を切り替える .... 63**
同時に表示できる画面の種類 .... 63
2画面で投写する .... 63
2画面表示を開始する .... 63
2画面の設定を変更する .... 64

## 環境設定メニュー

**環境設定メニューの機能 .... 65**
環境設定メニューの操作 .... 65
環境設定メニュー一覧 .... 66
画質メニュー .... 66
映像メニュー .... 68
設定メニュー .... 71
拡張設定メニュー .... 73
メモリーメニュー .... 75
情報メニュー .... 75
初期化メニュー .... 75
2画面メニュー .... 76

## 困ったときに

**故障かなと思ったら .... 77**
インジケーターの見方 .... 77
異常/警告時のインジケーターの状態 .... 77
正常動作時のインジケーターの状態 .... 78
インジケーターを確認してもわからないとき .... 79
現象の確認 .... 79
映像に関するトラブル .... 80
投写開始時のトラブル .... 84
リモコンでのトラブル .... 84
3Dでのトラブル .... 85
HDMIのトラブル .... 85
WirelessHDのトラブル（EH-TW8100Wのみ） .... 86

## メンテナンス

**お手入れの方法 .... 88**
各部の掃除 .... 88

エアフィルターの掃除 . . . . . . . . . . . . . . . 88
本体の掃除 . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . 89
レンズの掃除 . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . 90
3Dメガネの掃除 . . . . . . . . . . . . . . . . . . 90
消耗品の交換時期 . . . . . . . . . . . . . . . . . . . 90
エアフィルターの交換時期 . . . . . . . . . . . 90
ランプの交換時期 . . . . . . . . . . . . . . . . . 90
消耗品の交換 . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . 91
エアフィルターの交換方法 . . . . . . . . . . . 91
ランプの交換方法 . . . . . . . . . . . . . . . . . 92
ランプ点灯時間初期化 . . . . . . . . . . . . . . . 93

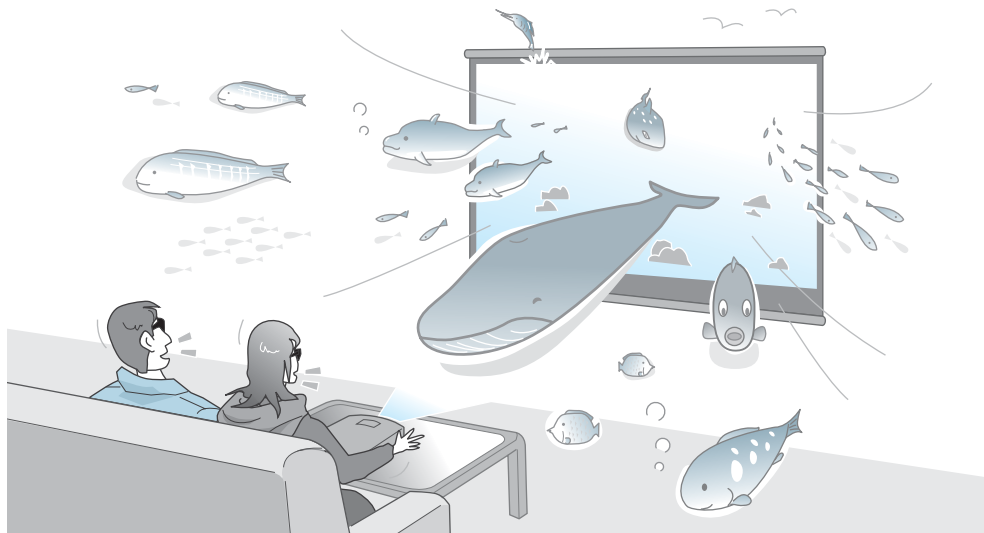
## 付録

**オプション・消耗品一覧 . . . . . . . . . . . . 95**
オプション品 . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . 95
消耗品 . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . 95
**対応解像度一覧 . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . 96**
コンポーネントビデオ . . . . . . . . . . . . . . . . 96
コンポジットビデオ . . . . . . . . . . . . . . . . . . 96
コンピューター映像（アナログRGB） . . . . 96
HDMI1/HDMI2入力信号 . . . . . . . . . . . . . . 97
3D入力信号 . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . 97
WirelessHD入力信号 . . . . . . . . . . . . . . . . 97
**仕様一覧 . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . 98**
**用語解説 . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . 100**
**一般のご注意 . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . 101**
商標について . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . 102

# 本機の特長

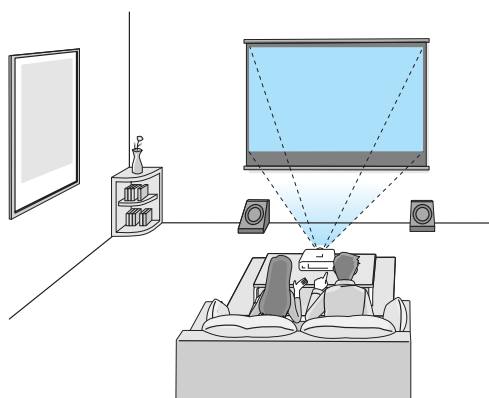
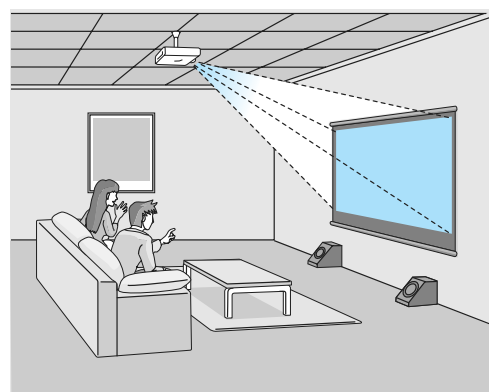
## 臨場感あふれる3D立体表示

3D機能により、ブルーレイなどの3Dコンテンツや3Dカメラで撮影した映像を、大迫力の投写映像で楽しめます。 ☛ p.43

また、従来の2D映像を3Dに変換して楽しむこともできます。 ☛ p.50

3D視聴は、3D Active Shutter Eyewear Technologyに準拠した専用の3Dメガネが必要です。
☛ p.44

## 使用環境に合わせた映像切り替え（カラーモード）

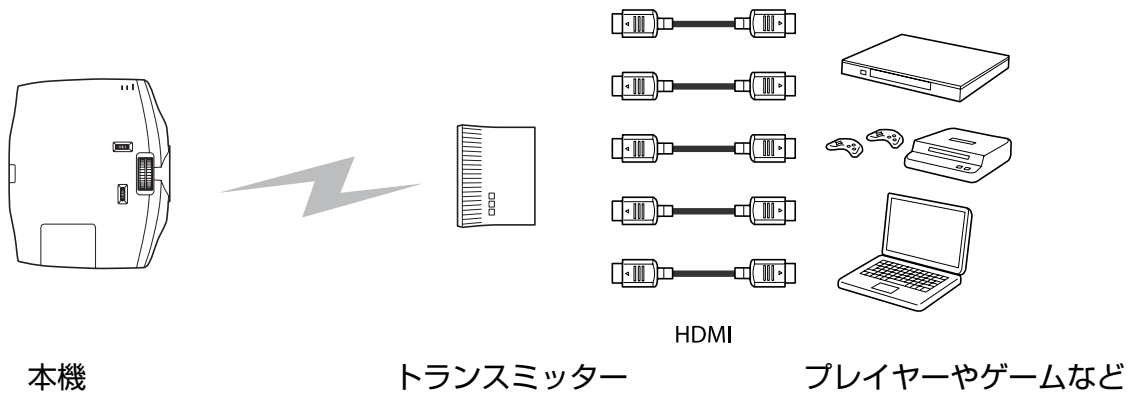
使用シーンに応じて［カラーモード］を選択するだけで最適な映像を投写できます。 ☛ p.30

設定例

リビング
明るい部屋での使用に

シネマ
暗い部屋で映画やコンサート映像に

## こだわりの色調整

カラーモードに加え、お好みに合わせて映像の絶対色温度や肌の色を簡単に調整できます。 ☛ p.35
さらに、ガンマ調整、RGB各色のオフセットやゲインの調整、RGBCMY各色の色相•彩度•明度の調整を組み合わせて、映像に合わせた思い通りの色を実現できます。 ☛ p.33

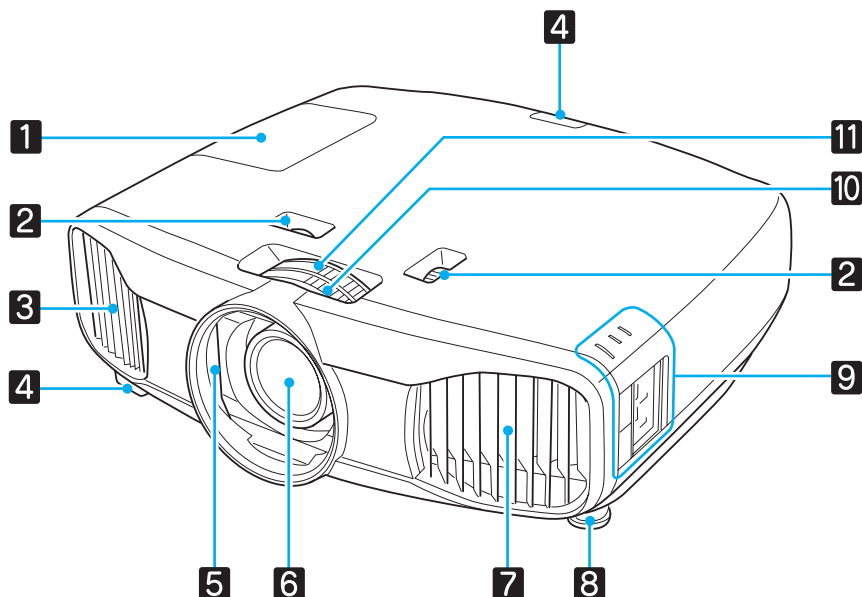
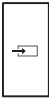
## WirelessHD規格の無線伝送に対応（EH-TW8100Wのみ）

WirelessHDに対応したAV機器から無線伝送で映像データを受信できます。プロジェクター本体に、直接ケーブルで接続する必要はありません。
WirelessHDトランスミッターには、一度に5台までのAV機器を接続でき、リモコンで映像を切り替えられます。
また、テレビなど他の出力機器を接続して出力先を切り替えることもできます。しかも、プロジェクターの電源がオフでも、接続されたAV機器の映像を、他の出力機器に投写できます。☛ p.51

## 映像をより楽しむための機能

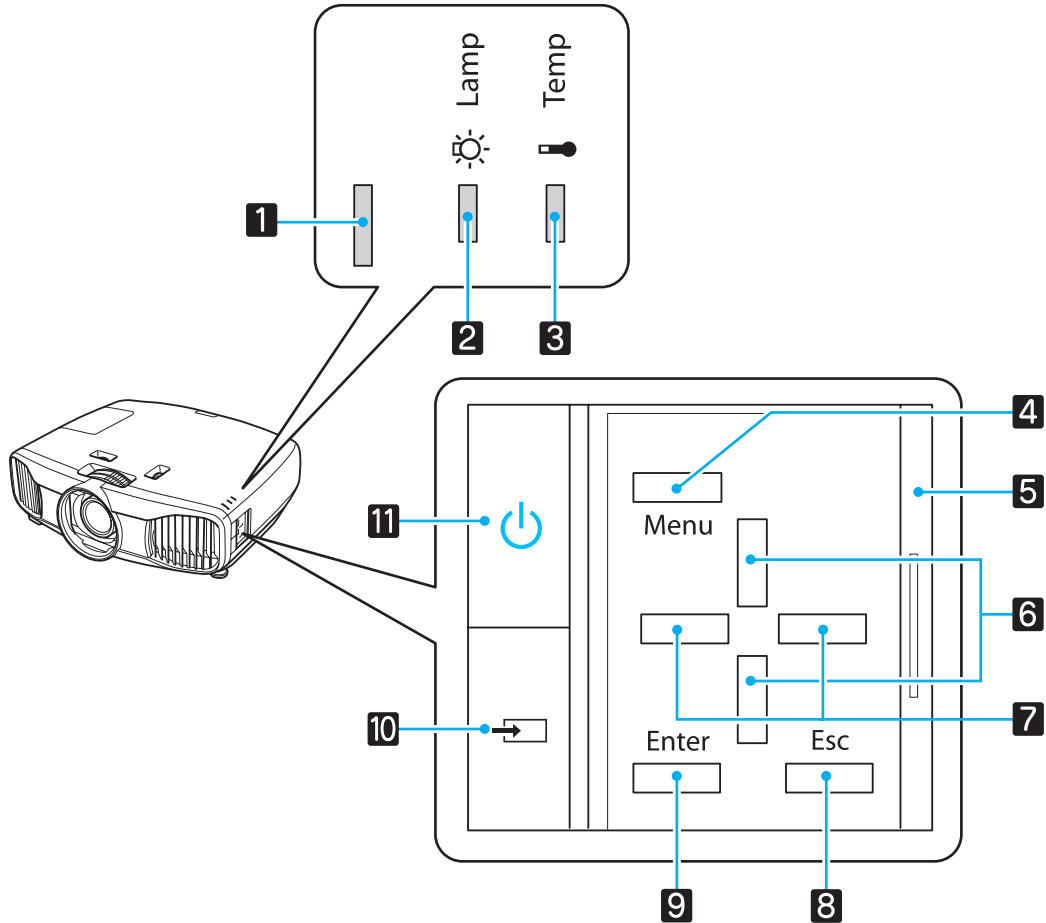
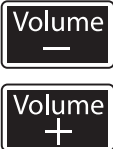
その他にも、次のような多彩な機能があります。

- 暗い部屋での十分な視認性と操作性を備えたバックライト付きリモコン。操作も簡単、 ☼ ボタンを押すだけです。 ☛ p.12
- 真正面に設置できない場所でも、投写位置を調整できるレンズシフト。投写範囲のサイズを変えることなく、正面位置から上下左右に投写位置を移動できるので、配置の自由度が広がります。 ☛ p.28
- 前後のフレームの中間画像を生成する［フレーム補間］機能により、コマ飛びのような動きのぎこちなさを抑えた滑らかで美しい動画映像を楽しめます。 ☛ p.37
- ［超解像］機能により、DVD映像を高い解像感で楽しめます。また、フルハイビジョン映像の低解像度部分（ボケた部分）も滑らかで鮮明な映像にできます。 ☛ p.38

# 各部の名称と働き

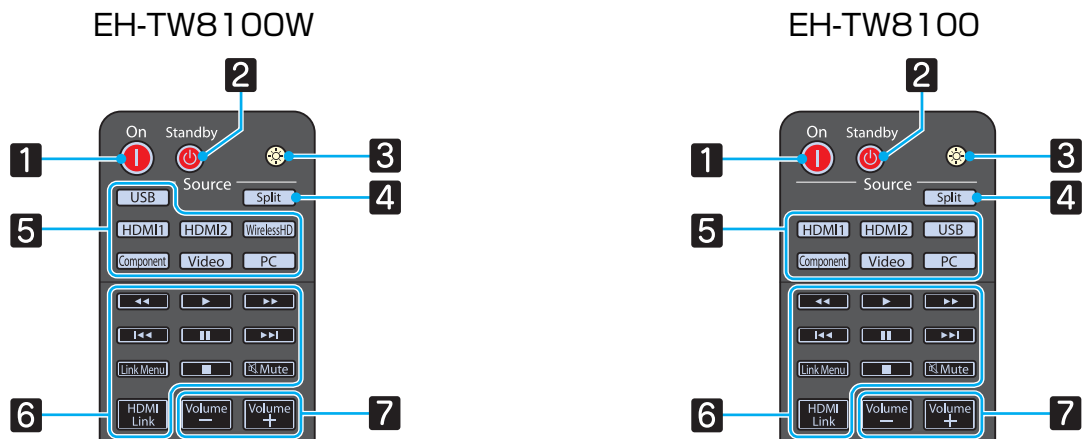
## 前面/ 上面

| | 名称 | 機能 |
|---|---|---|
| 1 | ランプカバー | ランプ交換時に、このカバーを開けて中のランプを交換します。 ☛ p.92 |
| 2 | レンズシフトダイヤル | 投写映像の位置を調整します。 ☛ p.28 |
| 3 | 排気口 | 本機内部を冷却した空気の吐き出し口です。<br>⚠ 注意<br>投写中は手や顔を排気口に近づけたり、変形など、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置かないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となります。 |
| 4 | リモコン受光部 | リモコン信号を受信します。 ☛ p.23 |
| 5 | レンズシャッター | 本機の電源を切ると自動的に閉じられ、レンズを傷や汚れから保護します。 ☛ p.24 |
| 6 | 投写レンズ | ここから映像を投写します。 |
| 7 | エアフィルターカバー | エアフィルターの掃除や交換時にこのカバーを開けてエアフィルターを取り出します。 ☛ p.88、 p.91 |
| | 吸気口 | 本機内部を冷却するための空気の吸い込み口です。 |
| 8 | フロントフット | 机上に設置したとき、水平方向の傾きを調整するときに伸ばします。 ☛ p.28 |
| 9 | 操作パネル | 本体側面にある操作パネルです。操作パネルカバーを開けて操作します。 ☛ p.10 |
| 10 | フォーカスリング | 映像のピントを合わせます。 ☛ p.27 |

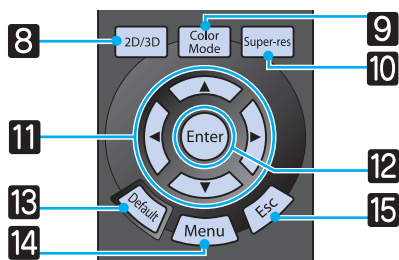
| | 名称 | 機能 |
|---|---|---|
| 11 | ズームリング | 映像のサイズを調整します。 ☛ p.27 |

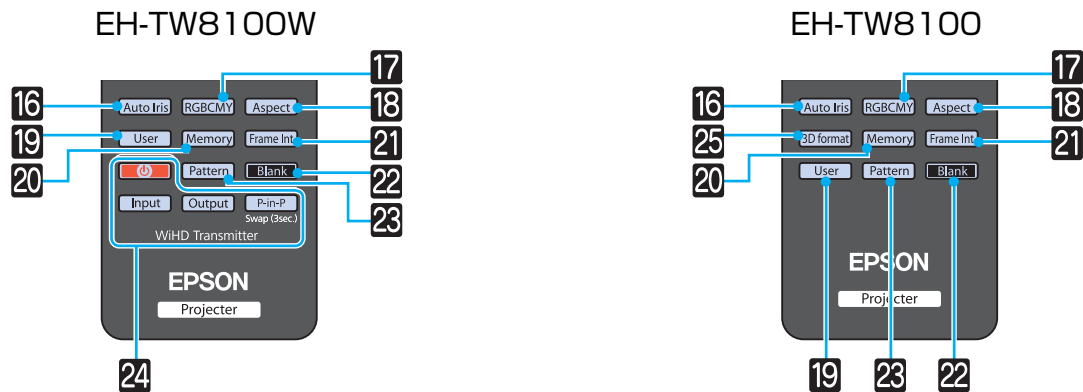
## 操作パネル

| | ボタン/インジケーター | 機能 |
|---|---|---|
| 1 | | ウォームアップ中、クールダウン中を点滅で示します。他のインジケーターとの組み合わせで本機の状態を点灯・点滅で示します。 ☛ p.77 |
| 2 | | ランプ交換の時間に達するとオレンジ色に点滅します。他のインジケーターとの組み合わせで本機に発生した異常を色や点灯・点滅で示します。 ☛ p.77 |
| 3 | | 内部が高温になるとオレンジ色に点滅します。他のインジケーターとの組み合わせで本機に発生した異常を色や点灯・点滅で示します。 ☛ p.77 |
| 4 | Menu | 環境設定メニューを表示/終了します。<br>環境設定メニューでは、映像、画質、入力信号などの調整や設定を行うことができます。 ☛ p.65 |
| 5 | 操作パネルカバー | 操作パネルのカバーです。操作パネルを使用するときはツマミをスライドして開けます。 ☛ p.29 |

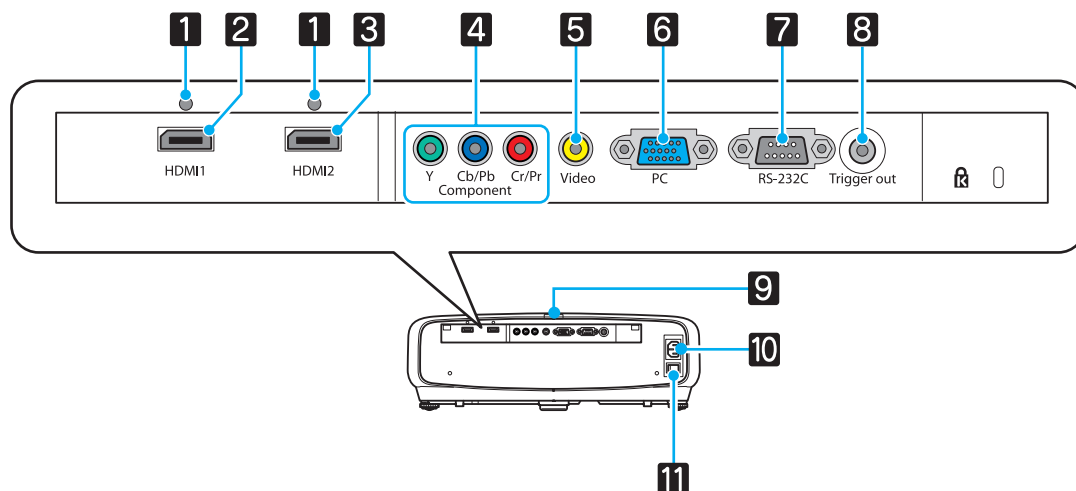
| ボタン/インジケーター | | 機能 |
|---|---|---|
| 6 | | 台形ゆがみやメニュー項目の調整値を選択します。 ☛ p.29 |
| 7 | | メニュー項目の調整値を選択します。 ☛ p.65 |
| 8 | Esc | メニュー表示中、1つ上の階層に戻ります。 ☛ p.65 |
| 9 | Enter | メニュー表示中に機能や設定値を選択します。 ☛ p.65 |
| 10 | | 各入力端子からの映像に切り替えます。 ☛ p.25 |
| 11 | | プロジェクターの電源をオン/オフします。 ☛ p.24<br>プロジェクターに電源が供給されているときに点灯します。 ☛ p.78 |

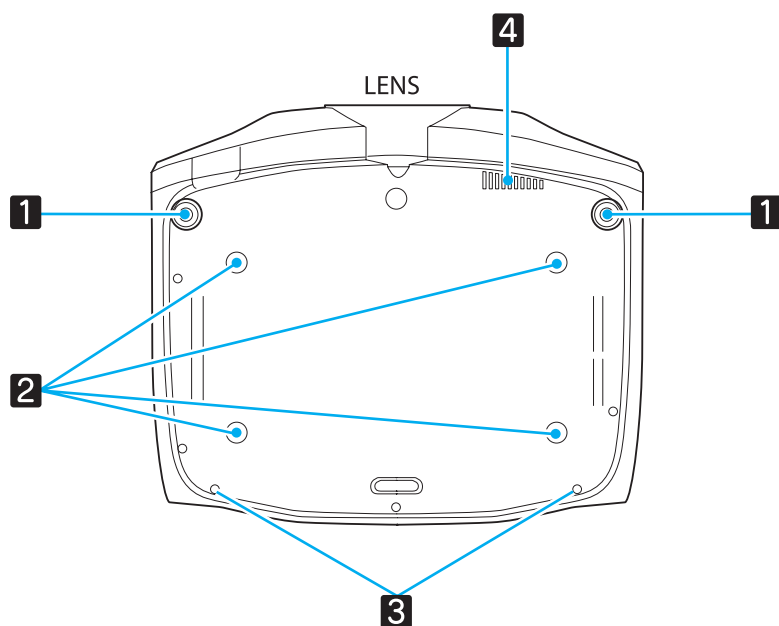
# リモコン

## 上段のボタン

| ボタン | | 機能 |
|---|---|---|
| 1 | On | プロジェクターの電源をオンします。 ☛ p.24 |
| 2 | Standby | プロジェクターの電源をオフします。 ☛ p.25 |
| 3 | | リモコン上のボタンが約10秒間光ります。暗がりでリモコンを操作するときに便利です。 |
| 4 | Split | 画面を2つに分割して、2種類の映像ソースを同時に投写します。 ☛ p.63 |
| 5 | USB<br>HDMI1<br>HDMI2<br>WirelessHD<br>Component<br>Video<br>PC | 各入力端子からの映像に切り替えます。 ☛ p.25 |
| 6 | HDMI Link | このボタンはHDMIリンクの設定メニューを表示するボタンです。<br>その他のボタンでは、HDMI CEC規格に対応した接続機器の再生、停止などを操作します。 ☛ p.61 |
| 7 | Volume −<br>Volume ＋ | HDMI CEC規格に対応した接続機器の音量を調整します。 |

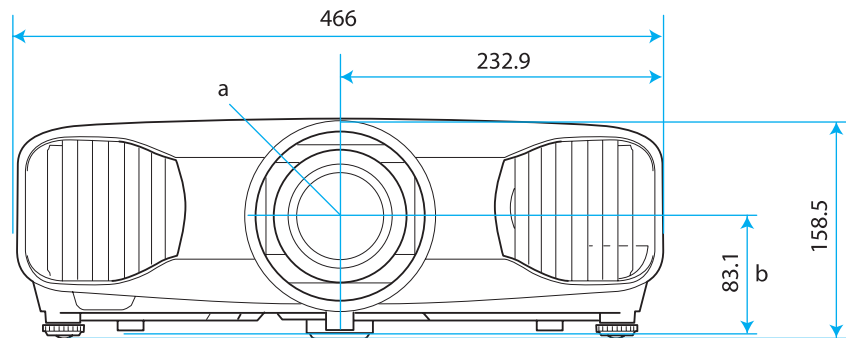
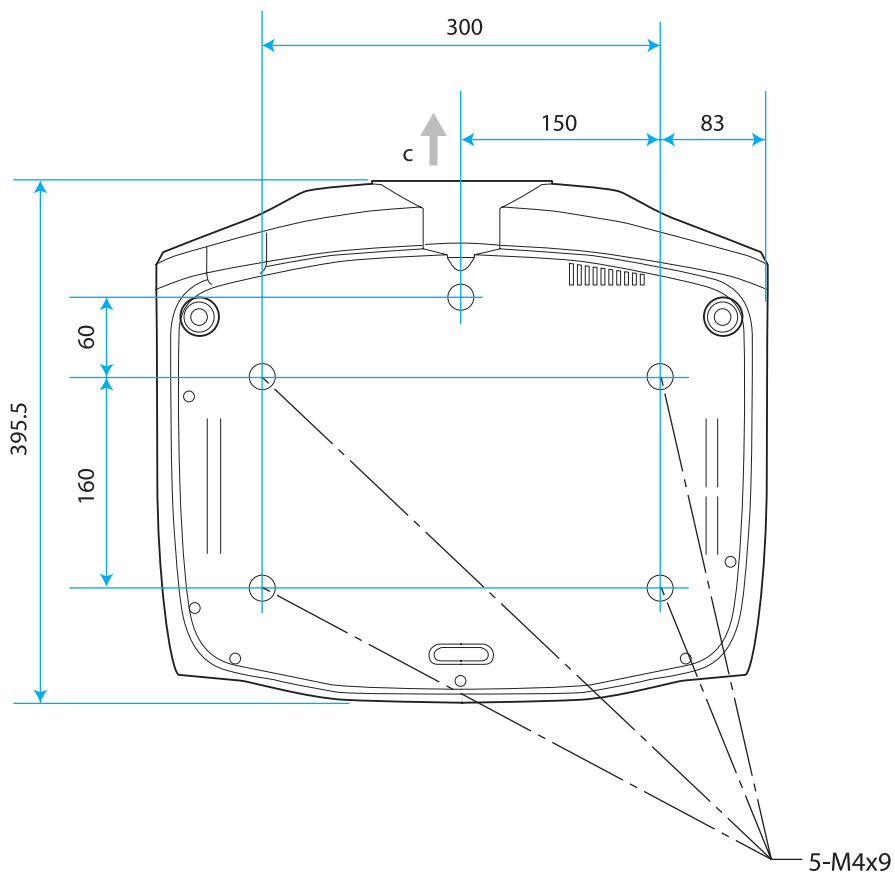
## 中段のボタン

| ボタン | | 機能 |
|---|---|---|
| 8 | 2D/3D | 2Dと3Dの切り替えをします。 ☛ p.43 |
| 9 | Color Mode | ［カラーモード］を切り替えます。 ☛ p.30 |
| 10 | Super-res | エッジ部分などのボケを低減する［超解像］を設定します。 ☛ p.38 |
| 11 | ▲ ▼ ◀ ▶ | メニュー項目や調整値を選択します。 ☛ p.65 |
| 12 | Enter | メニューの表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。 ☛ p.65 |
| 13 | Default | メニューの調整画面が表示されているときに押すと、調整値が初期値に戻ります。 ☛ p.65 |
| 14 | Menu | 環境設定メニューを表示/終了します。<br>環境設定メニューでは、映像、画質、入力信号などの調整や設定を行うことができます。 ☛ p.65 |
| 15 | Esc | メニュー表示中、1つ上の階層に戻ります。 ☛ p.65 |

### 下段のボタン

| ボタン | | 機能 |
|---|---|---|
| 16 | Auto Iris | オートアイリスを設定します。 ☛ p.37 |
| 17 | RGBCMY | RGBCMYの各色に対して色相、彩度、明度を調整します。 ☛ p.33 |
| 18 | Aspect | 入力信号に応じてアスペクトモードを選択します。 ☛ p.31 |
| 19 | User | ユーザーボタンに割り当てた機能を実行します。 ☛ p.71 |
| 20 | Memory | メモリーの登録・呼出・削除をします。 ☛ p.40 |
| 21 | Frame Int | フレームを補間することで、素早い動きでのぎこちなさを少なくし、滑らかでくっきりした映像に調整します。 ☛ p.37 |
| 22 | Blank | 映像を一時的に消す/再開します。 ☛ p.29 |
| 23 | Pattern | テストパターンを表示/終了します。 ☛ p.27 |
| 24 | ⏻<br>Input<br>Output<br>P-in-P | WiHD Transmitter制御<br>WirelessHDトランスミッターの電源を入れたり入出力を切り替えます。<br>WirelessHDトランスミッターに向けて操作します。 ☛ p.51 |
| 25 | 3D format | 3Dフォーマットを変更します。 ☛ p.68 |

## 背面

| | 名称 | 機能 |
|---|---|---|
| 1 | ケーブルホルダー | 外径の太いHDMIケーブルなどは、ケーブルの重さでコネクターが抜けやすくなることがあります。差し込みが不完全にならないよう、同梱のHDMIケーブルクランプでケーブルを固定します。 ☛ p.22 |
| 2 | HDMI1入力端子 | HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターを接続します。 ☛ p.20 |
| 3 | HDMI2入力端子 | |
| 4 | Component入力端子 | ビデオ機器のコンポーネント（YCbCrやYPbPr）出力端子と接続します。 ☛ p.20 |
| 5 | Video入力端子 | ビデオ機器のコンポジットビデオ出力端子と接続します。 ☛ p.20 |
| 6 | PC入力端子 | コンピューターのRGB出力端子と接続します。 ☛ p.21 |
| 7 | RS-232C端子 | 本機を制御するときに、RS-232Cケーブルでコンピューターと接続します。制御用の端子で通常は使用しません。 ☛ p.98 |
| 8 | Trigger out端子 | 電動スクリーンなどの外部機器に接続します。 ☛ p.21 |
| 9 | リモコン受光部 | リモコン信号を受光します。 ☛ p.23 |
| 10 | 電源端子 | 電源ケーブルを接続します。 ☛ p.24 |
| 11 | 主電源スイッチ | 本機の電源をオン/オフします。 |

## 底面

| | 名称 | 機能 |
|---|---|---|
| 1 | フロントフット | 机上に設置したとき、水平方向の傾きを調整するときに伸ばします。<br>☛ p.28 |
| 2 | 天吊固定部（4箇所） | 天井から吊り下げて使うとき、オプションの天吊り金具を取り付けます。<br>☛ p.95 |
| 3 | ケーブルカバー固定ネジ | オプションのケーブルカバーを取り付けます。 |
| 4 | 排気口 | WirelessHD受信機を冷却した空気の吐き出し口です。天吊り時に、この部分にホコリがたまらないように設置してください。 |

# 外形寸法図

単位：mm

a　レンズ中心
b　レンズ中心から天吊り固定部までの寸法
c　レンズ向き

# 設置しよう

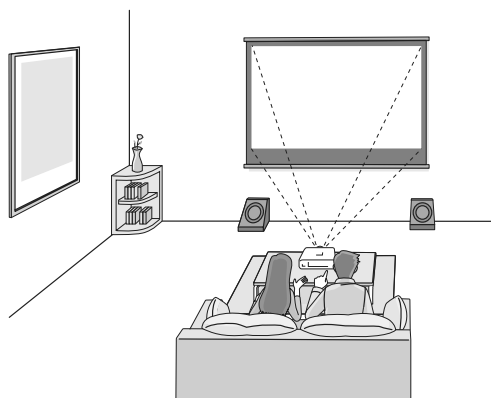
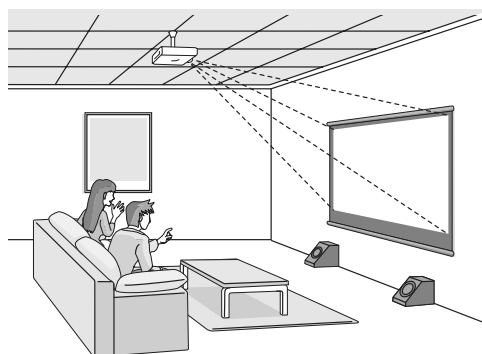
## いろいろな投写方法

警告

- 天井への取り付け（天吊り設置）工事は、特別な技術が必要となります。正しく工事が行われないと、落下によりけがや事故の原因となります。
- プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤•潤滑剤•油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下し事故やけがの原因となります。天吊り設置や天吊り金具の調整に際しては、ネジゆるみ止め用接着剤•潤滑剤•油などを使用しないでください。
- 本機を縦置き状態にして投写しないでください。故障の原因となります。
- 湿気やホコリの多い場所•油煙やたばこなどの煙が当たる場所への設置は、できるだけ避けてください。

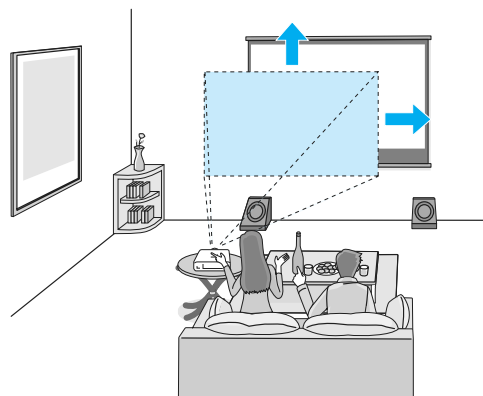
注意

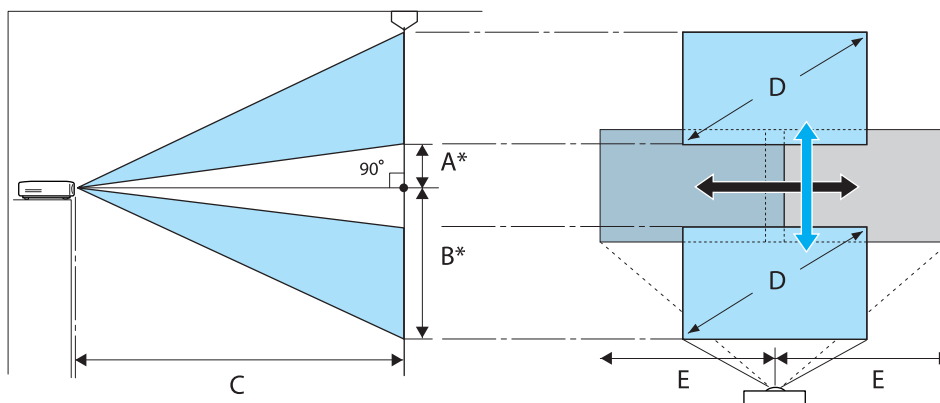
エアフィルターは約3ヶ月に一度は掃除してください。ホコリの多い環境では、より短い周期で掃除を行ってください。 ☛ p.91

### 机などに置いて投写する

### 天吊りして投写する

天吊りにして投写する場合は、［設置モード］を天吊りの設定に変更します。 ☛ ［設定］-［設置モード］ p.71

### レンズシフトを利用する

レンズシフトで、投写位置を上下左右に補正できます。

真正面に設置できない場合など、映像がゆがむことなく投写位置を調整できるので、設置場所を自由に選べます。

## 投写サイズを調整する

本機をスクリーンから離すほど、投写画面は大きくなります。次の表を参考にして、スクリーンに映像が最適な大きさで映るように設置してください。値は目安です。

* レンズの中心から、投写映像の端までの距離です。
(A：レンズシフトを上に最大にした場合)
(B：レンズシフトを下に最大にした場合)
(E：レンズシフトを左右最大にした場合)

単位：cm

| 16:9 スクリーンサイズ | | 投写距離（C） | | レンズシフトの最大値※ | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| D | W x H | 最短（Wide） | 最長（Tele） | 距離（A） | 距離（B） | 距離（E） |
| 40型 | 89 x 50 | 117 | 252 | 23 | 73 | 42 |
| 60型 | 130 x 75 | 177 | 380 | 34 | 109 | 63 |
| 80型 | 180 x 100 | 238 | 508 | 46 | 145 | 83 |
| 100型 | 220 x 120 | 298 | 636 | 57 | 181 | 104 |
| 120型 | 270 x 150 | 359 | 764 | 68 | 218 | 125 |
| 150型 | 330 x 190 | 450 | 956 | 85 | 272 | 156 |
| 180型 | 440 x 250 | 540 | 1148 | 103 | 327 | 188 |

| 4:3 スクリーンサイズ | | 投写距離（C） | | レンズシフトの最大値※ | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| D | W x H | 最短（Wide） | 最長（Tele） | 距離（A） | 距離（B） | 距離（E） |
| 40型 | 81 x 61 | 144 | 309 | 28 | 89 | 51 |
| 60型 | 120 x 90 | 218 | 466 | 42 | 133 | 76 |
| 80型 | 160 x 120 | 292 | 623 | 56 | 178 | 102 |
| 100型 | 200 x 150 | 366 | 779 | 70 | 222 | 127 |
| 120型 | 240 x 180 | 440 | 936 | 84 | 267 | 153 |
| 150型 | 300 x 230 | 551 | 1171 | 105 | 333 | 191 |
| 200型 | 410 x 300 | 736 | 1562 | 139 | 444 | 255 |

※ それぞれ一方向のみ動かした場合に最大値で設定でき、組み合わせた場合は短くなります。 ☛ p.28

# 機器と接続しよう

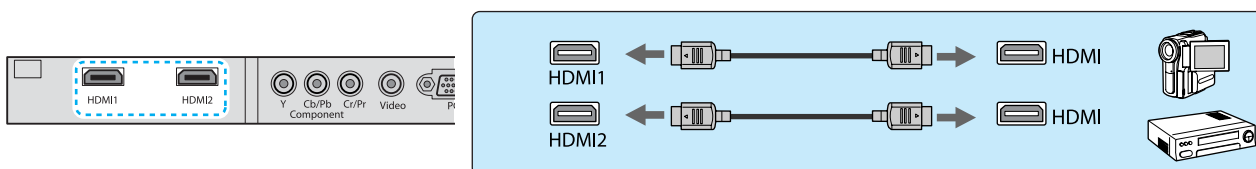
**注意**

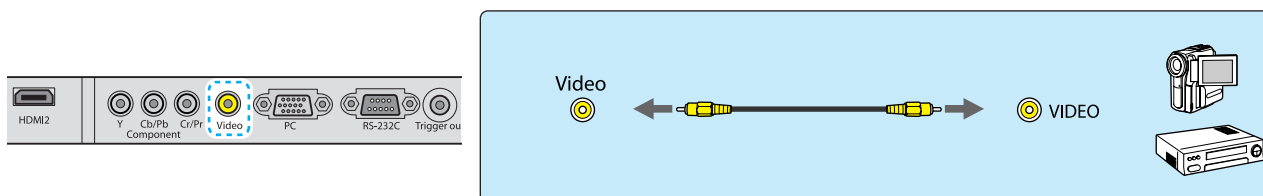
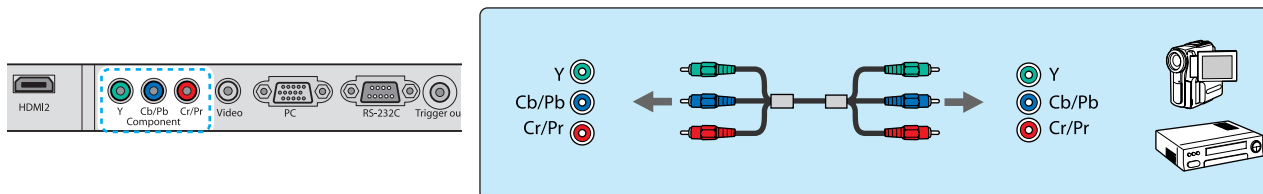
- 接続する前に接続機器の電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- ケーブルのコネクター形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと機器の破損や故障の原因になります。

EH-TW8100Wには、背面をすっきり見せるためにコネクター部分にインターフェイスカバーがついています。ケーブルで接続するときは、あらかじめインターフェイスカバーを外してから機器と接続してください。 ☛ p.22

## ビデオ機器との接続

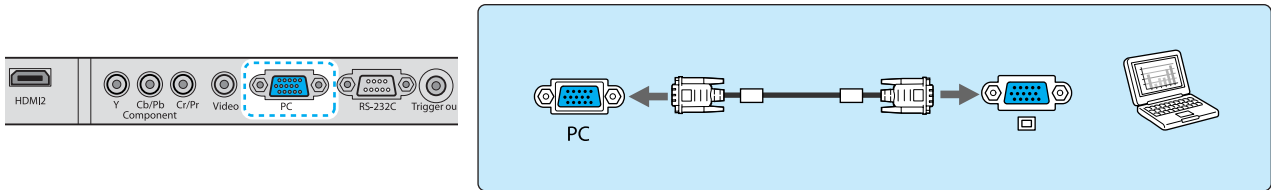
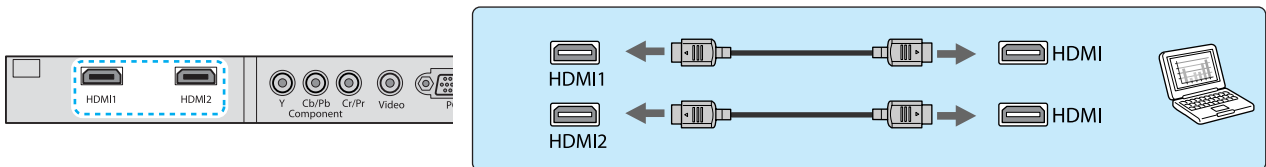
DVDプレーヤーやビデオなどの映像を投写するには、次の方法で接続します。

### HDMIケーブル（市販品）を使用するとき

HDMIケーブルはHDMIケーブルクランプで固定してください。 ☛ p.22

### ビデオケーブル（市販品）を使用するとき

### コンポーネントビデオケーブル（市販品）を使用するとき

- 使用するケーブルは、接続するビデオ機器の出力信号によって異なります。
- ビデオ機器によっては、何種類かの信号を出力できるものがあります。どの信号を出力できるかは、お使いのビデオ機器に同梱の取扱説明書で確認してください。

# コンピューターとの接続

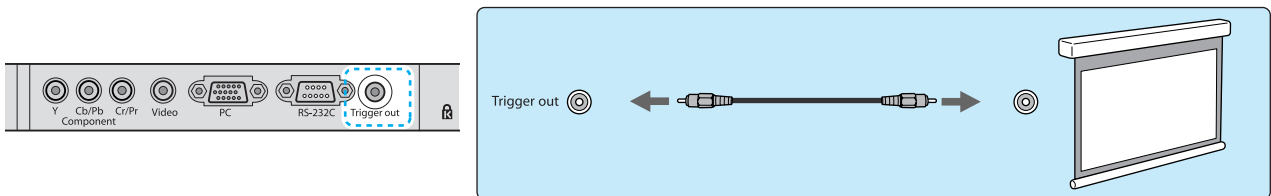
コンピューターの映像を投写するには、次の方法で接続します。

**コンピューターケーブル（市販品）を使用するとき**

**HDMIケーブル（市販品）を使用するとき**

HDMIケーブルはHDMIケーブルクランプで固定してください。 ☛ p.22

# 外部機器との接続

## Trigger out端子の接続

電動スクリーンなどの外部機器に3.5mm ミニジャックで接続します。

電動スクリーンなどの外部機器に本機の電源の状態（オン/オフ）などを伝えるため、電源が入っている間、この端子から信号（DC12V）が出力されます。

Trigger out端子を利用する場合は、トリガーアウトを設定してください。 ☛ ［拡張設定］-［動作設定］-［トリガーアウト］ p.73

## WirelessHD機器の接続（EH-TW8100Wのみ）

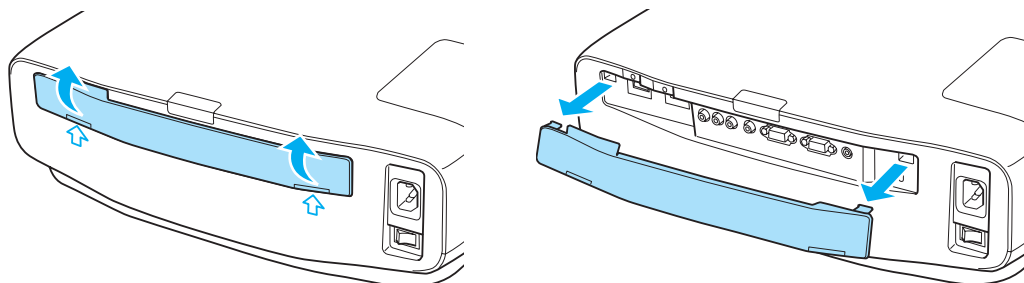
同梱のWirelessHDトランスミッターからの電波を受信し、映像を投写します。 ☛ p.51

投写映像はリモコンの［WirelessHD］ボタンを押すか、操作パネルの［⇦］ボタンを押して切り替えます。

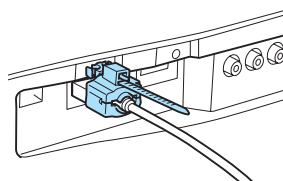
- WirelessHDの映像を受信する場合は、［WirelessHD］が［オン］になっている必要があります。 ☛ ［設定］-［WirelessHD］ p.71
- ［HDMIリンク］の［接続機器一覧］から表示したい機器を選択して切り替えることもできます。 ☛ ［HDMIリンク］-［接続機器一覧］ p.62

## インターフェイスカバーの外し方

EH-TW8100Wには、背面のコネクター部分にインターフェイスカバーがついています。機器とケーブルで接続するときは外してください。

インターフェイスカバーの下側のスキマを持って手前に引き、上側のミゾから外します。

- 取り付けるときは、上側のミゾからはめてください。
- 本機を輸送する際に必要となりますので、インターフェイスカバーを保管してください。

## HDMIケーブルクランプの接続

太いHDMIケーブルが垂れ下がるような場合は、重さでHDMIケーブルが抜けないようにHDMIケーブルクランプでケーブルホルダーに固定してください。

ケーブルカバー装着時は、ケーブルが固定されるため、ケーブルクランプを付ける必要がありません。

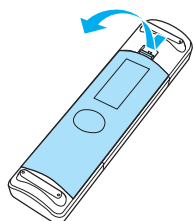
# リモコンを準備しよう

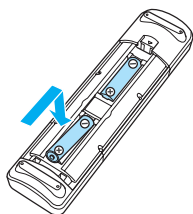
## リモコンに電池をセットする

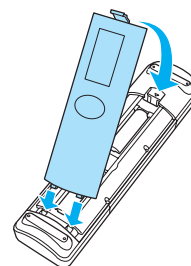
**注意**

- 電池ホルダー内の表示を確認し、（+）（−）を正しく入れてください。
- 単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池以外の電池は使用しないでください。

**1** 電池カバーを外します。

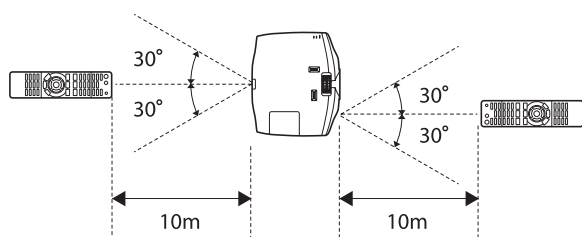
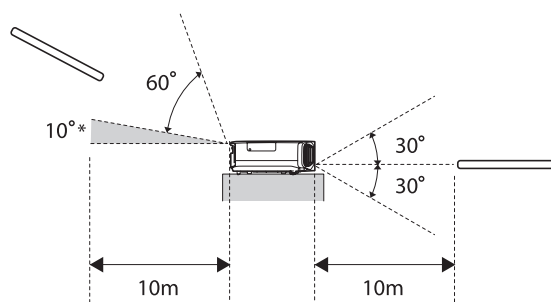
電池カバーのツメを押さえながら、上へ持ち上げます。

**2** 新しい電池と交換します。

（+）（−）の向きを確認して入れてください。

**3** 電池カバーを取り付けます。

カチッと音がするまでカバーを押し込みます。

リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなったときは電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。交換用の電池は単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池2本を用意してください。

## リモコンの操作範囲

WirelessHDトランスミッターの操作範囲は異なります。 ☛ p.60

### 操作可能範囲（左右）

### 操作可能範囲（上下）

＊ この範囲は、リモコン信号を受け付けません。

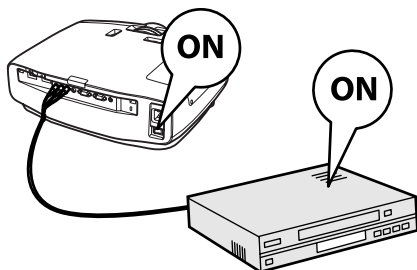
# 投写と終了のしかた

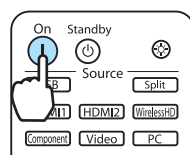
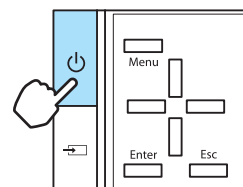
## 電源を入れて投写する

### 1 電源ケーブルを接続します。

同梱の電源ケーブルで接続します。

必ず接地接続を行ってください。接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

### 2 接続機器の電源を入れ、本機の主電源スイッチを入れます。

### 3 電源を入れます。

リモコン

レンズシャッターが開き、投写が始まります。

［ダイレクトパワーオン］を［オン］にすると、ボタン操作をしなくても、主電源を入れるだけで投写を開始します。 ☛ ［拡張設定］-［動作設定］-［ダイレクトパワーオン］ p.73

 警告

投写中はレンズをのぞかないでください。

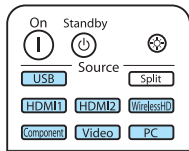
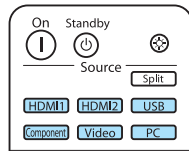
- 本機には、お子様が誤って電源を入れるのを防ぐチャイルドロック機能や、誤操作などを防ぐ操作ボタンロック機能があります。 ☛ ［設定］-［チャイルドロック］/［操作ボタンロック］ p.71
- 標高1500m以上でお使いの場合は、必ず［高地モード］を［オン］にしてください。 ☛ ［拡張設定］-［動作設定］-［高地モード］ p.73
- 本機には、接続しているコンピューター映像の入力信号が切り替わったときに、自動で最適な状態にする自動調整機能があります。 ☛ ［映像］-［自動調整］ p.68
- 本機には、外部機器に本機の電源の状態（オン/オフ）などを伝えるTrigger out端子があります。機能を利用する場合は、トリガーアウトを設定してください。 ☛ ［拡張設定］-［動作設定］-［トリガーアウト］ p.73

## 目的の映像が映らない場合

映像が映らないときは、次の方法で入力ソースを切り替えます。

**リモコン**

目的の入力端子のボタンを押します。

EH-TW8100W

EH-TW8100

**操作パネル**

ボタンを押して目的の入力端子を選択します。

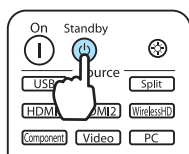
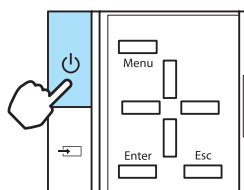
Enter ボタンを押すと決定します。

- ビデオ機器の場合は、再生状態にしてから入力ソースを切り替えてください。
- [Video] や [Component] の入力ソースに切り替えて色が不自然になるときは、[入力信号] と接続した端子が同じかどうか確認してください。 ☛ [拡張設定] - [入力信号] - [ビデオ信号方式] / [Component] p.73

## 電源の切り方

**1** 接続している機器の電源を切ります。

**2** リモコンまたは本体操作パネルの ⏻ ボタンを押します。

**リモコン**

**操作パネル**

確認メッセージが表示されます。

**3** もう一度、 ⏻ ボタンを押します。

電源を切りますか？

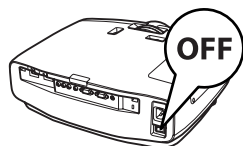
はい　： ⏻を押す
いいえ: 他のボタンを押す

投写が終了し、レンズシャッターが自動的に閉じます。

[スタンバイ確認] を [オフ] に設定しているときは、リモコンの ⏻ ボタンを一度押すだけで電源が切れます。 ☛ [拡張設定] - [表示設定] - [スタンバイ確認] p.73

**4** クールダウンが終了するのを待ちます。

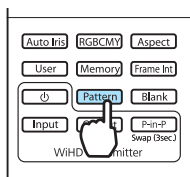
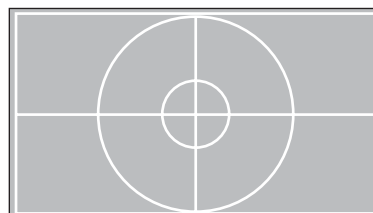
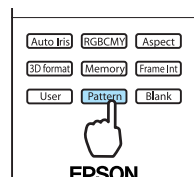
本体操作パネルのオペレーションインジケーターの点滅が止まります。

## 5 主電源スイッチを切ります。

主電源スイッチをOFFにしない状態では、動作していなくても電力を消費しています。

# 投写画面を調整しよう

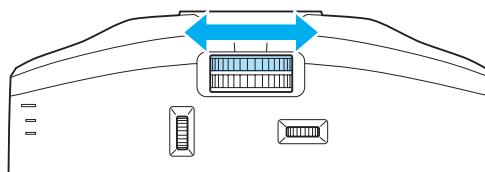
## テストパターン表示

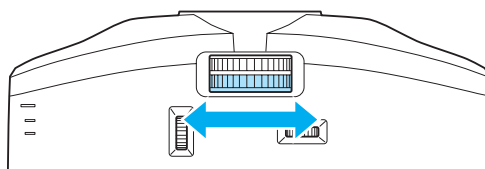
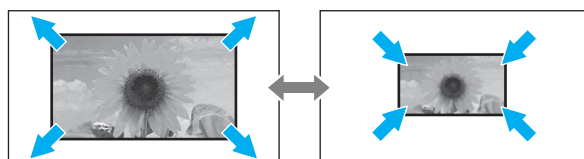
映像機器を接続しなくても表示できるテストパターンは、設置直後、ズーム・フォーカス調整や投写位置の調整をするときに利用できます。

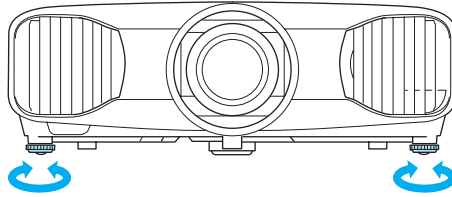
リモコンの Pattern ボタンを押すと、テストパターンが表示されます。

EH-TW8100

このテストパターンを利用して表示位置などを調整できます。

テストパターン表示を終了するには Esc ボタンを押すか、[表示終了] を選択します。

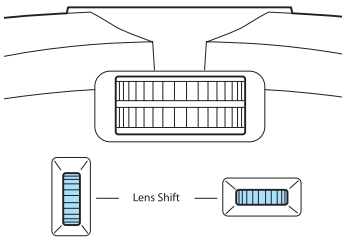
## ピント調整（フォーカス調整）

フォーカスリングを回してピントを調整します。

## 投写サイズの調整（ズーム調整）

ズームリングを回して、投写画面の大きさを調整します。

## 本機の傾きを調整する

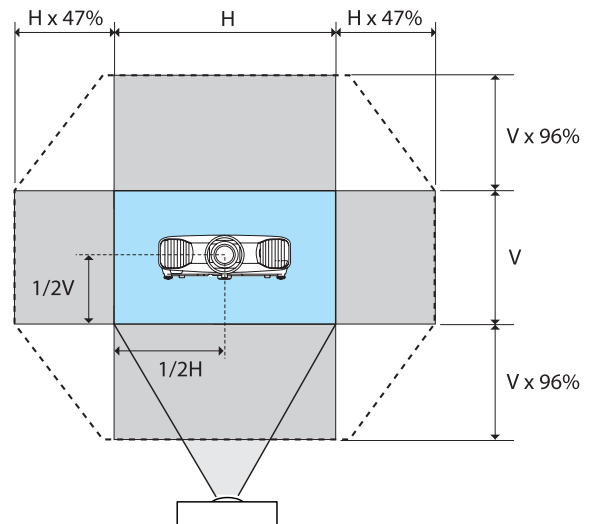
机上設置時に投写画面が水平方向に傾いている場合（左右で高さが違う場合）は、フロントフットで本機が水平になるように調整します。

## 投写映像の位置調整（レンズシフト）

スクリーンの正面に本機を設置できないときは、レンズシフトで映像の位置を調整します。

レンズシフトダイヤルで調整します。

右図の点線の範囲内で、上下左右それぞれの方向に調整できます。

上下は画面高さ（V）に対し最大96%、左右は画面幅（H）に対し最大47%で調整できます。

位置を中心に戻したい場合は、ダイヤルを中央に戻します。

レンズシフトダイヤルを回してカチッと音がする位置がシフト範囲のほぼ中央になります。

 注意

本機を輸送する際は、レンズ位置を中心に戻してください。レンズ位置を上下左右にシフトした状態で輸送すると、レンズシフトの機構が破損するおそれがあります。

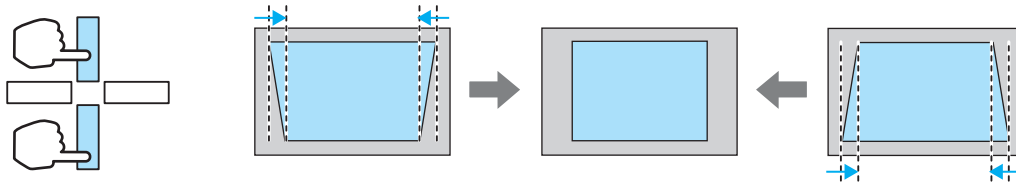
レンズシフトにより、斜めから投写している状態で、さらに台形ゆがみで補正すると、台形が十分に補正できない場合があります。レンズシフトを使用するときは、スクリーンと本機が平行になるように設置し、レンズシフトでのみ投写位置を調整してください。

## 台形ゆがみを補正する

映像が台形にゆがんでいるときは操作パネルの ボタンで補正します。

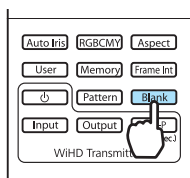
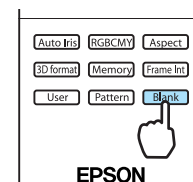
操作パネルは側面の操作パネルカバーを開けて操作します。 ☛ p.10

□ 、 □ ボタンを押すと、補正ゲージが表示されます。
ゲージが表示された状態で、 □ 、 □ ボタンを押すと縦方向に補正します。

### 上下のどちらかが広いとき

- 台形ゆがみを補正すると投写画面が小さくなります。目的のスクリーンサイズに合わせるときは、投写距離を長くしてください。
- 台形補正は環境設定メニューからも設定できます。 ☛ ［設定］ - ［台形補正］ p.71
- 正しく補正できる範囲は、補正角度で上下約30°以下です。
- 位置の調整は、レンズシフトで行う補正の方が投写映像の品質が保たれます。台形補正はレンズシフトで調整できない場合に利用してください。

## 映像を一時的に消す

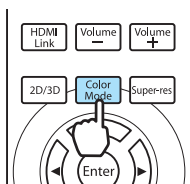
スクリーンの映像を一時的に消したいとき使います。

Blank ボタンを押すたびに映像を消す/映すが切り替わります。

EH-TW8100

動画の場合は、消している間も映像は進んでいますので、 Blank ボタンで映像を消したときの場面からは再開できません。

# 画質の調整をしよう

## 映り具合を選ぶ（カラーモード）

投写時の環境に応じて最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが変わります。

**1** Color Mode ボタンを押します。

環境設定メニューからも設定できます。☛［画質］-［カラーモード］ p.66

**2** ［カラーモード］を選択します。

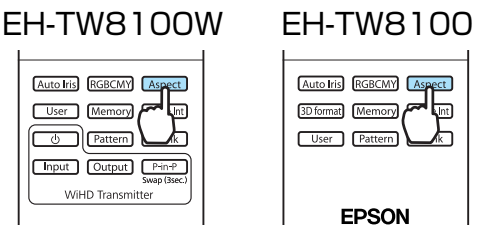
表示されるメニューから ▲ ▼ ボタンを押して［カラーモード］を選択し、Enter ボタンを押して決定します。

2D映像投写時
［ダイナミック］、［リビング］、［ナチュラル］、［ステージ］、［シネマ］が選択できます。
［3Dダイナミック］、［3Dシネマ］は、グレーアウトされて選択できません。

3D映像投写時
［3Dダイナミック］、［3Dシネマ］が選択できます。
［ダイナミック］、［リビング］、［ナチュラル］、［ステージ］、［シネマ］は、グレーアウトされて選択できません。

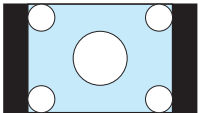
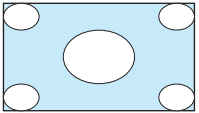
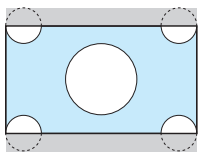
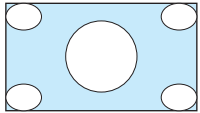
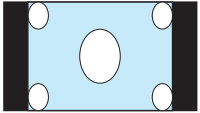
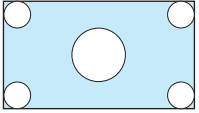
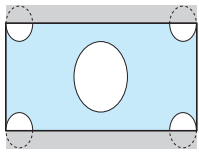
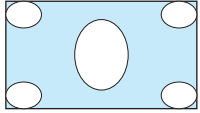
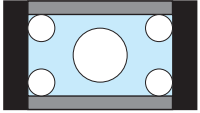
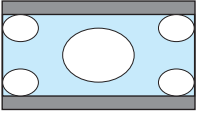
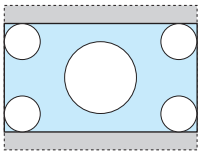
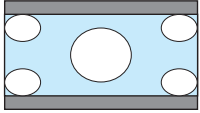
2D映像投写時の選択肢

| モード名 | 使い方 |
|---|---|
| ダイナミック | 明るい部屋での使用に適しています。一番明るく、暗部の階調表現に優れています。 |
| リビング | 明るい部屋での使用に適しています。鮮やかでメリハリのあるクリアな映像です。 |
| ナチュラル | 暗い部屋での使用に適しています。色調整は、このモードから行うことをお勧めします。 ☛ p.8 |
| ステージ | 暗い部屋で舞台などの映像を楽しむのに適しています。 |
| シネマ | 暗い部屋で映画やコンサート映像を楽しむのに適しています。 |

3D映像投写時の選択肢

| モード名 | 使い方 |
|---|---|
| 3Dダイナミック | 3D映像を投写するときに使用します。3Dシネマよりメリハリのある明るい映像になります。 |
| 3Dシネマ | 3D映像を投写するときに使用します。3Dダイナミックに比べてきれいな色を再現できます。 |

## 画面をワイドやズームに切り替える（アスペクト）

入力信号の種類、縦横比、解像度にあわせて投写画面の［アスペクト］を切り替えます。

投写している映像の種類により選択できる［アスペクト］は異なります。

通常はオートに設定しておくことで入力信号に最適なアスペクトで表示されます。異なる比率で表示したいときに切り替えてください。

HDMI接続の映像は、オリジナルの映像ソースと同じ解像度で表示されます。

| 入力映像 | 設定名（アスペクト） | | | |
|---|---|---|---|---|
| | ノーマル | フル | ズーム | ワイド |
| 4:3の映像 | | | | |
| 16:9の映像とスクイーズ記録された映像 | | | | |
| レターボックスの映像*1*2 | | | | |
| 補足 | 投写パネルの縦サイズに合わせて表示します。入力映像により縦横比が異なります。 | 投写パネル全体を使って表示します。 | 入力信号の縦横比を維持して、投写パネルの横サイズに合わせて表示します。上下が切れる場合があります。 | 縦、横とも最大に表示します。横方向の両端ほど引き伸ばされます。 |

※1［ズーム］に設定すると字幕などが表示されなくなる場合があります。この場合は、［ズーム字幕位置］を調整してください。 ☛ ［映像］-［ズーム字幕位置］ p.68

※2 説明に使用しているレターボックスのイメージは、16:9の映像の上下に字幕用に黒い帯が付加されて4:3の映像として表示される映像を例としています。画面イメージの上下の枠は字幕用の帯を示しています。

営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、ホテルや店内外などでアスペクト機能を利用して映像を圧縮・引き伸ばし・分割を行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。

#  こだわりの色調整をしよう

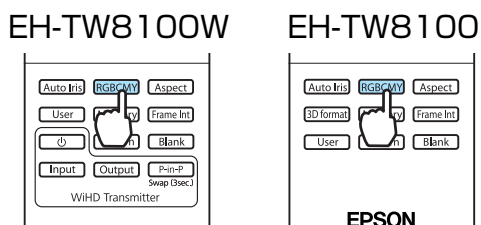
## 色相・彩度・明度の調整

R（赤）G（緑）B（青）C（シアン）M（マゼンタ）Y（イエロー）の各色について、色相、彩度、明度を調整します。

| | |
|---|---|
| **色相** | 映像全体の色みを、青系～緑系～赤系へと調整します。 |
| **彩度** | 映像全体の鮮やかさを調整します。 |
| **明度** | 映像全体の色の明るさを調整します。 |

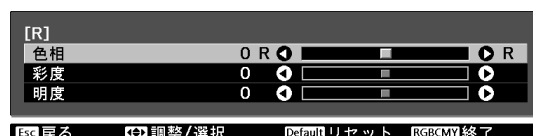
**1** RGBCMY ボタンを押します。

EH-TW8100W

EH-TW8100

環境設定メニューからも設定できます。☛ ［画質］-［アドバンスト］-［RGBCMY］ p.66

**2** ▲▼ ボタンで調整する色を選択し、Enter ボタンを押して決定します。

**3** ▲▼ ボタンで［色相］［彩度］［明度］のいずれかを選択します。

**4** ◀▶ ボタンで調整します。

別の色を調整するときは、Esc ボタンを押します。

調整結果を初期値に戻すときは Default ボタンを押します。

**5** RGBCMY ボタンを押してメニューを終了します。

## ガンマの調整

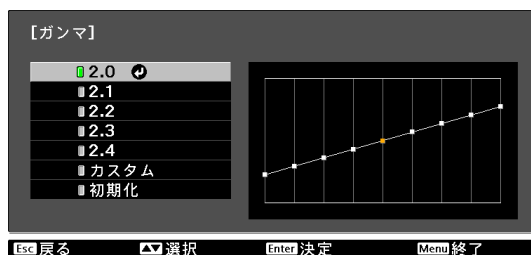
画像を表示するときに機器などの違いによって生じる微妙な発色を調整します。

設定方法は次の3つの方法があり、環境設定メニューで選択します。

| 設定方法 | メニューの入り方 |
|---|---|
| **補正値を選んで調整する** | ［画質］-［アドバンスト］-［ガンマ］ |
| **映像を見ながら調整する** | ［画質］-［アドバンスト］-［ガンマ］-［カスタム］-［映像から調整する］ |
| **ガンマ調整グラフで調整する** | ［画質］-［アドバンスト］-［ガンマ］-［カスタム］-［グラフから調整する］ |

## 補正値を選んで調整する

補正値を選択し、Enter ボタンを押して決定します。

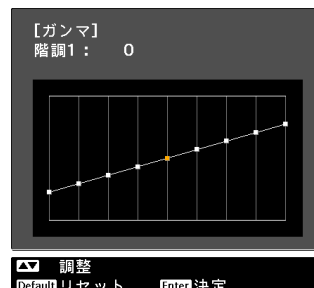
数値が小さいほど、映像の暗い部分が明るくなりますが、明るい部分はつぶれぎみになります。ガンマ調整グラフは上側が膨らんだ形になります。
数値が大きいと、映像の明るい部分が暗くなります。ガンマ調整グラフは下側が膨らんだ形になります。

- ガンマ調整グラフの横軸は入力信号レベルを、縦軸は出力信号レベルを表します。
- 調整結果を初期値に戻すときは Default ボタンを押します。

## 映像を見ながら調整する

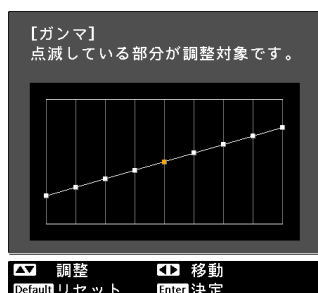
投写中の映像を見ながら調整します。

**1** 投写中の映像に表示されるガンマアイコンを、明るさを調整したい箇所に移動し、Enter ボタンを押します。

ガンマ調整グラフが表示されます。

**2** ▲ ▼ ボタンで明るさを調整し、Enter ボタンを押して決定します。

## ガンマ調整グラフで調整する

投写中の映像のガンマ調整グラフを見ながら調整します。

**1** ◀ ▶ ボタンで調整したい箇所をグラフから選択します。

**2** ▲ ▼ ボタンで明るさを調整し、Enter ボタンを押して決定します。

## RGBの調整（オフセット・ゲイン）

映像の明度を、R（赤）G（緑）B（青）についてそれぞれ、暗い部分（オフセット）と明るい部分（ゲイン）を調整します。＋側（右側）にすると明るく、－側（左側）にすると暗くなります。

| | |
|---|---|
| **オフセット** | 明るくすると暗い部分の濃淡が表現されます。暗くするとメリハリのある見え方になりますが、暗い部分の濃淡がわからなくなります。 |
| **ゲイン** | 明るくすると明るい部分が白っぽくなり濃淡がわからなくなります。暗くすると明るい部分の濃淡が表現されます。 |

次の順でメニューを表示します。
[画質] - [アドバンスト] - [RGB]

ボタンで項目を選択し、ボタンで調整します。

調整結果を初期値に戻すときは Default ボタンを押します。

## 絶対色温度

映像全体の色合いを調整します。映像の青みが強すぎる、赤みが強すぎるなどのときに調整します。

次の順でメニューを表示します。
[画質] - [絶対色温度]

ボタンで調整します。
数値を大きくすると青みが強くなり、数値を小さくすると赤みが強くなります。

調整結果を初期値に戻すときは Default ボタンを押します。

## 肌の色調整

肌の色を調整します。肌の色が赤すぎる、緑がかった色になるなどのときに調整します。

次の順でメニューを表示します。
[画質] - [肌の色調整]

ボタンで調整します。
＋側（右側）に設定すると緑がかった色になり、－側（左側）に設定すると赤みのある色合いになります。

[画質]
肌の色調整 0
Esc 戻る　調整　Default リセット　Menu 終了

調整結果を初期値に戻すときは Default ボタンを押します。

#  さらに画質を究めよう

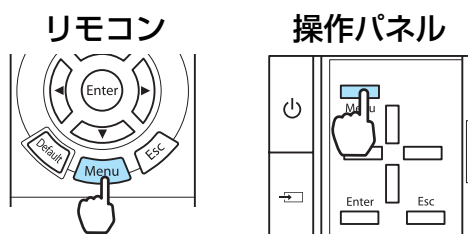
## シャープネスの調整

画像を強調します。

コンピューター映像信号入力時は調整できません。

| | |
|---|---|
| **高域強調** | 髪の毛や衣服の模様などの細かい部分が強調されます。 |
| **低域強調** | 被写体全体の輪郭や背景などの粗い部分が強調され、くっきりとした映像になります。 |
| **水平シャープネス**<br>**垂直シャープネス** | 水平方向または垂直方向に画像が強調されます。 |

**1** Menu ボタンを押します。

**リモコン**　　**操作パネル**

環境設定メニューが表示されます。

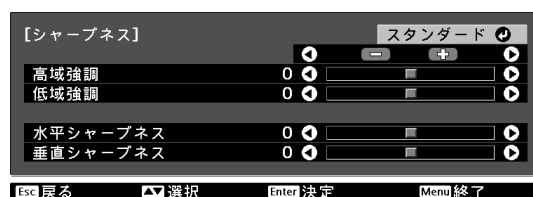
**2** [画質] － [シャープネス] を選択します。

[シャープネス] の調整画面が表示されます。

**3** 画面右上の [アドバンスト] を選択し、Enter ボタンを押して決定します。

[アドバンスト] の調整画面が表示されます。

**4** ▲▼ ボタンで項目を選択し、◀▶ ボタンで調整します。

＋側（右側）にすると強調され、－側（左側）にするとソフトになります。

一番上のバーは高域/低域を同時調整します。

調整結果を初期値に戻すときは Default ボタンを押します。

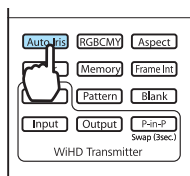
**5** Menu ボタンを押してメニューを終了します。

## オートアイリス（自動絞り）の設定

表示される映像の明るさに合わせて、光量を自動的に設定することで、奥行きと深みのある画像が楽しめます。

映像の明暗変化に対する光量調整の追従性を、［標準］、［高速］から選択します。

（映像によってはオートアイリスの動作音がすることがありますが、故障ではありません。）

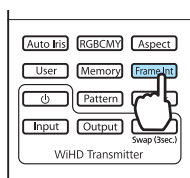
**1** Auto Iris ボタンを押します。

環境設定メニューからも設定できます。☛ ［画質］-［オートアイリス］ p.66

**2** ▲ ▼ ボタンで項目を選択し、Enter ボタンを押して決定します。

## フレーム補間

前後のコマから中間のコマを自動生成し補間することで、滑らかな映像にします。速い動きのある映像など、コマ飛びのような動きのぎこちなさが解消されます。

［弱］、［標準］、［強］で補間の加減を選択できます。設定変更後、ノイズなどが気になるときは、［オフ］に設定してください。

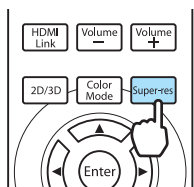
**1** Frame Int ボタンを押します。

環境設定メニューからも設定できます。☛ ［映像］-［フレーム補間］ p.68

**2** ▲ ▼ ボタンで項目を選択し、Enter ボタンを押して決定します。

## 超解像

映像信号の解像度を拡大して投写するときに発生するエッジ部分などのボケを低減し、よりはっきりとした映像で表示するように処理します。

映像によっては、エッジのノイズが強調されることがあります。ノイズが気になるときは、「0」に設定してください。

**1** Super-res ボタンを押します。

- 環境設定メニューからも設定できます。 ☛ [映像] - [超解像] p.68
- コンピューター映像信号入力時は設定できません。

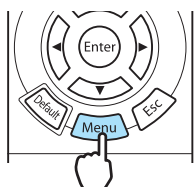
**2** ◀▶ ボタンで調整します。

数字が大きくなるほど効果が強くなります。

**3** Super-res ボタンを押してメニューを終了します。

## 液晶アライメント補正

液晶パネルの画素の色ずれを調整します。

**1** Menu ボタンを押します。

環境設定メニューが表示されます。

**2** [拡張設定] − [液晶アライメント…] を選択し、Enter ボタンを押して決定します。

[液晶アライメント補正] の調整画面が表示されます。

**3** [液晶アライメント補正] を [オン] にします。

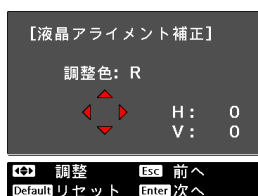
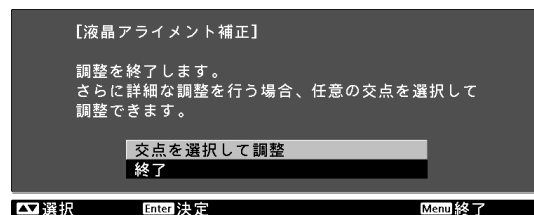
[オン] に設定すると調整した結果が有効になります。[オフ] にすると補正値は初期値に戻ります。

**4** [調整色] で調整する色を選択します。

**5** [パターン色] で調整に使用するパターン（色の組み合わせ）を選択します。

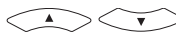
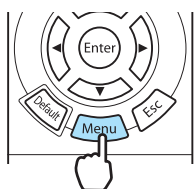
**6** [調整開始] を選択し、Enter ボタンを押して決定します。

調整が始まります。調整は左上から順に4隅で行います。

**7** ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンで調整し、Enter ボタンを押して次の調整ポイントに進みます。

**8** 4隅の調整後、[終了] を選択し、Enter ボタンを押して決定します。

4点で調整が不十分の場合は、[交点を選択して調整] を選択して調整を続けます。

**9** Menu ボタンを押してメニューを終了します。

## 映像処理

ゲームなどの動きの速い投写映像に対し、応答速度を向上させる処理をします。
Component/HDMI1/HDMI2入力端子やWirelessHDからのプログレッシブ信号で有効です。

**1** Menu ボタンを押します。

環境設定メニューが表示されます。

**2** [映像] ー [アドバンスト] ー [映像処理] の順に選択します。

**3**  ボタンで項目を選択し、Enter ボタンを押して決定します。

**4** Menu ボタンを押してメニューを終了します。

- 3D映像には対応していません。
- [映像処理] を [速い] に設定すると、[ノイズリダクション]、[フレーム補間] がオフ固定になります。

# 登録した画質で映像を見る（メモリー機能）

## 登録できる機能

環境設定メニューの映像と画質の一部機能の調整値を登録できます（メモリー登録)。

登録した調整値はリモコンから呼び出すことができるので、簡単にお好みの画質に切り替えられます（メモリー呼出)。

登録できる機能は、環境設定メニューの次の機能です。

<table>
<tr><td>画質<br>☛ p.66</td><td colspan="2">カラーモード、明るさ切替、明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合い、シャープネス、絶対色温度、肌の色調整、アドバンスト-シャープネス、オフセット、ゲイン、ガンマ、色相、彩度、明度、オートアイリス</td></tr>
<tr><td rowspan="2">映像<br>☛ p.68</td><td colspan="2">プログレッシブ変換、動き検出、フレーム補間、超解像</td></tr>
<tr><td>アドバンスト</td><td>ノイズリダクション、セットアップレベル、EPSON Super White、 オーバースキャン、HDMIビデオレベル</td></tr>
</table>

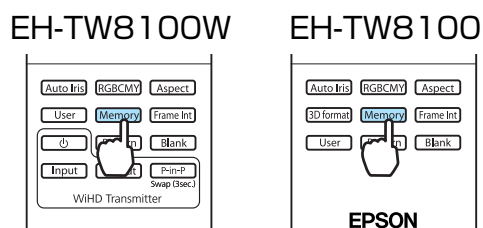
## メモリーの登録

メモリーは［カラーモード］が［オート］以外のときに登録できます。

**1** 環境設定メニューで登録したい状態に設定しておきます。

**2** [Memory] ボタンを押します。

EH-TW8100W

EH-TW8100

**3** [▲][▼] ボタンで［メモリー登録］を選択し、[Enter] ボタンを押して決定します。

［メモリー登録］の画面が表示されます。

**4** [▲][▼] ボタンで登録するメモリー名を選択し、[Enter] ボタンを押して決定します。

設定した状態がメモリーに登録されます。

メモリー名の左のマークが緑色のときは登録済みです。登録済みのメモリー名を選択したときは、上書きを確認するメッセージが表示されます。［はい］を選択すると、以前の内容を消去し、現在の状態を登録します。

## メモリーの呼出し

**1** Memory ボタンを押し、[メモリー呼出] を選択します。

[メモリー呼出] の画面が表示されます。

**2** 目的のメモリー名を選択します。

- メモリーを登録した時のカラーモードが右側に表示されます。
- 入力信号によっては、呼び出したメモリー項目の一部が投写映像に反映されない場合があります。
- 2D映像時に登録したメモリーは2D映像時のみ呼び出しできます。3D映像時に登録したメモリーは3D映像時のみ呼び出しできます。

## メモリーの削除

**1** Memory ボタンを押し、[メモリー削除] を選択します。

[メモリー削除] の画面が表示されます。

**2** 目的のメモリー名を選択します。

確認するメッセージが表示されます。[はい] を選択すると、登録内容が削除されます。

登録したメモリーをすべて消去する場合は、環境設定メニューの [初期化] − [メモリー初期化] で行います。 ☛ p.75

## メモリー名称変更

メモリー名は自由に変更できます（最大12文字)。わかりやすい名前にしておくと呼び出すときに便利です。

**1** Memory ボタンを押し、[メモリー名称変更] を選択します。

[メモリー名称変更] の画面が表示されます。

**2** 目的のメモリー名を選択します。

名前候補の一覧画面が表示されます。

**3** 表示された名前または [カスタム] を選択します。

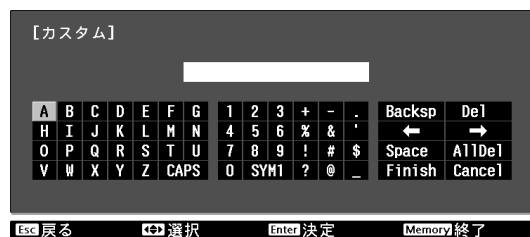
任意の名前を入力するときは、[カスタム] を選択し、手順4に進んでください。[カスタム] を選択するとキーボードが表示されます。

一覧の名前から選んだときは、メモリー名が変更されていることを確認してください。

## 名前を入力します。

ボタンで文字を選び、Enterボタンを押して決定します。12文字まで入力できます。

入力を終了するときは［Finish］を選択します。

メモリー名が変更されています。

# 3Dを楽しもう

## 3Dに設定する

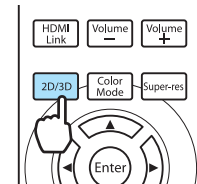
HDMI1/HDMI2/WirelessHD（EH-TW8100Wのみ）の入力ソースで3Dデータを受信すると、自動的に映像を3Dで投写します。

3Dフォーマットとして、次のフォーマットに対応しています。

- フレームパッキング
- サイドバイサイド
- トップアンドボトム

**1** 3D再生可能なビデオ機器と本機を接続します。

**2** ビデオ機器と本機の電源を入れ、2D/3D ボタンを押します。

自動的に3D映像が投写されるときはボタン操作は不要です。

### 3D映像が見えないときは

3Dに切り替えても、3D効果が正しく表示されない場合は、以下の項目を確認してください。

- AV機器の3Dフォーマットと本機の［3D方式設定］が同じになっているか確認してください。 ☛ ［映像］-［3D設定］-［3D方式設定］ p.68
  AV機器の設定についてはAV機器の説明書を参照してください。
- メガネの同期タイミングが逆になっていることがあります。［3Dメガネ左右反転］で反転して試してください。 ☛ ［映像］-［3D設定］-［3Dメガネ左右反転］ p.68
- 3D映像になっていないときは、2D/3D ボタンを押して切り替えてください。

- 3D効果の見え方には個人差があります。
- ［3D表示］が［オフ］になっているときは3Dに切り替わりません。リモコンの 2D/3D ボタンを押してください。 ☛ ［映像］-［3D設定］-［3D表示］ p.68
- 本機の3D方式は自動で選択されますが、3Dの効果が正しく表示されない場合は、［3D方式設定］で選択してください。 ☛ ［映像］-［3D設定］-［3D方式設定］ p.68
- 3Dの効果が正しく表示されない場合は、［3Dメガネ左右反転］で反転して試してください。
  ☛ ［映像］-［3D設定］-［3Dメガネ左右反転］ p.68
- 3D表示になるときに視聴に関する注意が表示されます。この注意は［3D視聴上の注意］で［オフ］にすることもできます。 ☛ ［映像］-［3D設定］-［3D視聴上の注意］ p.68
- 2D映像を3Dに変換して楽しむこともできます。 ☛ p.50
- 3D投写中は環境設定メニューの次の機能は変更できません。
  アスペクト（ノーマル固定）、ノイズリダクション（オフ固定）、シャープネス、2画面、オーバースキャン（オフ固定）、超解像、フレーム補間（オフ固定）
- 環境温度やランプ使用時間によっては3D映像の見え方が変わることがあります。正常に投写されない場合は使用を控えてください。

# 3Dメガネを使用する

3D映像は、同梱またはオプションの3Dメガネ（ELPGS03）をかけて視聴します。

3Dメガネは、開封直後は、保護シールなどが貼ってあります。保護シールをはがしてください。

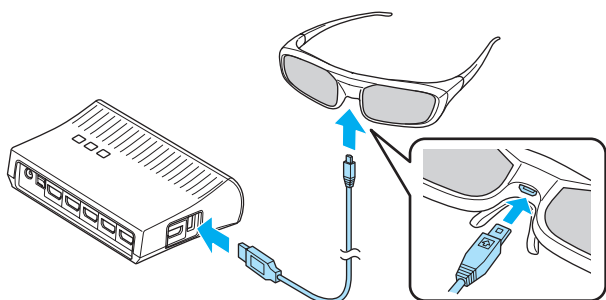
## 3Dメガネを充電する

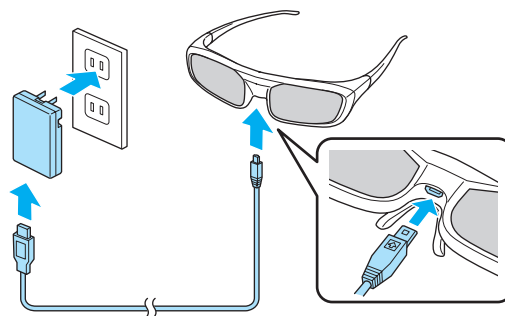
3Dメガネの充電方法は、お使いの機種によって以下の方法があります。

WirelessHDトランスミッターがある場合は、WirelessHDトランスミッターで充電できます。

WirelessHDトランスミッターがない場合は、同梱のUSB充電AC電源アダプターで充電します。

**WirelessHDトランスミッターで充電する**

WirelessHDトランスミッターに3Dメガネを
USBケーブルで接続します。

**USB充電AC電源アダプターで充電する**

3Dメガネを USBケーブルでUSB充電AC電源アダプターに接続し、USB充電AC電源アダプターをコンセントに差し込みます。

**注意**

- 表示されている電源電圧以外は使用しないでください。
- 同梱のmicroUSB ケーブルの取り扱いには以下の点に注意してください。
  - ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
  - ケーブルを加工しないでください。
  - 電熱器の近くに配線しないでください。
  - 破損したケーブルは使用しないでください。

## 3Dメガネをペアリングする

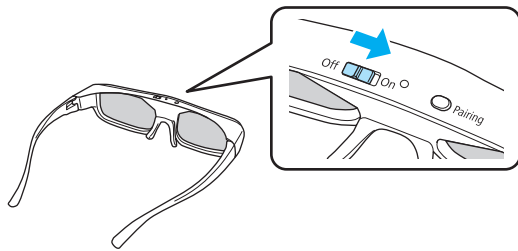
3D映像を実現するために、最初にメガネと本機をペアリングする必要があります。

ペアリングは、3Dメガネの【Pairing】ボタンで開始します。詳しい操作については、3Dメガネの取扱説明書を参照してください。

- 未使用の3Dメガネのときは、3Dメガネの電源投入時にペアリングされます。正しく3Dが視聴できるときは、ペアリングは必要ありません。
- 一度ペアリングを実施すれば、次回以降は電源を入れるだけで視聴できます。
- ペアリング可能範囲は、本機から3mです。ペアリング中は、本機から3m以上離れないでください。ペアリングに失敗します。
- 30秒以上、同期できない場合は、自動的にペアリングを終了します。このとき、ペアリングは失敗となるため、3D映像は視聴できません。

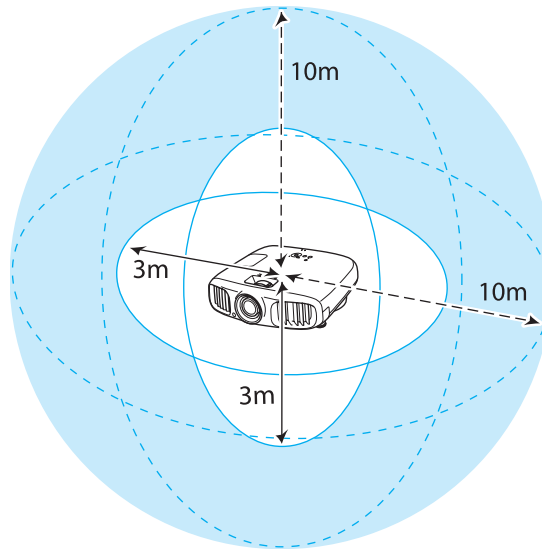
## 3Dメガネの装着

**1** 【電源】スイッチをOn側にスライドさせ、3Dメガネの電源を入れます。

インジケーターが数秒点灯し、消えます。

**2** 3Dメガネを装着し、視聴します。

- 使い終わった後は【電源】スイッチをOff側にスライドさせ、電源を切ります。
- 3Dメガネは、30秒以上使用しないまま放置すると、自動的に電源が切れます。電源を再投入するときは、一度、【電源】スイッチをOff側にスライドさせた後、On側にスライドさせます。
- 3D映像を複数人で楽しむときには、オプションの3Dメガネが必要です。 ☛ p.95

## 3D映像を見る範囲

本機は、次の図の視聴範囲で3D映像をお楽しみいただけます。
プロジェクターから10mの範囲で3D映像をお楽しみいただけます。
ペアリングの距離は3mです。

- 他のBluetooth通信機器の影響があると、正しい3D映像が見られないことがあります。同時には使用しないでください。
- 3Dメガネの通信方式は無線LAN（IEEE802.11b/g）や電子レンジと同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、同時に使用すると、電波干渉が発生し、映像が途切れたり接続ができないことがあります。同時に使用したいときは、本機をこれらの機器の近くで使用しないでください。
- 本機の3Dメガネは、Full HD 3D Glasses Initiative™規格に準拠した、アクティブシャッター方式の3Dメガネです。

## 3D映像視聴に関する注意

3D映像を視聴するときは、次のことに注意してください。

 警告

分解改造について

- 3Dメガネを分解したり改造しないでください。
  火災や視聴時の異常による体調不良の原因になります。

保管場所について

- 3Dメガネや同梱部品は、乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
  誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

無線（Bluetooth）について

- 医療機器に電磁妨害をおよぼし、誤動作の原因となることがあります。お使いの前に、医療機器が近くにないことを確認してください。
- 自動制御機器に電磁妨害をおよぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しないでください。

加熱について

- 3Dメガネを火の中に入れたり、加熱したり、高温になる場所に放置したりしないでください。本製品にはリチウム充電池を内蔵しているため、発火・破裂によるやけどや火災の原因になります。

充電について

- 充電時は、当社で指定のUSB端子に付属の充電ケーブルを接続してご使用ください。他の機器による充電は、電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になることがあります。
- 付属の充電ケーブルは3Dメガネの充電用途以外に使用しないでください。発熱・発火・故障の原因になることがあります。

 注意

3Dメガネについて

- 3Dメガネを落としたり、力を加えたりしないでください。
  ガラス部分などが破損してけがの原因になることがあります。保管時は付属のソフトケースに収納してください。
- 3Dメガネを装着する際は、フレームの先端にご注意ください。
  目などをついてけがの原因になることがあります。
- 3Dメガネの可動部（ヒンジ部など）に指を挟まないようにしてください。
  けがの原因になることがあります。
- 3Dメガネを廃棄するときは、3Dメガネの取扱説明書を参照してください。

注意

3Dメガネの使用について

- 3Dメガネは正しく装着してください。
  3Dメガネを上下逆に装着しないでください。
  右目と左目に映像が正しく表示されずに不快に感じたりすることがあります。
- 3D映像をご覧になる以外には使用しないでください。
- 3D映像の見え方には個人差があります。違和感を感じたり、立体に見えない場合は、3D機能のご使用をお控えください。
  そのまま使用すると体調不良の原因となることがあります。
- 3Dメガネに異常・故障が発生した場合は直ちに使用を中止してください。
  そのまま使用するとけがや体調不良の原因になることがあります。
- 3Dメガネを装着し耳、鼻やこめかみが赤くなったり、痛みやかゆみを感じたら使用を中止してください。
  そのまま使用すると体調不良の原因になることがあります。
- 3Dメガネの装着により、肌に異常を感じたら使用を中止してください。
  ごく稀に塗料や材質によりアレルギーの原因になることがあります。

 注意

視聴時間について

- 3D映像を視聴する場合は、定期的に適度な休憩をとってください。
  長時間の視聴による目の疲れなどの原因となることがあります。
  休憩に必要な長さや頻度は個人差がありますので、ご自身で判断ください。休憩をとっても、疲労感、不快感がとれない場合は、使用を中止してください。

視聴方法について

- 3D映像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、使用を中止してください。
  そのまま使用しますと体調不良の原因となることがあります。
- 3D映像の視聴中は必ず3Dメガネを装着し、裸眼で3D映像を視聴しないでください。
  体調不良の原因となることがあります。
- 3Dメガネを使用するときには周囲に壊れやすい物を置かないでください。
  実際の物に間違えて体を動かし、周囲の物を破損してけがの原因となることがあります。
- 3Dメガネは3D映像視聴中のみ装着し、3Dメガネを装着したまま移動しないようにしてください。
  周りが暗くなり、転倒などによるけがの恐れがあります。
- スクリーンと（おおむね）水平な状態で視聴してください。
  傾いた状態で視聴を続けると、3D効果を感じにくくなったり、映像の色が変わったりすることにより、体調不良の原因となることがあります。
- 蛍光灯やLED照明などをお使いの部屋で視聴すると、部屋全体がちらついてみえることがあります。
  その場合は、ちらつきが消えるまで明かりを暗くしたり、照明を消して視聴してください。このちらつきによって、ごくまれに、けいれん発作や失神などの症状が起きることがあります。視聴中に体調の変化を感じた場合は視聴を中止してください。
- 画面の高さの3倍以上の視距離で視聴してください。
  推奨距離は、画面80インチの場合3.0m以上、画面100インチの場合3.6m以上です。
  推奨距離より近距離でのご使用は目の疲れの原因となることがあります。

注意

視聴者について

- 光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3Dメガネを使用しないでください。症状悪化の原因になることがあります。

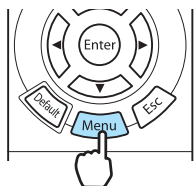
 注意

視聴年齢について（お子様への注意）

- 3D映像の視聴年齢については、6歳以上を目安にしてください。
- 6歳未満のお子様の3D視聴については、視覚が発達段階にあるため、必要に応じて医師にご相談ください。
- お子様が3Dメガネで視聴する場合は、必ず保護者が同伴してください。お子様が視聴する場合は、疲労感や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがありますので、保護者の方が、目の疲れがないかご注意ください。

## 2D映像を3Dに変換して見る

HDMI1/HDMI2/WirelessHD（EH-TW8100Wのみ）からの2D映像を3Dに変換します。

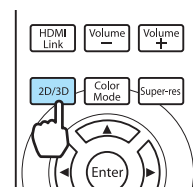
**1** Menu ボタンを押します。

環境設定メニューが表示されます。

**2** ［映像］-［3D設定］を選択し、Enter ボタンを押して決定します。

［3D設定］の画面が表示されます。

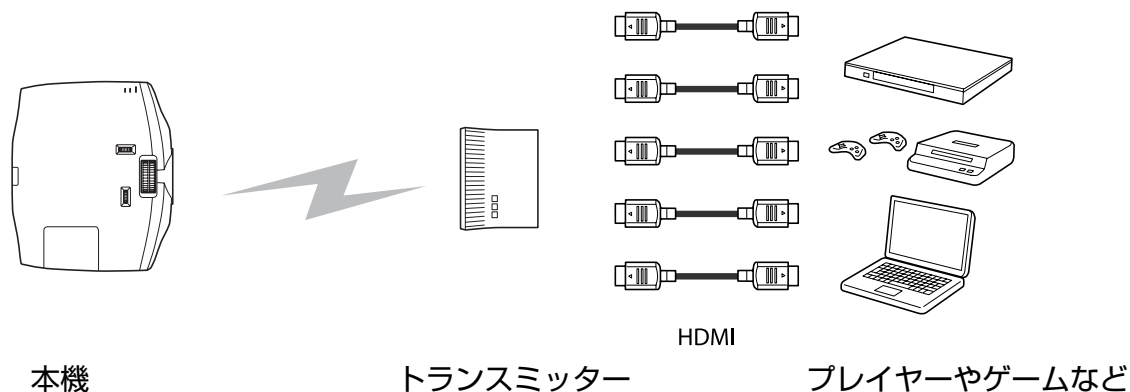
**3** ［2D-3D変換］を選択し、Enter ボタンを押して決定します。

**4** 3D効果の強度を選択し、Enter ボタンを押して決定します。

**5** 2D/3D ボタンを押します。

［2D-3D変換］を利用するときは、［3D方式設定］を［オート］または［2D］に設定してください。 ☛ ［映像］-［3D設定］-［3D方式設定］ p.68

# WirelessHDで接続する（EH-TW8100Wのみ）

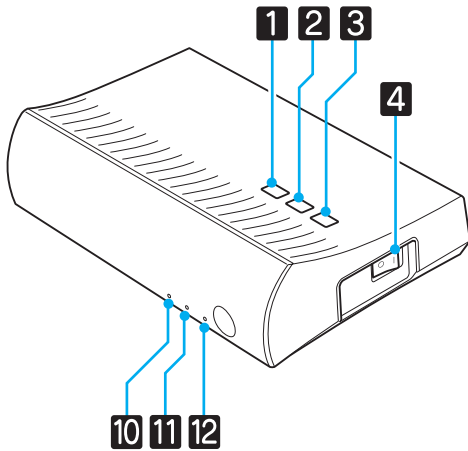
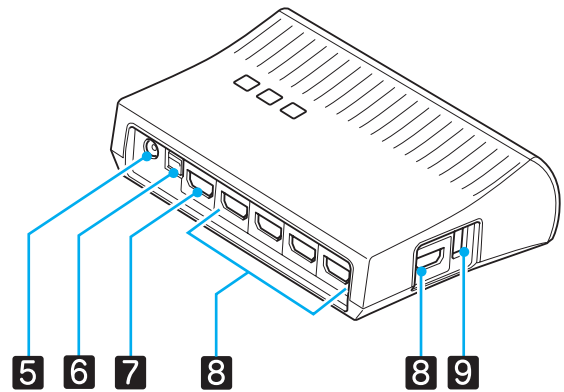
## WirelessHDトランスミッターの取り付け

同梱のWirelessHDトランスミッターを利用することで、無線で映像データを受信できるようになります。

WirelessHDトランスミッターは、次のような使い方ができます。

- 本機（プロジェクター）へのケーブル接続が不要です。AV機器の近くに設置できないときなどに便利です。
- 一度に5台までのAV機器を接続でき、リモコンで映像を切り替えられます。
- 本機（プロジェクター）とは別に、テレビなど他の出力機器をOutput端子に1台接続し、リモコンで出力先を切り替えられます。
- 本機（プロジェクター）の電源がオフでも、接続されたAV機器の映像を、Output端子に接続された他の出力機器に投写できます。

## WirelessHDトランスミッターの各部の名称

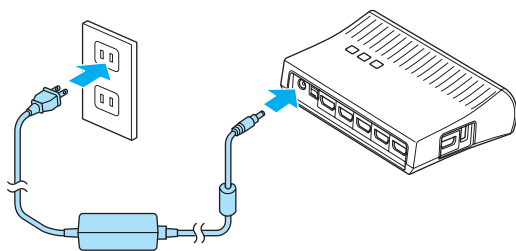
**前面**

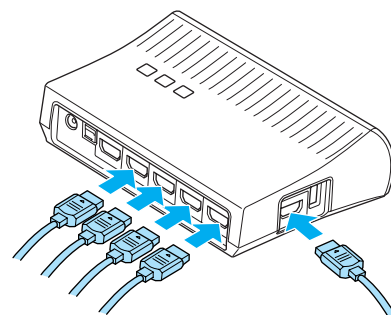
**背面**

| | 名称 | 機能 |
|---|---|---|
| 1 | ⏻ボタン | トランスミッターをオン/オフします。<br>リモコン下段にあるWiHD Transmitter制御用の ⏻ ボタンと同じ機能です。 |
| 2 | Inputボタン | 各入力端子からの映像に切り替えます。<br>リモコン下段にあるWiHD Transmitter制御用の Input ボタンと同じ機能です。 |
| 3 | Outputボタン | 映像の出力先をWireless/Output端子のどちらかに切り替えます。<br>リモコン下段にあるWiHD Transmitter制御用の Output ボタンと同じ機能です。 |
| 4 | 主電源スイッチ | トランスミッターの主電源をオン/オフします。 |
| 5 | ACアダプター端子 | ACアダプターに接続します。 |
| 6 | Optical Audio-Out端子 | 光デジタル音声入力端子のある音響機器に接続します。 |
| 7 | HDMI Output端子 | テレビなど他の出力機器に接続します。Outputボタンで出力を切り替えられます。 |
| 8 | HDMI Input端子 | 再生するAV機器に接続します。Inputボタンで入力映像を切り替えられます。 |
| 9 | 3Dメガネ充電端子 | USBケーブルで接続して、3Dメガネを充電します。 |
| 10 | ⏻インジケーター<br>(オレンジ色/緑色) | WirelessHDトランスミッターの電源がオンのときに点灯します。待機中はオレンジ色に、動作中（映像受配信中）は緑色に点灯します。 |
| 11 | WiHDインジケーター<br>(オレンジ色) | WirelessHDの通信状態を表示します。<br>• プロジェクターへ無線で映像を送信しているときに点灯します。<br>• Output端子に出力しているときは消灯します。 |
| 12 | Linkインジケーター<br>(オレンジ色) | プロジェクターとの接続状態を表示します。<br>• プロジェクターで映像を投写しているときは点灯します。<br>• プロジェクターを検索しているときは点滅します。<br>• パワーセーブ状態で待機しているときはゆっくり点滅します。 |

- 受信機は、本機（プロジェクター）の吸気口の奥に内蔵しているため、背面からの電波は受信できません。本機の前面がWirelessHDトランスミッターに向くように設置してください。また、本体左側（吸気口）の前を隠さないようにしてください。
- WirelessHDトランスミッターはプロジェクターの方に向けて水平に設置してください。
- 電波受信状況は［WirelessHD］の設定メニューで確認できます。 ☛ ［設定］-［WirelessHD］-［受信感度］ p.71

## WirelessHDトランスミッターをセットする

**1** 本機（プロジェクター）と接続するWirelessHDトランスミッターを向かい合う位置に設置します。
☛ p.56

**2** WirelessHDトランスミッターを付属のACアダプターで電源に接続します。

**3** WirelessHDトランスミッターのInput端子に、映像を再生するAV機器をHDMIケーブルで接続します。

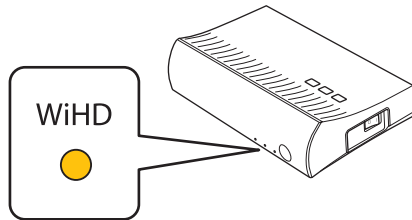
再生用機器は5台まで接続できます。

WirelessHDトランスミッターのOutput端子には、テレビなど他の出力機器を1台接続できます。出力先はリモコンで切り替えられます。 ☛ p.57

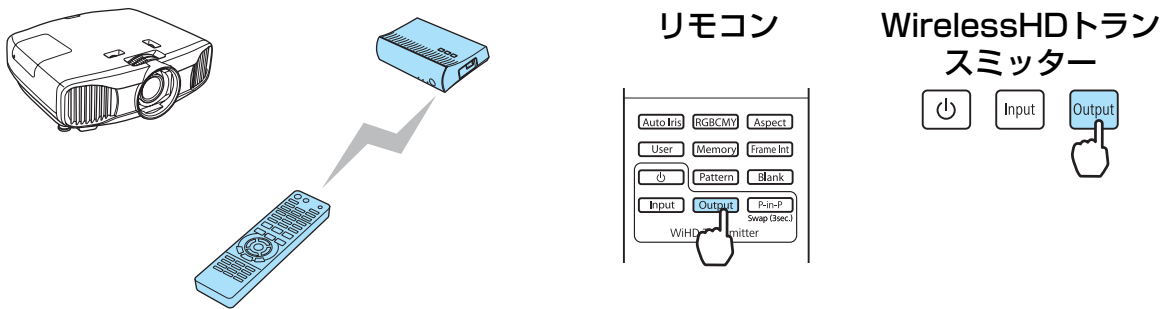
## 映像を投写する

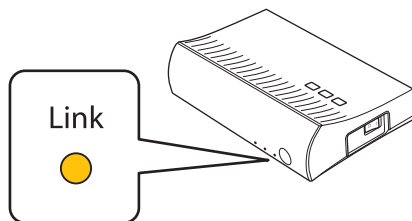
**1** AV機器を再生の状態にしてから、本機（プロジェクター）とWirelessHDトランスミッターの電源を入れます。

WirelessHDトランスミッターの⏻インジケーターが点灯します。

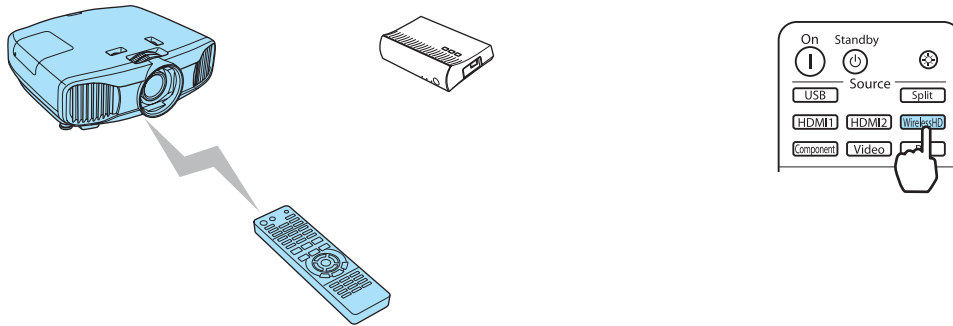
**2** WirelessHDトランスミッターのWiHDインジケーターの状態を確認します。

WiHDインジケーターが点灯しているときは、次の手順に進みます。

インジケーターが消灯しているときは、リモコンまたはWirelessHDトランスミッターの Output ボタンを押します。

リモコンの Output ボタンは、WirelessHDトランスミッターに向けて操作してください。

**3** WirelessHDトランスミッターのLinkインジケーターの状態を確認します。

WirelessHDトランスミッターと本機（プロジェクター）との接続が成功すると、Linkインジケーターが点滅後に点灯します。

> インジケーターがゆっくり点滅し続けるときは、WirelessHDトランスミッターと本機との接続ができず待機状態になっています。本機の電源など、投写準備ができているか確認してください。

**4** 投写が開始されないときは、リモコンの [WirelessHD] ボタンを押し、入力ソースを切り替えます。

リモコンの [WirelessHD] ボタンは、本機（プロジェクター）に向けて操作してください。

投写が開始されます。

**5** WirelessHDトランスミッターに複数のAV機器を接続して再生しているときは、[Input] ボタンを押して、映像を切り替えます。 ☛ p.58

- WirelessHDの映像を受信する場合は、環境設定メニューの［WirelessHD］が［オン］になっている必要があります。 ☛ ［設定］-［WirelessHD］ p.71
- 長期間使用しないときは、WirelessHDトランスミッターの電源をオフにしてください。

## WirelessHDの設定メニュー

**1** [Menu] ボタンを押します。

環境設定メニューが表示されます。

**2** ［設定］ －［WirelessHD］を選択します。

［WirelessHD］の設定画面が表示されます。

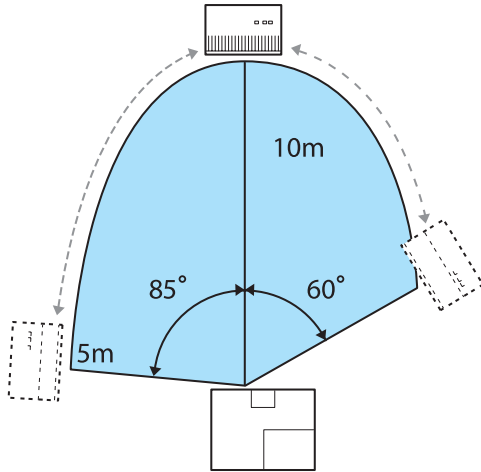
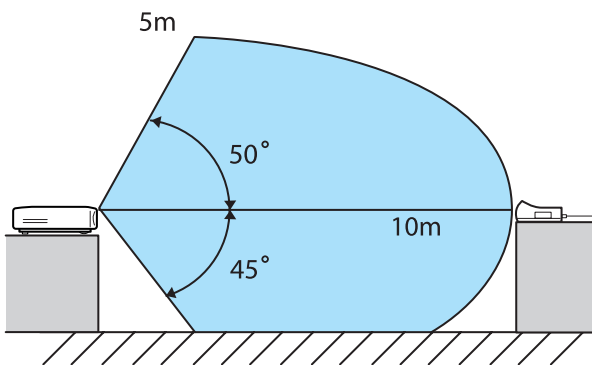
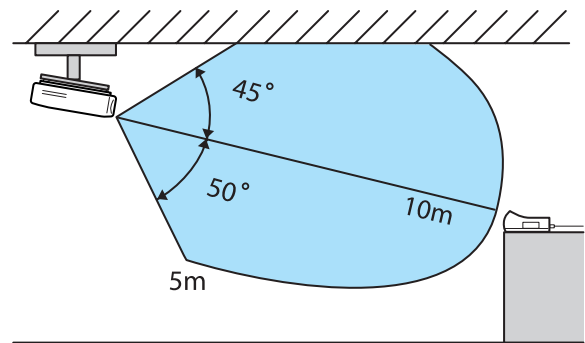
**3** 表示される各機能を設定します。

［WirelessHD］の設定メニューで設定できる機能

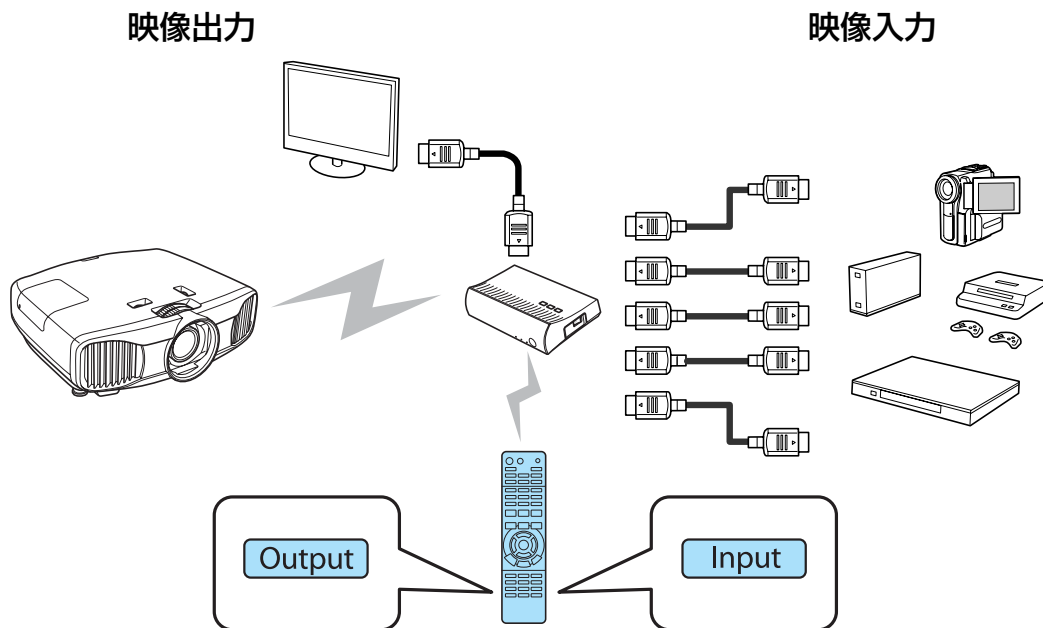
| 機能 | 説明 |
|---|---|
| 接続機器一覧 | 接続可能なWirelessHD機器の一覧を表示します。一覧には機器名とMACアドレス（装置番号）が表示されます。MACアドレスは底面ラベルに記載されています。 |
| WirelessHD | WirelessHDの機能の有効/無効を切り替えます。 |
| 受信感度 | 受信感度を表示します。 |
| 初期化 | ［WirelessHD］の設定メニューの調整値を初期値に戻します。 |

# WirelessHDの通信範囲

WirelessHDの送受信機が通信できる範囲は、次の通りです。WirelessHDトランスミッターは必ずプロジェクターに向く方向で設置してください。

水平方向

垂直方向（机などに置く）

垂直方向（天吊り設置）

- 無線通信距離は、家具や壁の材質や配置などによって変化します。この距離は目安です。
- 本機（プロジェクター）は壁越しの通信には対応しておりません。
- WirelessHDトランスミッターは木製の棚の上など、前面からの電波を遮らない場所に設置してください。なお、金属製の棚に置くと金属の影響で電波通信が不安定になることがあります。
- 本機（プロジェクター）とWirelessHDトランスミッターはそれぞれの前面にアンテナが内蔵されています。アンテナ位置（前面）を向い合わせて設置してください。
- 本機（プロジェクター）とWirelessHDトランスミッターを近くに置き、他のプロジェクターが近くで動作していないことを確認してください。
- 受信感度によっては、映像が途切れないよう映像の色情報を自動的に落として接続を維持します。画質を劣化させない伝送のために、[受信感度] ができる限り高い状態になるよう、WirelessHDトランスミッターの設置位置を調整して使用してください。

# WirelessHDトランスミッターの便利な機能

WirelessHDトランスミッターには、5台のAV機器（再生する入力機器）と1台の出力機器（映像を表示するテレビなどの出力機器）を接続し、切り替えて使えます。

リモコンの Input ボタン（入力切り替え）、 Output ボタン（出力切り替え）は、リモコンをWirelessHDトランスミッターに向けて操作してください。

## 映像出力先を切り替える

映像の出力先を、WirelessHDトランスミッターのOutput端子に接続したテレビなどの出力機器と本機（プロジェクター）とで切り替えます。

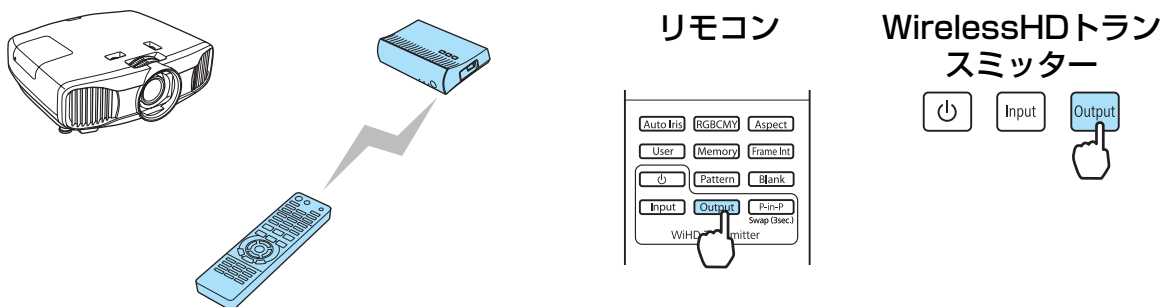
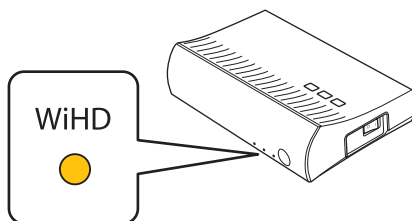
**1** 本機（プロジェクター）またはテレビの電源を入れます。

**2** WirelessHDトランスミッターの電源を入れます

WirelessHDトランスミッターの⏻インジケーターが点灯します。

**3** リモコンをWirelessHDトランスミッターの方向に向け、Output ボタンを押します。

リモコン

WirelessHDトランスミッター

WirelessHDトランスミッターのWiHDインジケーターが出力先により以下の状態になります。
点灯：本機（プロジェクター）へ映像を出力します。
消灯：他の出力機器へ映像を出力します。

次回起動時は前回の映像出力先へ投写します。

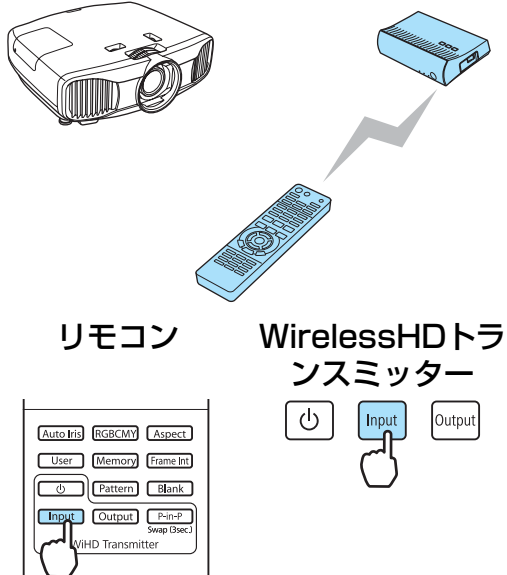
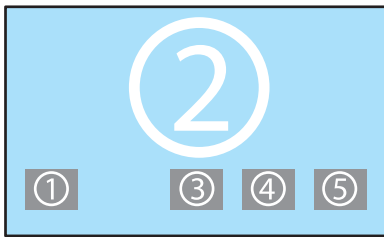
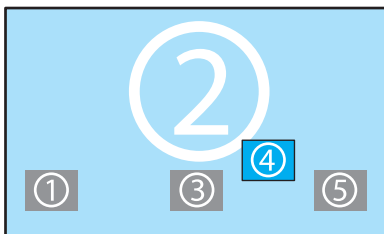
他の出力機器への切り替えは、本機（プロジェクター）の電源がオフのときでも利用できます。

## 映像ソースの切り替え

WirelessHDトランスミッターに接続されているAV機器の映像ソースを切り替えられます。切り替えるときは、各入力映像ソースをひとつの画面にまとめてプレビュー表示できるので、複数の機器をHDMI接続している場合でも、簡単に入力を切り換えることができます。

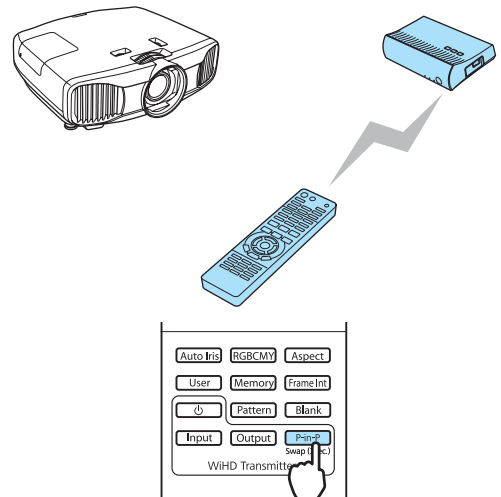
本機ではSilicon Image, Inc.のInsta Prevue Technologyを採用しています。

### 入力ソースの切り替え

**1** リモコンをWirelessHDトランスミッターの方向に向け、Input ボタンを押します。

接続されている機器の子画面が表示されます。

**2** Input ボタンを押すたびに候補画面が切り替わります。

**3** 候補画面を選んだ状態でしばらく待ちます。

投写映像が切り替わります。

### 子画面で表示する

**1** リモコンをWirelessHDトランスミッターの方向に向け、P-in-P ボタンを押します。

接続されている機器の子画面が表示されます。

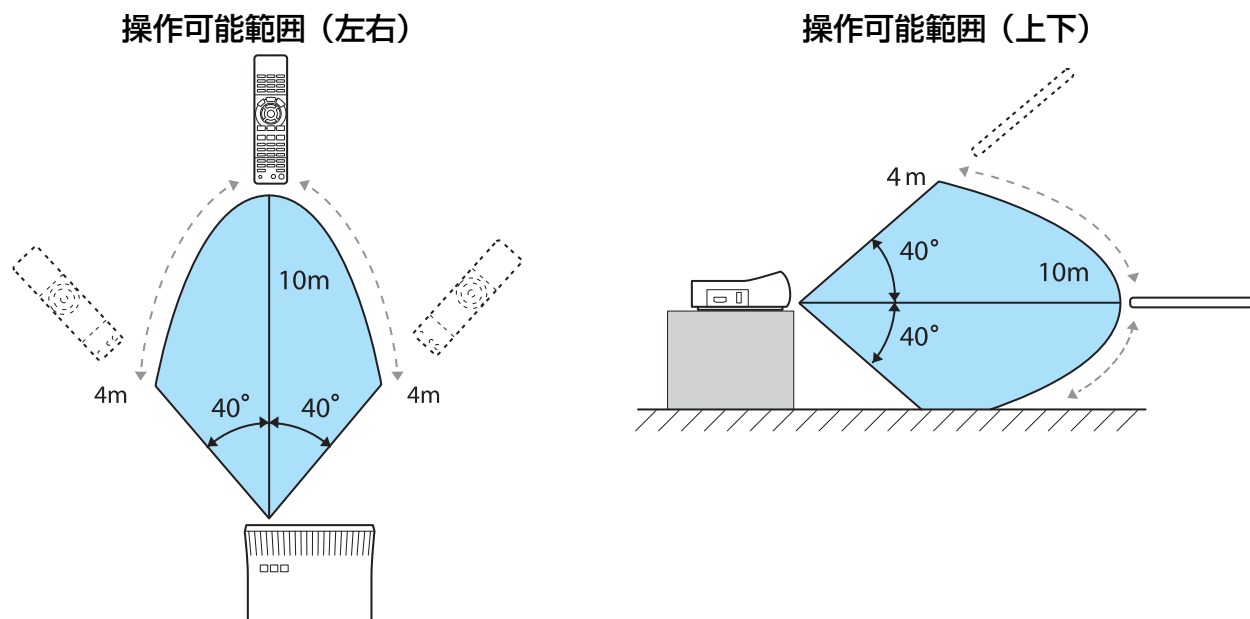
**2** 子画面と親画面を切り替えるときは、P-in-P ボタンを画面が切り替わるまで（3秒間）押し続けます。

**3** 子画面を終了するときは、再度 P-in-P ボタンを押します。

投写映像が切り替わります。

- 子画面が表示された状態で、Input ボタンを押すと子画面の映像を切り替えられます。
- 子画面が表示された状態で、Output ボタンを押すと子画面の位置とサイズ（大/小）を切り替えられます。表示位置は、Output ボタンを押すたびに、サイズを切り替えながら右下、右上、左上、左下で移動します。

## リモコンの操作範囲

WirelessHDトランスミッターに対するリモコンの操作範囲は、次の通りです。

# HDMIリンクで操作しよう

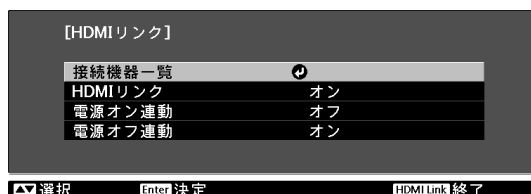
## HDMIリンク機能

本機のHDMI端子にHDMI CEC規格に対応したAV機器を接続すると、電源オン連動やAVアンプの音量調整など連携動作がひとつのリモコンで操作できます。また、WirelessHDで映像を投写しているときもHDMIリンク機能が利用できます（EH-TW8100Wのみ）。

- AV機器がHDMI CEC規格に対応していれば、中継するAVアンプがHDMI CEC規格に対応していなくてもHDMIリンク機能が利用できます。
- HDMI CEC規格で、同時に接続できるプレイヤーは3台までです。

**接続例**

## HDMIリンク設定

リモコンの［HDMI Link］ボタンを押し、［HDMIリンク］を［オン］にすると、次の機能が操作できます。

| 機能 | 説明 |
|---|---|
| 電源オン連動 | 接続機器側でのコンテンツ再生に連動して、本機の電源が入ります。または、本機の電源オンに連動して、接続機器の電源が入ります。 |
| 電源オフ連動 | 本機の電源オフに連動して、接続機器の電源が切れます。<br>• 接続機器のCEC電源連動機能を有効に設定しているときのみ有効。<br>• 録画中の機器など、状態によっては電源が切れないことがあります。 |
| 入力切替連動 | 接続機器のコンテンツ再生に連動して、本機の入力ソースがHDMIに切り替わります。 |
| 接続機器操作 | 再生/停止/早送り/巻き戻し/チャプター送り/チャプター戻し/一時停止などの操作が本機のリモコンで操作できます。 |

- HDMIリンクを使用するには、接続機器側の設定も必要です。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- WirelessHDトランスミッターを使用している場合でも、［電源オン連動］を［接続機器→PJ］または［双方向］に設定した状態で、［WirelessHD］を［オン］に設定してあれば、WirelessHDトランスミッターに接続しているAV機器の電源オンに連動して、本機の電源も入ります（EH-TW8100Wのみ）。☛ ［設定］-［HDMIリンク］-［電源オン連動］ p.71

## 接続機器一覧

HDMIリンクで利用可能な接続機器を確認し、映像を表示したい機器を選択できます。合わせてHDMIリンクで操作できる機器も切り替わります。

### 1 HDMI Link ボタンを押し、[接続機器一覧]を選択します。

[接続機器一覧]が表示されます。

左側のマークが緑色になっている機器がリンクされています。

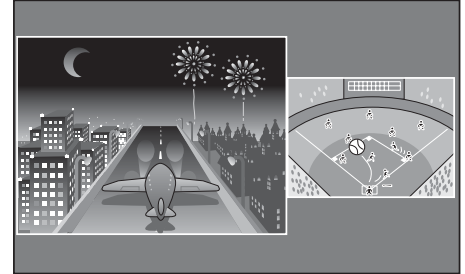
機器名が取得できない場合は空欄になります。

### 2 HDMIリンクで操作したい機器を選択します。

- ケーブルがHDMIの規格に対応していないと動作しません。
- HDMI CEC規格に対応していても動作しない接続機器や、動作しない機能があります。接続機器の取扱説明書などをご確認ください。

# 2種類の映像を切り替える

## 同時に表示できる画面の種類

1度に2種類の映像を左右に投写できます。同じサイズで投写することも、片方を拡大することもできるのでメイン映像を視聴しつつ、サブ映像を確認するなどの利用ができます。

2画面で投写できる入力ソースの組み合わせ

| | HDMI1 | HDMI2 | WirelessHD ※ | Component | Video | PC |
|---|---|---|---|---|---|---|
| HDMI1 | - | - | - | ✓ | ✓ | ✓ |
| HDMI2 | - | - | - | ✓ | ✓ | ✓ |
| WirelessHD ※ | - | - | - | ✓ | ✓ | ✓ |
| Component | ✓ | ✓ | ✓ | - | ✓ | - |
| Video | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | - | ✓ |
| PC | ✓ | ✓ | ✓ | - | ✓ | - |

※ EH-TW8100Wのみ

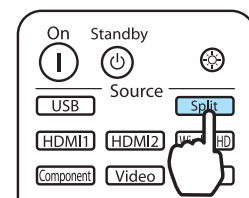
## 2画面で投写する

### 2画面表示を開始する

本機で投写中にリモコンの Split ボタンを押します。

入力されている映像が2画面で表示されます。

左側に直前までの映像が投写され、右側には［2画面設定］メニューの［入力ソース］で指定した映像になります。該当のソースが入力されていないときは表示されません。

再度 Split ボタンを押すと2画面表示を終了します。

3D映像は2画面で表示できません。

## 2画面の設定を変更する

2画面に表示する入力ソースや表示サイズは、[2画面設定]メニューで切り替えます。

**1** 2画面投写中に Menu ボタンを押します。

[2画面設定]メニューが表示されます。

2画面投写中に Menu ボタンを押すと[2画面設定]メニューが直接表示されます。

**2** 表示される各機能を設定します。

[2画面設定]メニューで設定できる機能

| 機能 | 説明 |
| --- | --- |
| 画面サイズ | 左右の画面サイズを[均等]、[左拡大]、[右拡大]で切り替えます。 |
| 入力ソース | 左右それぞれに表示する入力ソースを選択します。 |
| 左右画面入替 | 左右の画面を切り替えます。 |
| 2画面終了 | 2画面表示を終了します。 |

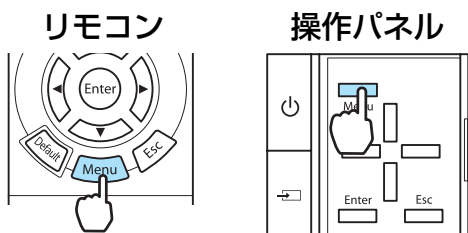
# 環境設定メニューの機能

## 環境設定メニューの操作

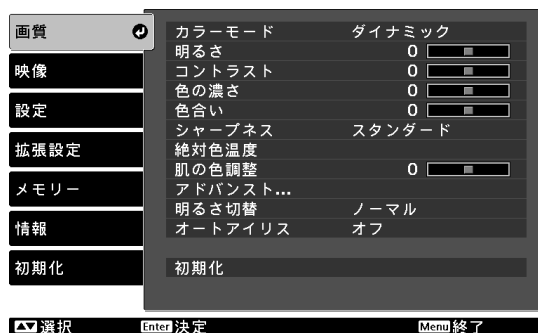
環境設定メニューでは、映像、画質、入力信号などの調整や設定を行うことができます。

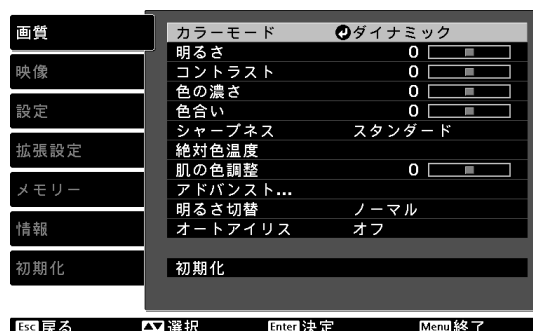
**1** Menu ボタンを押します。

リモコン

操作パネル

環境設定メニューが表示されます。

**2** ▲ ▼ ボタンで左側のトップメニューを選択し、Enter ボタンを押して決定します。

左側のトップメニューを選択すると、右側のサブメニューが切り換わります。

下の1行は操作ガイドです。

**3** ▲ ▼ ボタンで右側のサブメニューを選択し、Enter ボタンを押して決定します

選択した機能の調整画面が表示されます。

**4** ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンで設定値を調整します。

例）調整バー

例）選択肢

↵ が表示されている項目で Enter ボタンを押すと、その項目の選択画面に移行します。

一階層戻るときは Esc ボタンを押します。

**5** Menu ボタンを押してメニューを終了します。

明るさなど調整バーで調整する項目は、調整画面が表示されているときに Default ボタンを押すと調整値が初期値に戻ります。

## 環境設定メニュー一覧

映像信号が入力されていないときは、環境設定メニューの画質と映像の項目は調整できません。また、画質、映像、情報は、投写している映像信号によって表示される項目が異なります。

### 画質メニュー

| 機能 | メニュー/設定値 | 説明 |
|---|---|---|
| **カラーモード** | ダイナミック、リビング、ナチュラル、ステージ、シネマ、3Dダイナミック、3Dシネマ | 投写する環境や映像に合わせて、色調整を選択します。 ☛ p.30 |
| **明るさ** | | 映像が暗く感じるときに調整します。 |
| **コントラスト** | | 映像の明暗の差を調整します。コントラストを上げるとメリハリのある映像になります。 |
| **色の濃さ※1** | | 映像の色の濃さを調整します。 |
| **色合い※1** | | 映像の色合いを調整します。 |
| **シャープネス** | スタンダード | 映像のシャープ感を調整します。<br>映像全体を調整します。 |
| | アドバンスト※1：高域強調、低域強調、水平シャープネス、垂直シャープネス | 映像のシャープ感を調整します。<br>特定の領域を調整したいときに使います。 ☛ p.36 |
| **絶対色温度** | 5000K～10000K（12段階） | 映像全体の色合いを調整します。高い値にすると青みがかった映像になり、低い値にすると赤みを帯びた映像になります。 |
| **肌の色調整** | | 肌の色を調整します。＋側に設定すると緑がかった色になり、－側に設定すると赤みのある色合いになります。 |

| 機能 | メニュー/設定値 | | | | 説明 |
|---|---|---|---|---|---|
| **アドバンスト** | ガンマ | 2.0、2.1、2.2、2.3、2.4 | | | ガンマ調整をします。数値を選択する方法と、映像やグラフを見ながら調整する方法があります。 ☛ p.33 |
| | | カスタム | 映像から調整する、グラフから調整する | | |
| | | 初期化 | | | |
| | RGB | オフセット R/G/B | | | R/G/Bごとにオフセットとゲインを調整します。 ☛ p.35 |
| | | ゲイン R/G/B | | | |
| | RGBCMY | R/G/B/C/M/Y | 色相、彩度、明度 | | R/G/B/C/M/Yごとに色相、彩度、明度を調整します。 ☛ p.33 |
| | EPSON Super White※2 ※3 | | オン、オフ | | ([カラーモード] が [オート] / [ナチュラル] / [シネマ] / [3Dシネマ] の場合で、HDMI1/HDMI2入力端子やWirelessHD からの信号入力時のみ設定可能)<br>白の部分が明るく白とびしているときは、[オン] に設定します。[オン] に設定している場合は、[HDMIビデオレベル] での設定は無効になります。 |
| **明るさ切替** | 高、低 | | | | ランプの明るさを2段階で切り替えます。<br>投写映像が明るすぎるときは [低] に設定します。[低] で使用すると投写中の消費電力、ファン回転音が減少します。 |
| **オートアイリス** | オフ、標準、高速 | | | | 映像の明暗変化に対する光量調整の追従性を設定します。オフにすると光量調整は行いません。 ☛ p.37 |
| **初期化** | はい、いいえ | | | | [画質] のすべての調整値を初期値に戻します。 |

※1 コンピューター映像信号入力時は表示されません。
※2 Component/HDMI1/HDMI2やWirelessHD映像信号入力時のみ表示されます（WirelessHDはEH-TW8100Wのみ)。
※3 入力ソースや信号の種類ごとに設定値が保存されます。

## 映像メニュー

| 機能 | メニュー/設定値 | | 説明 |
|---|---|---|---|
| 3D設定※1 | 3D表示 | オン、オフ | 3D表示の有効/無効を切り替えます。 ☛ p.43 |
| | 2D-3D変換 | オフ、弱、中、強 | 2D映像を3Dに変換する場合に、3D効果の強さを設定します。 ☛ p.50 |
| | 3D方式設定 | オート、サイドバイサイド、トップアンドボトム、2D | 入力信号の3D方式を設定します。[オート]にすると自動的に選択します。 |
| | 3D奥行き調整 | -10～10 | 3D映像の奥行き感を設定します。 |
| | 映像サイズ | 60～300 | 3D映像の投写サイズを設定します。実サイズに合わせることで、適切な3D効果になります。 |
| | 3D明るさ調整 | 低、中、高 | 3D映像の明るさを設定します。 |
| | 3Dメガネ左右反転 | はい、いいえ | 3Dメガネの左右のシャッターと左右映像との同期タイミングを反転します。映像で3Dの効果が正しく表示されない場合に設定します。 |
| | 3D視聴上の注意 | オン、オフ | 3D視聴に関する注意を表示するかどうかを切り替えます。 |
| アスペクト※2 | オート、ノーマル、フル、ズーム、ワイド | | アスペクトモードを選択します。 ☛ p.31 |
| ズームサイズ※2 | | | ([アスペクト] が [ズーム] のときに設定可能)<br>[ズーム] 時に上下にはみ出して見えない部分を、縦方向にスクイーズ（圧縮）して表示します。調整値が大きいほど、縦方向に映像が潰れたような表示になります。 |
| ズーム字幕位置※2 | | | ([アスペクト] が [ズーム] のときに設定可能)<br>字幕が下にある映像で字幕が切れてしまうとき、映像の表示位置を上下のどちらかに動かして字幕を表示させます。 |
| トラッキング※2 ※3 | 入力信号によって異なります。 | | 映像に縦の縞模様が出るときに調整します。 |
| 同期※2 ※3 | 0～31 | | 映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。<br>• ちらつき、ぼやけは、[明るさ] / [コントラスト] / [シャープネス] の調整で発生することもあります。<br>• トラッキング調整の後に同期を調整したほうが鮮明に調整できます。 |
| 表示位置※2 ※4 | | | 映像の一部が欠けているときに表示位置を上下左右に移動し映像の投写範囲を調整します。 |

| 機能 | メニュー/設定値 | | 説明 |
|---|---|---|---|
| **プログレッシブ変換※2** | オフ、ビデオ、フィルム/オート※5 ※6 | | (Video入力端子から信号入力時、またはComponent/HDMI1/HDMI2入力端子やWirelessHDから480i、576i、1080i信号入力時のみ設定可能)<br>映像に適した方法でインターレース(i)信号をプログレッシブ(p)信号に変換します。<br>• [オフ]:信号を変換しません。<br>• [ビデオ]:一般のビデオ映像に適しています。<br>• [フィルム/オート]:フィルム映画、CG、アニメーション映像など入力信号に応じて最適な変換を行います。 |
| **動き検出** ※2 ※5 | 1~5 | | 映像の動きの速さを1(遅い、静止画向き)から5(速い、動画向き)で設定します。静止画の品質が劣る場合や動画がちらつくときに設定してください。 |
| **自動調整※3** | オン、オフ | | 入力信号が切り替わったときに、映像を自動で最適な状態に調整するかどうかを設定します。自動調整されるのは、トラッキング、表示位置、同期の3項目です。 |
| **フレーム補間** | オフ、弱、標準、強 | | 中間のコマを補間して残像を抑えた動画を投写します。 ☛ p.37 |
| **超解像** | 0~5 | | 解像度を拡大するときに発生するエッジ部分などのボケを低減します。 ☛ p.38 |
| **アドバンスト** | ノイズリダクション※2 ※5 | オフ、1、2、3 | 映像のざらつきを抑えます。モードを3つ用意しています。お好みの設定でご覧ください。DVDなど映像ソースにノイズが少ないときは[オフ]に設定してご覧ください。 |
| | セットアップレベル※2 ※5 | 0%、7.5% | (Video入力端子からNTSC信号またはコンポーネントビデオ信号入力時に設定可能)<br>韓国向けの製品など黒のレベル(セットアップレベル)が違う機器を使用する際に変更します。接続する機器の仕様を確認してから設定してください。 |

| 機能 | メニュー/設定値 | | 説明 |
|---|---|---|---|
| (アドバンスト) | オーバースキャン ※1 ※2 | オート、オフ、2%、4%、6%、8% | 出画率(投写する映像の範囲)を変更できます。<br>• [オフ]、2～8%:映像の範囲を設定します。[オフ]はすべての範囲を投写します。映像信号によっては上下にノイズが入る場合があります。<br>• [オート]:HDMI1/HDMI2入力端子やWirelessHDからの信号入力時のみ表示されます。入力信号によって自動的に[オフ]または[8%]に設定されます。 |
| | HDMIビデオレベル※2 ※6 | オート、通常、拡張 | ([EPSON Super White]が[オフ]の場合のみ設定可能)<br>[オート]に設定すると、本機のHDMI1/HDMI2入力端子やWirelessHDへのDVD入力信号のビデオレベルを自動判別し設定します。<br>[オート]に設定していて映像に黒つぶれや白とびが生じるときは、DVDプレイヤーのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定します。DVDプレイヤー側の設定では、Normal(通常)、Expand(拡張)となっていることがあります。<br>接続機器のDVI端子と接続しているときは[オート]が表示されません。 |
| | 映像処理 | きれい、速い | 画質を向上させる処理をします。 ☛ p.39 |
| **初期化** | はい、いいえ | | [映像]のうち、[アスペクト]以外のすべての調整値を初期値に戻します。 |

※1 Component/HDMI1/HDMI2やWirelessHD映像信号入力時のみ表示されます(WirelessHDはEH-TW8100Wのみ)。
※2 入力ソースや信号の種類ごとに設定値が保存されます。
※3 PC映像信号入力時のみ表示されます。
※4 HDMI1/HDMI2やWirelessHD映像信号入力時は設定できません。
※5 PC映像信号入力時は表示されません。
※6 Video映像信号入力時は表示されません。

## 設定メニュー

| 機能 | メニュー/設定値 | | 説明 |
|---|---|---|---|
| **台形補正** | -60～60 | | タテ方向の台形ゆがみを補正します。 ☛ p.28 |
| **HDMIリンク** | 接続機器一覧 | - | HDMI1/HDMI2入力端子やWirelessHD※で接続している機器の一覧を表示します。 |
| | HDMIリンク | オン、オフ | HDMIリンク機能の有効/無効を切り替えます。 |
| | 電源オン連動 | オフ、双方向、接続機器→PJ、PJ→接続機器 | 電源オンの連動機能を設定します。<br>接続機器側でのコンテンツ再生に連動して、本機の電源が入る（双方向、接続機器→PJ）や、本機の電源オンに連動して、接続機器の電源が入る（双方向、PJ→接続機器）ように設定します。 |
| | 電源オフ連動 | オン、オフ | 本機の電源オフに連動して、接続機器の電源が切るかどうかを設定します。 |
| **WirelessHD**<br>※ | 接続機器一覧 | - | 接続可能なWirelessHD機器の一覧を表示します。 |
| | WirelessHD | オン、オフ | WirelessHDの機能の有効/無効を切り替えます。 |
| | 受信感度 | 55% | 受信感度を表示します。 |
| | 初期化 | はい、いいえ | ［WirelessHD］の調整値を初期値に戻します。<br>本機の初期化を行っても、WirelessHDトランスミッターの初期化は行われません。<br>WirelessHDトランスミッターの初期化についてはWirelessHDトランスミッターの説明書をご覧ください。 |

| 機能 | メニュー/設定値 | | 説明 |
|---|---|---|---|
| ロック設定 | チャイルドロック | オン、オフ | お子様が、誤って電源を入れないように、操作パネルの ⏻ ボタンでの電源オンをロックします。ロック時は、 ⏻ ボタンを約3秒間押し続けると電源が入ります。<br>⏻ ボタンでの電源オフやリモコンでの操作は通常どおり行えます。<br>設定を変更した場合は、電源を切ってクールダウンが終了した後に、設定が有効になります<br>[チャイルドロック] を [オン] に設定しても、[ダイレクトパワーオン] を [オン] に設定しているときは本機の主電源をONにするだけで投写が開始されますので、注意してください。 |
| | 操作ボタンロック | オン、オフ | [オン] にすると本体操作パネルの ⏻ ボタン以外のボタン操作が無効になり、ボタン操作を行うと画面上に 🔒 が表示されます。解除するには、本体操作パネルの Enter ボタンを約7秒以上押します。<br>設定を変更した場合は、環境設定メニューの表示終了後に、設定が有効になります。 |
| 設置モード | フロント、フロント・天吊り、リア、リア・天吊り | | 本機の設置状態に応じて設定します。<br>• [フロント]：スクリーン正面から投写する場合に選択します。<br>• [フロント・天吊り]：天吊りでスクリーン正面から投写する場合に選択します。<br>• [リア]：リアスクリーンへ裏側から投写する場合に選択します。<br>• [リア・天吊り]：天吊りでリアスクリーンへ裏側から投写する場合に選択します。 |
| ユーザーボタン | 2D-3D変換、3D方式設定※、3D奥行き調整、3D明るさ調整、3Dメガネ左右反転、明るさ切替、情報 | | リモコンの User ボタンに割り当てる [3D設定] の機能を選択します。 User ボタンを押すと割り当てたメニュー項目の選択/調整画面が直接表示されるのでワンタッチで設定/調整の変更が行えます。 |

| 機能 | メニュー/設定値 | 説明 |
|---|---|---|
| **2画面** | - | 2画面表示を開始します。<br>☛ p.63 |
| **初期化** | はい、いいえ | [設定] のすべての調整値を初期値に戻します。 |

※ EH-TW8100Wのみ表示されます。

## 拡張設定メニュー

| 機能 | メニュー/設定値 | | 説明 |
|---|---|---|---|
| **動作設定** | ダイレクトパワーオン | オン、オフ | 本機の主電源をONにするだけで、ボタン操作なしに投写できるよう設定できます。<br>[オン] に設定しているときは、停電復旧時などに、主電源がONになっていると、投写が開始されますので注意してください。 |
| | スリープモード | オフ、5分、10分、30分 | 信号が入力されていない状態が設定した時間続くと、自動的に電源をオフにして、スタンバイ状態になります。[オフ] にした場合はスリープモードは働きません。スタンバイ状態になっているときは、リモコンの ボタンまたは操作パネルの ボタンを押すと投写を再開します。 |
| | イルミネーション | オン、オフ | 部屋を暗くして映画などを鑑賞中に操作パネルのインジケーターの点灯が気になるときは、本設定を [オフ] にします。 |
| | トリガーアウト | オン、オフ | 本機の電源オンの状態などを外部機器に伝えるトリガーアウト機能を設定します。<br>[オフ] は、Trigger out端子から電圧が出力されません。<br>[オン] は、本機の電源がオンの状態のときにTrigger out端子から電圧が出力されます。<br>設定を変更した場合は、再起動後に設定が有効になります。 |
| | 高地モード | オン、オフ | 標高約1500m以上でお使いの場合は [オン] にします。 |

| 機能 | メニュー/設定値 | | 説明 |
|---|---|---|---|
| 表示設定 | メニュー表示位置 | - | メニューが表示される位置を指定します。 |
| | メニューカラー | カラー1、カラー2 | トップメニューの色合いを選択します。<br>• [カラー1] ：黒色<br>• [カラー2] ：青色 |
| | メッセージ表示 | オン、オフ | 次のメッセージ表示をする（オン）/しない（オフ）を設定します。<br>• 映像信号やカラーモード、アスペクト、メモリー呼び出し時の項目名表示<br>• 映像信号が入力されていないときや未対応信号の場合、内部温度上昇時 |
| | 背景表示 | 黒、青、ロゴ | 映像信号が入力されていないときなどの画面の状態を選択します。 |
| | スタートアップスクリーン | オン、オフ | スタートアップスクリーン（投写開始時に投写される映像）を表示する（オン）/しない（オフ）を設定します。設定を変更した場合は、電源を切ってクールダウンが終了した後に、設定が有効になります。 |
| | スタンバイ確認 | オン、オフ | スタンバイ確認メッセージを表示する(オン)/しない(オフ)を設定します。 ☛ p.25 |
| | 型番表示モード | オン、オフ | プロジェクターの型番を表示します。 |
| 入力信号 | ビデオ信号方式 | オート、NTSC、NTSC4.43、PAL、M-PAL、N-PAL、PAL60、SECAM | Video入力端子に接続しているビデオ機器に応じて信号方式を設定します。[オート] にすると、自動的にビデオ信号を設定します。[オート] にしていても映像にノイズが入ったり、映像が映らないなどのトラブルが起きる場合は、適切な信号を選択してください。 |
| | Component | オート、YCbCr、YPbPr | Component入力端子に接続しているビデオ機器の出力信号に応じて選択します。<br>[オート] にすると、自動的に設定します。<br>[オート] にしていて色が不自然な場合は、適切な信号を選択してください。 |
| 液晶アライメント... | 液晶アライメント補正 | オン、オフ | [液晶アライメント補正] の有効/無効を切り替えます。 |
| | 調整色 | R、B | 補正する色を選択します。 |
| | パターン色 | R/G/B、R/G、G/B | 補正時に使用するパターンを選択します。 |
| | 調整開始 | - | [液晶アライメント補正] を開始します。<br>☛ p.38 |
| | 初期化 | はい、いいえ | 補正値を初期化します。 |
| 言語 | - | | 表示する言語を選択します。 |
| 初期化 | はい、いいえ | | [拡張設定] のすべての調整値を初期値に戻します。 |

## メモリーメニュー

| 機能 | 説明 |
|---|---|
| メモリー呼出 | [メモリー登録]で登録した設定値を呼び出します。 ☛ p.41<br>[メモリー登録]で何も登録していないときは選択できません。 |
| メモリー登録 | [画質]と[映像]の一部をメモリーとして登録できます。 ☛ p.40 |
| メモリー削除 | 登録済みのメモリーで不要になったものを削除します。 ☛ p.41 |
| メモリー名称変更 | 登録済みのメモリーの名前を変更します。 ☛ p.41 |

## 情報メニュー

| 機能 | 説明 |
|---|---|
| ランプ点灯時間 | ランプの累積使用時間を表示します。 |
| 入力ソース | 現在投写中の機器を接続している入力ソース名を表示しています。 |
| 入力信号 | [映像]メニューの[入力信号方式]の設定内容を入力ソースに応じて表示しています。 |
| 入力解像度 | 入力解像度を表示しています。 |
| 走査方式 | 走査方式を表示しています。 |
| リフレッシュレート | リフレッシュレートを表示しています。 |
| 3D方式 | 3D映像投写時に入力されている信号の3D方式（フレームパッキング/サイドバイサイド/トップアンドボトム）が表示されます。 |
| 同期情報 | 映像信号の情報を表示しています。<br>お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。 |
| Deep Color | Deep Colorを表示しています。 |
| ビデオ信号方式 | [映像]メニューの[ビデオ信号方式]の設定内容を表示しています。 |
| ステータス | 本機に発生した異常についての情報です。<br>お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。 |
| シリアル番号 | 本機のシリアル番号を表示します。 |

## 初期化メニュー

| 機能 | 説明 |
|---|---|
| 全初期化 | 環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。<br>[入力信号方式]、[メモリー登録]、[ランプ点灯時間]、[言語]、[ユーザーボタン]は初期値に戻りません。 |
| メモリー初期化 | [メモリー登録]で登録した内容をすべて初期化（消去）します。 |
| ランプ点灯時間初期化 | ランプ点灯時間の累積を[0 H]に戻します。ランプ交換をしたときに行ってください。 |

## 2画面メニュー

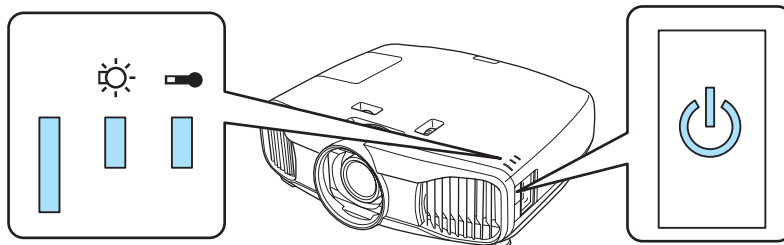
2画面投写中に Menu ボタンを押すと表示されます。

| 機能 | メニュー/設定値 | | | 説明 |
|---|---|---|---|---|
| **2画面** | 画面サイズ | 均等、左拡大、右拡大 | | 左右の画面サイズを切り替えます。 ☛ p.64 |
| | 入力ソース | 左画面、右画面 | PC<br>Video<br>Component<br>HDMI1/<br>HDMI2<br>WirelessHD<br>※ | 左右それぞれに表示する入力ソースを選択します。 ☛ p.64 |
| | 左右画面入替 | | | 左右の画面を切り替えます。<br>☛ p.64 |
| | 2画面終了 | | | 2画面表示を終了します。<br>☛ p.64 |

※ EH-TW8100Wのみ表示されます。

# 故障かなと思ったら

## インジケーターの見方

本機の状態は、操作パネルの ⏻ 、⏻（オペレーションインジケーター）、🌡、☼の点灯や点滅で確認できます。

次の表でインジケーターの状態と対処方法を確認してください。

### 異常/警告時のインジケーターの状態

:点灯　:点滅　:消灯

| インジケーター | 状態 | 対処方法 |
|---|---|---|
| （オレンジ） | **ランプ交換勧告** | ランプの交換時期です。速やかに新しいランプと交換してください。 ☛ p.92<br>このまま使い続けるとランプが破裂するおそれがあります。 |
| （オレンジ） | **高温警告** | このまま投写を続けられます。さらに高温になると投写を自動的に停止します。<br>• 壁際に設置している場合は、壁と排気口の間を20cm以上あけてください。<br>• エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除をしてください。 ☛ p.88 |
| （赤） | **内部異常** | 本体の故障です。<br>電源ケーブルを抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。 ☛ 『お問い合わせ先』 |
| （赤） | **ファン異常**<br>**センサー異常** | |

| インジケーター | 状態 | 対処方法 |
|---|---|---|
| （赤） | **ランプ異常**<br>**ランプ点灯失敗** | ランプに異常があるか、点灯に失敗しました。<br>• 電源ケーブルを抜いてからランプが割れていないか確認します。 ☛ p.92<br>ランプが割れていなければ、ランプを再セットし、本機の電源を入れます。<br>ランプを再セットしても直らないときやランプが割れているときは、ご使用をやめ、電源ケーブルを抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。 ☛ 『お問い合わせ先』<br>• エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除をしてください。 ☛ p.88<br>• 標高1500m以上でお使いの場合は、必ず［高地モード］を［オン］にしてください。 ☛ ［拡張設定］-［動作設定］-［高地モード］ p.73 |
| （赤） | **内部高温異常**<br>**（オーバーヒート）** | 内部が高温になっています。<br>• ランプが自動的に消灯し投写できなくなります。約5分間そのままの状態で待ちます。ファンが停止したら、電源ケーブルを抜きます。<br>• 壁際に設置している場合は、壁と排気口の間を20cm以上あけてください。<br>• エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除をしてください。 ☛ p.88<br>• 電源を入れ直しても改善されない場合は、ご使用をやめ、電源ケーブルを抜いてください。お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。 ☛ 『お問い合わせ先』 |

## 正常動作時のインジケーターの状態

● :点灯　　:点滅　　○ :消灯

| インジケーター | 状態 | 対処方法 |
|---|---|---|
| （青） | **スタンバイ状態** | リモコンの Ⅰ ボタンまたは操作パネルの ⏻ ボタンを押すと、しばらくして投写を開始します。 |
| （青） | **ウォームアップ中** | ウォームアップの時間は約30秒です。<br>ウォームアップ中は電源オフの操作は無効になります。 |
| （青） | **クールダウン中** | クールダウン中はすべての操作は無効になります。クールダウンが終了すると、スタンバイ状態になります。万一、クールダウン中に電源ケーブルを抜いたときは、ランプが十分に冷えてから（約10分必要）、再び電源ケーブルを接続し、リモコンの Ⅰ ボタンまたは操作パネルの ⏻ ボタンを押してください。 |

| インジケーター | 状態 | 対処方法 |
| --- | --- | --- |
| （青） | **投写中** | 通常動作中です。 |

- 正常動作時は🌡と☼インジケーターは消灯しています。
- ［イルミネーション］機能が［オフ］の場合は正常な投写中にインジケーターがすべて消灯しています。 ☛ ［拡張設定］-［動作設定］-［イルミネーション］ p.73

## インジケーターを確認してもわからないとき

### 現象の確認

下記の表のうち、どのトラブルに該当するかを確認し、参照先をご覧ください。

| 現象 | | ページ |
| --- | --- | --- |
| 映像に関するトラブル | 映像が表示されない<br>投写を開始しない・真っ黒の映像になる・青い映像になるなど... | p.80 |
| | コンピューターで再生する動画が表示されない | p.80 |
| | **「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」**と表示される | p.81 |
| | **「映像信号が入力されていません。」**と表示される | p.81 |
| | ぼやける、ピントが合わない | p.81 |
| | ノイズが入る・乱れるなど... | p.82 |
| | 切れる（大きい）、小さい、映像の一部分しか投写されないなど... | p.82 |
| | 色合いが違う<br>赤紫がかっている・緑色がかっている・モノクロになる・色がくすむなど... ※ | p.83 |
| | 暗い | p.83 |
| | 自動的に投写が消える | p.83 |
| 投写開始時のトラブル | 電源が入らない | p.84 |
| リモコンでのトラブル | リモコンで操作できない | p.84 |
| 3Dでのトラブル | 3Dで正しく投写できない | p.85 |
| HDMIのトラブル | HDMIリンクで操作できない | p.85 |
| | 接続機器一覧に機器名が表示されない | p.86 |
| WirelessHDのトラブル | WirelessHDの映像が投写できない | p.86 |
| | WirelessHDの映像にノイズが入る、乱れる | p.87 |

※ コンピューターのモニターや液晶画面とは色の再現性が異なるため、本機での投写映像とモニターでの表示の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。

## 映像に関するトラブル

### 映像が表示されない

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| 電源を入れましたか？ | リモコンの ⏽ ボタンまたは操作パネルの ⏻ ボタンを押します。 |
| 電源ケーブルを接続していますか？ | 電源ケーブルを接続してください。 |
| インジケーターがすべて消灯していませんか？ | 本機の電源ケーブルを抜いて、接続し直します。<br>電気が供給されているか確認します。 |
| 映像信号は入力されていますか？ | 接続している機器の電源が入っているか確認します。環境設定メニューの［メッセージ表示］を［オン］に設定すると映像信号に関するメッセージが表示されます。 ☛ ［拡張設定］-［表示設定］-［メッセージ表示］ p.73 |
| AVアンプの電源が切れていませんか？ | AVアンプを接続しているときは、AVアンプの電源も確認してください。 |
| 機器から映像信号が送られていますか？ | 接続している機器から映像信号が送られていることを確認してください。 |
| 映像の信号形式の設定は合っていますか？ | Video入力時<br>環境設定メニューの［ビデオ信号方式］を［オート］に設定していても投写できないときは、機器に合った信号方式に設定します。 ☛ ［拡張設定］-［入力信号］-［ビデオ信号方式］ p.73 |
| | Component入力時<br>環境設定メニューの［Component］を［オート］に設定していても投写できないときは、接続している機器の信号方式に合わせて設定します。 ☛ ［拡張設定］-［入力信号］-［Component］ p.73 |
| 環境設定メニューの設定が間違っていませんか？ | 全初期化してみてください。 ☛ ［初期化］-［全初期化］ p.75 |
| （コンピューター映像信号投写時のみ）<br>接続の作業を、本機やコンピューターの電源が入っている状態で行いましたか？ | 電源を入れた状態で接続を行うと、コンピューターの映像信号を外部に切り替えるキー（ファンクションキーなど）が使えないことがあります。接続しているコンピューターの電源を入れ直してください。 |

### 動画が表示されない

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| （コンピューター映像信号投写時のみ）<br>コンピューターの映像信号が外部と液晶モニター両方同時に出力されるように設定されていませんか？ | コンピューターの仕様により映像を外部と液晶モニターに同時表示させると動画が表示されないことがあります。<br>映像信号が外部のみに出力されるように切り替えてください。<br>コンピューターの仕様はコンピューターの取扱説明書を参照してください。 |

## 「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

| 確認 | 対処法 |
| --- | --- |
| 映像の信号形式の設定は合っていますか？ | Video入力時<br>環境設定メニューの［ビデオ信号方式］を［オート］に設定していても投写できないときは、機器に合った信号方式に設定します。 ☛ ［拡張設定］-［入力信号］-［ビデオ信号方式］ p.73 |
| | Component入力時<br>環境設定メニューの［Component］を［オート］に設定していても投写できないときは、接続している機器の信号方式に合わせて設定します。 ☛ ［拡張設定］-［入力信号］-［Component］ p.73 |
| （コンピューター映像信号投写時のみ）<br>映像信号の周波数や解像度が対応するモードですか？ | 環境設定メニューの［入力解像度］で入力中の映像信号を確認し、本機の解像度に対応しているか確認してください。<br>☛ p.96 |

## 「映像信号が入力されていません。」と表示される

| 確認 | 対処法 |
| --- | --- |
| ケーブル類が正しく接続されていますか？ | 投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 ☛ p.20 |
| 接続した映像入力端子を正しく選択していますか？ | リモコンの各入力ソースのボタンか操作パネルの ボタンで映像を切り替えます。 ☛ p.25 |
| 接続している機器の電源は入っていますか？ | 機器の電源を入れます。 |
| （コンピューター映像信号投写時のみ）<br>プロジェクターに映像信号が出力されていますか？ | 映像信号がコンピューターの液晶モニター以外（外部）にも出力されるように切り替えます。外部に映像信号を出力すると、液晶モニターに表示されないモデルもあります。コンピューターの仕様はコンピューターの取扱説明書を参照してください。 |
| | 本機やコンピューターの電源を入れた状態で接続を行うと、コンピューターの映像信号を外部に切り替えるFn（ファンクション）キーが使えないことがあります。本機およびコンピューターの電源を入れ直してください。 |

## ぼやける、ピントが合わない

| 確認 | 対処法 |
| --- | --- |
| フォーカス調整しましたか？ | フォーカス調整を行います。 ☛ p.27 |
| 投写距離は最適ですか？ | 投写距離の推奨範囲を確認してください。 ☛ p.19 |

| 確認 | 対処法 |
| --- | --- |
| レンズが結露していませんか？ | 寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり、急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。 ご使用になる1時間くらい前に使用する部屋に設置するようにします。結露してしまったときは、本機の電源を切り、電源ケーブルを抜いてしばらく放置してください。 |

## ノイズが入る、乱れる

| 確認 | 対処法 |
| --- | --- |
| 映像の信号形式の設定は合っていますか？ | Video入力時<br>環境設定メニューの［ビデオ信号方式］を［オート］設定していても投写できないときは、機器に合った信号方式に設定します。 ☛ ［拡張設定］-［入力信号］-［ビデオ信号方式］ p.73 |
| | Component入力時<br>環境設定メニューの［Component］を［オート］に設定していても投写できないときは、接続している機器の信号方式に合わせて設定します。 ☛ ［拡張設定］-［入力信号］-［Component］ p.73 |
| ケーブル類が正しく接続されていますか？ | 投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 ☛ p.20 |
| ケーブルを延長していませんか？ | ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。 |
| （コンピューター映像信号投写時のみ）<br>［同期］/［トラッキング］は正しく調整されていますか？ | 本機は自動調整機能で最適な状態で投写します。ただし信号によっては、自動調整を行っても正しく調整されないものもあります。 この場合は、環境設定メニューの［トラッキング］/［同期］で調整します。 ☛ ［映像］-［トラッキング］/［同期］ p.68 |
| （コンピューター映像信号投写時のみ）<br>解像度の選択は正しいですか？ | 本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。<br>☛ p.96 |

## 映像の一部が切れる（大きい）、小さい

| 確認 | 対処法 |
| --- | --- |
| ［アスペクト］は正しく選択していますか？ | Aspect ボタンを押して入力信号に合った［アスペクト］を選択してください。 ☛ ［映像］-［アスペクト］ p.68<br>字幕つきの映像を［ズーム］で投写している場合は、環境設定メニューの［ズーム字幕位置］で調整します。 ☛ ［映像］-［ズーム字幕位置］ p.68 |
| ［表示位置］は正しく調整されていますか？ | 環境設定メニューの［表示位置］で調整します。 ☛ ［映像］-［表示位置］ p.68 |
| （コンピューター映像信号投写時のみ）<br>解像度の選択は正しいですか？ | 本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。<br>☛ p.96 |

## 色合いが違う

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| 映像の信号形式の設定は合っていますか？ | Video入力時<br>環境設定メニューの［ビデオ信号方式］を［オート］設定していても投写できないときは、機器に合った信号方式に設定します。 ☛ ［拡張設定］-［入力信号］-［ビデオ信号方式］ p.73 |
| | Component入力時<br>環境設定メニューの［Component］を［オート］に設定していても投写できないときは、接続している機器の信号方式に合わせて設定します。 ☛ ［拡張設定］-［入力信号］-［Component］ p.73 |
| ケーブル類が正しく接続されていますか？ | 投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 ☛ p.20<br>Video、Component入力端子の場合は、コネクターと同じ色のケーブル端子を接続します。 ☛ p.20 |
| コントラストは正しく調整されていますか？ | 環境設定メニューの［コントラスト］を調整してください。<br>☛ ［画質］-［コントラスト］ p.66 |
| 適切に色の調整がされていますか？ | 環境設定メニューの［アドバンスト］を調整してください。<br>☛ ［画質］-［アドバンスト］ p.66 |
| （ビデオ機器の映像信号投写時のみ）<br>色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？ | 環境設定メニューの［色の濃さ］/［色合い］を調整してください。 ☛ p.66 |

## 暗い

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| 映像の明るさは正しく設定されていますか？ | 環境設定メニューの［明るさ］を設定してください。<br>☛ ［画質］-［明るさ］ p.66 |
| コントラストは正しく調整されていますか？ | 環境設定メニューの［コントラスト］を調整してください。<br>☛ ［画質］-［コントラスト］ p.66 |
| ランプの交換時期ではありませんか？ | ランプの交換時期が近づくと映像が暗くなったり、色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。<br>☛ p.92 |

## 自動的に投写が消える

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| ［スリープモード］が働いていませんか？ | 映像信号が入らない状態で約30分間操作しないと、ランプが自動的に消灯し、スタンバイ状態になります。リモコンの Ⓘ ボタンまたは操作パネルの ⏻ ボタンを押すと電源が入ります。［スリープモード］を働かせないときは設定を［オフ］にします。 ☛ ［拡張設定］-［動作設定］-［スリープモード］ p.73 |

## 投写開始時のトラブル

### 電源が入らない

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| 電源を入れましたか? | リモコンの ⏽ ボタンまたは操作パネルの ⏻ ボタンを押します。 |
| [チャイルドロック] を [オン] に設定していませんか? | 環境設定メニューの [チャイルドロック] を [オン] に設定している場合は、操作パネルの ⏻ ボタンを約3秒間押し続けるか、リモコンで操作します。 ☛ [設定] - [ロック設定] - [チャイルドロック] p.71 |
| [操作ボタンロック] を [オン] に設定していませんか? | 環境設定メニューの [操作ボタンロック] を [オン] に設定していると、 ⏻ ボタン以外の操作パネルのボタンはすべて無効になります。リモコンで操作します。 ☛ [設定] - [ロック設定] - [操作ボタンロック] p.71 |
| インジケーターがすべて消灯していませんか? | 本機の電源ケーブルを抜いて、接続し直します。<br>電気が供給されているか確認します。 |
| 電源ケーブルを触ると、インジケーターが点いたり消えたりしませんか? | 本機の電源を切り、電源ケーブルを抜いてから差し直します。それでも直らないときは、 ご使用をやめ、電源ケーブルを抜き、お買い上げの販売店またはプロジェクターインフォメーションセンターにご相談ください。 ☛ 『お問い合わせ先』 |

## リモコンでのトラブル

### リモコンで操作できない

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作していますか? | リモコン受光部に向かって操作してください。また、操作可能範囲を確認してください。 ☛ p.23 |
| プロジェクターから離れすぎていませんか? | 操作可能範囲を確認してください。 ☛ p.23 |
| リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか? | 強い光などがリモコン受光部にあたる場所を避けて設置してください。 |
| 乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか? | 新しい乾電池を正しい向きでセットします。 ☛ p.23 |
| リモコンをWirelessHDトランスミッターに向けてWiHD Transmitter制御のボタンを操作していますか?<br>(EH-TW8100Wのみ) | リモコンのWiHD Transmitter制御のボタンは、WirelessHDトランスミッターに向けて操作します。<br>☛ p.57 |

## 3Dでのトラブル

### 3Dで正しく投写できない

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| 3Dメガネの電源が入っていますか？ | 3Dメガネの電源を入れてください。 |
| 3D映像が投写されていますか？ | 本機が2D映像を投写しているときや、本体側のエラーなどで3D映像を投写していないときは3Dメガネをかけても3D映像を視聴できません。 |
| 入力映像が3Dに対応していますか？ | 入力映像が3Dに対応しているか確認してください。 |
| [3D表示] を [オフ] に設定していませんか？ | 環境設定メニューの [3D表示] を [オフ] に設定していると、3D入力信号で自動的に3Dに切り替わりません。 2D/3D ボタンを押してください。 ☛ [映像] - [3D設定] - [3D表示] p.68 |
| 正しい3D方式に設定していますか？ | 本機の3D方式は自動で選択されますが、3Dの効果が正しく表示されない場合は、環境設定メニューの [3D方式設定] で選択してください。 ☛ [映像] - [3D設定] - [3D方式設定] p.68 |
| 受信範囲で視聴していますか？ | 3Dメガネが本機と交信できる範囲を確認し、範囲内で視聴してください。 ☛ p.46 |
| ペアリングは正常にできていますか？ | 3Dメガネの取扱説明書を参照し、ペアリングを実施してください。 |
| 電波干渉を引き起こす機器が周囲にありませんか？ | 他のBluetooth通信機器や無線LAN（IEEE802.11b/g)、電子レンジなどの周波数帯（2.4GHz）と同時に使用すると、電波干渉が発生し、映像が途切れたり接続ができないことがあります。本機をこれらの機器の近くで使用しないでください。 |

## HDMIのトラブル

### HDMIリンクで操作できない

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| HDMI規格に準拠したケーブルを使用していますか？ | HDMI規格に適合していないケーブルでは動作しません。 |
| HDMI CEC規格に対応した機器を接続していますか？ | 接続機器にHDMI端子がついていてもHDMI CEC規格に対応していないと操作できません。接続機器の取扱説明書などをご確認ください。<br>また、 HDMI Link ボタンを押し、[接続機器一覧] で利用可能かどうか確認してください。 ☛ p.61 |
| ケーブル類が正しく接続されていますか？ | HDMIリンクを使うために必要なケーブル類が確実に接続されているか確認します。 ☛ p.61 |
| 接続しているアンプやDVDレコーダーなどの電源は入っていますか？ | それぞれの機器の電源をスタンバイ状態にします。接続機器の取扱説明書などをご確認ください。 |

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| 新しく機器を接続したり、接続を変更しましたか？ | 新しく機器を接続したり接続を変更した後に操作できないときは、接続機器のCEC機能を設定し直したり、再起動が必要な場合があります。 |
| プレイヤーを何台も接続していませんか？ | HDMI CEC規格で、同時に接続できるプレイヤーは3台までです。 |

### 接続機器一覧に機器名が表示されない

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| 接続機器がHDMI CEC規格に対応していますか？ | 接続機器がHDMI CEC規格に対応していないと表示されません。接続機器の取扱説明書などをご確認ください。 |

## WirelessHDのトラブル（EH-TW8100Wのみ）

### WirelessHDの映像が投写できない

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| 同梱のWirelessHDトランスミッターを接続しているケーブルはHDMIの規格に対応していますか？ | ケーブルがHDMIの規格に対応していないと動作しません。 |
| [WirelessHD] を [オフ] に設定していませんか？ | 環境設定メニューの [WirelessHD] を [オフ] に設定していると、WirelessHD入力信号で投写できません。[WirelessHD] を [オン] に設定し、WirelessHD ボタンを押してください。 ☛ [設定] - [WirelessHD] p.71 |
| WirelessHDの通信範囲で受信していますか？ | WirelessHDの送受信機が通信できる範囲を確認し、範囲内で視聴してください。 ☛ p.56 |
| 同梱のWirelessHDトランスミッターの電源は入っていますか？ | WirelessHDトランスミッターの電源ランプを確認してください。電源が入っていない場合は、ACアダプターのコネクターをしっかり差し込んで、電源スイッチを入れてください。 |
| 同梱のWirelessHDトランスミッターのLinkインジケーターが消灯していませんか？ | WirelessHDは本機と通信していません。AV機器にHDMIケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、WirelessHDの送受信機が通信できる範囲を確認し、範囲内に設置してください。 |
| 同梱のWirelessHDトランスミッターのインジケーターが交互に点滅していませんか？ | 温度警告中です。オーディオラックの中など、換気が不十分か周囲温度の高い環境で使用すると動作を停止します。しばらく冷却してから使用してください。 |
| WirelessHDの排気口にホコリがたまっていませんか？ | 底面の排気口はWirelessHDの排気口です。ホコリがたまると通信できない場合があります。ホコリがたまらないように設置してください。 |
| 本機（プロジェクター）とWirelessHDトランスミッターの向きが正しいですか？ | 本機（プロジェクター）とWirelessHDトランスミッターは、互いに向き合うように設置してください。 |

## WirelessHDの映像にノイズが入る、乱れる

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| WirelessHDの通信範囲で受信していますか？ | WirelessHDの送受信機が通信できる範囲を確認し、範囲内で視聴してください。 ☛ p.56 |
| WirelessHDトランスミッターと本機の間に障害物がありませんか？ | WirelessHDはビーム状の通信電波を利用しているため、伝送経路が人や障害物などで遮断されると通信できず、映像に影響が出ます。WirelessHDの通信範囲の中で、WirelessHDトランスミッターと本機の間に障害物が入らないように設置してください。 ☛ p.56 |
| 受信感度が低い状態ではありませんか？ | 電波強度が不十分なため通信が不安定な可能性があります。WirelessHDトランスミッターの位置や向きを変えることで電波状態が改善することがありますので、[受信感度] を確認しながら設置してください。 ☛ [設定] - [WirelessHD] - [受信感度] p.71 |
| | 電波強度は環境によって異なり、安定しない場合があります。[受信感度] を確認しながら、数値が安定する場所に設置してください。 ☛ [設定] - [WirelessHD] - [受信感度] p.71 |

# お手入れの方法

## 各部の掃除

本体が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

警告

本機のレンズやエアフィルターなどに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となります。

### エアフィルターの掃除

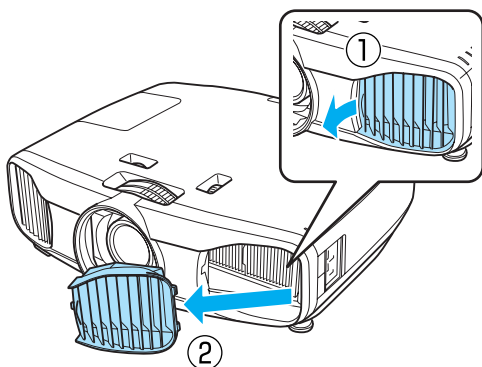
エアフィルターにホコリがたまっていたり、次のメッセージが表示されたときは、エアフィルターを掃除してください。
「内部温度が上昇しています。吸排気口付近の障害物を取り除き、エアフィルターの掃除、または交換をしてください。」

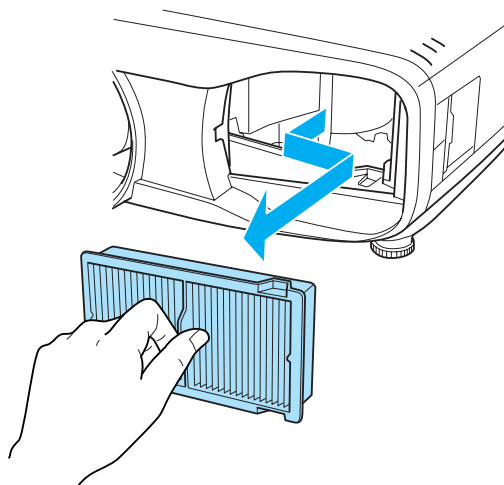
注意

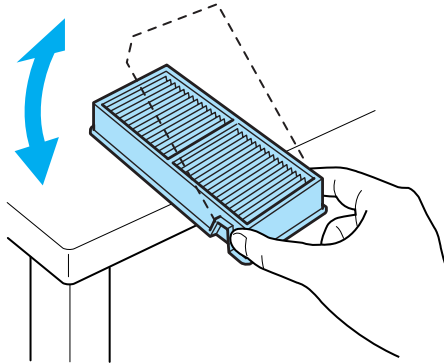
- エアフィルターにホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。約3ヶ月に一度はエアフィルターの掃除を行うことをお勧めします。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除を行ってください。
- エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。
- 軽くなでるように掃除をしてください。強くこするとホコリがエアフィルター内部に入り込み取れなくなります。

**1** リモコンまたは操作パネルの ⏻ ボタンで電源を切り、主電源スイッチをOFFにしてから電源ケーブルを抜きます。

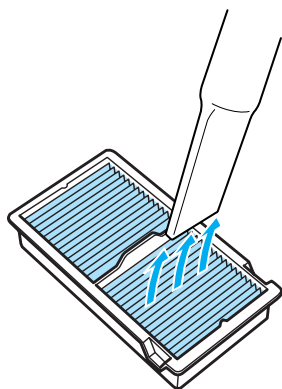
**2** エアフィルターカバーを取り外します。

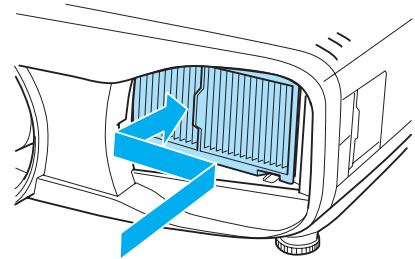
エアフィルターカバーのタブに指をかけ、レンズ側から外します。

**3** エアフィルターを取り出します。

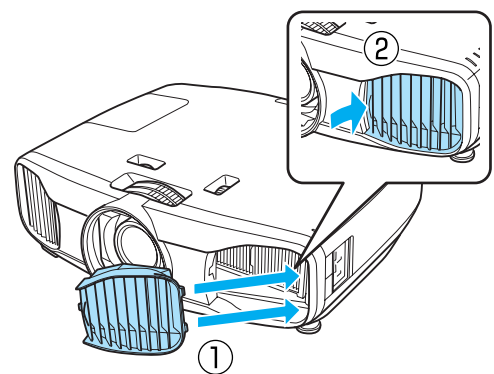
中央のつまみを持ってエアフィルターを取り出します。

4 **エアフィルターの表面を下にして、4～5回たたいてホコリを落とします。**

持ち替えて手に持っていた方も同様にたたいてホコリを落とします。

**注意**

エアフィルターを強くたたきすぎると、変形したり割れたりして使用できなくなります。

5 **掃除機でエアフィルターに残ったホコリを表側から吸い取ります。**

6 **エアフィルターを取り付けます。**

中央のつまみを持ってエアフィルターを斜めに差し込んで取り付けます。

7 **エアフィルターカバーを取り付けます。**

外側のツメをはめてからレンズ側をはめます。

## 本体の掃除

本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

**注意**

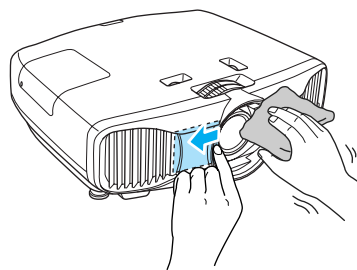
ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

### レンズの掃除

レンズの汚れは、メガネ拭きなどで軽くふき取ってください。

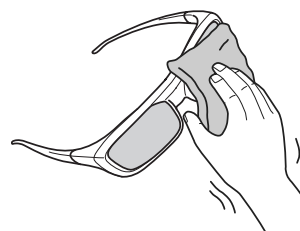
レンズシャッターを手で開けて中のレンズをふきます。

注意

レンズの表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、乱暴に扱わないでください。

### 3Dメガネの掃除

メガネレンズの汚れは、3Dメガネに同梱のクリーナーで軽くふき取ってください。

注意

- メガネレンズの表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、乱暴に扱わないでください。
- お手入れの際には、USB充電AC電源アダプターをコンセントから抜き、すべてのケーブルを外したことを確認してから行ってください。

## 消耗品の交換時期

### エアフィルターの交換時期

- エアフィルターの掃除を行っても交換メッセージが表示されるとき ☛ p.88

### ランプの交換時期

- 投写開始時に、次のメッセージが表示されたとき
  **「ランプの交換時期です。交換用ランプの情報につきましては取扱販売店にお問い合わせいただくか、www.epson.jpをご覧ください。」**
- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき

- 初期の明るさや画質を維持するため、使用時間が最短で約3900時間を経過すると、ランプ交換メッセージが表示されます。メッセージの表示時間はカラーモード設定などお使いの状況により変わります。
  交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものもあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお勧めします。
- 交換用ランプはお近くのエプソン商品取扱店および、エプソンダイレクト（通話料無料 0120-545-101）でお買い求めください。

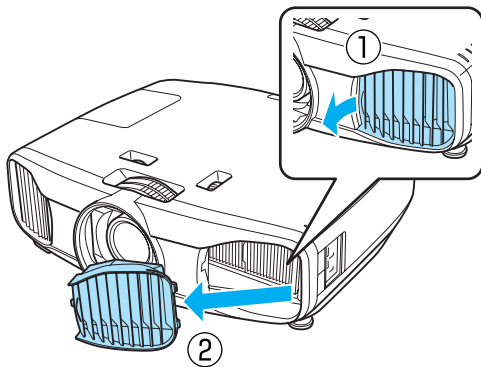
# 消耗品の交換

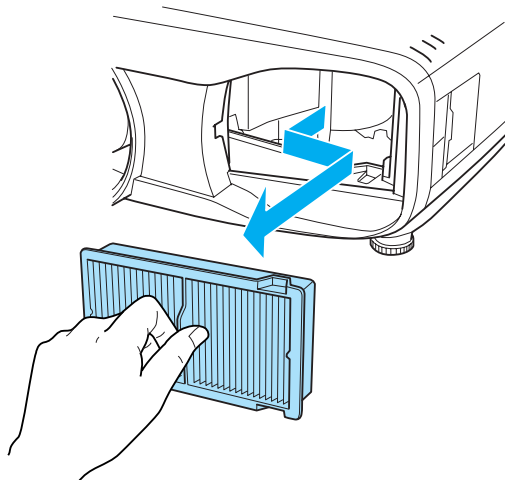
## エアフィルターの交換方法

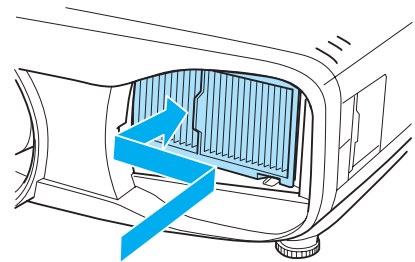
使用済みのエアフィルターは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。
材質：PP

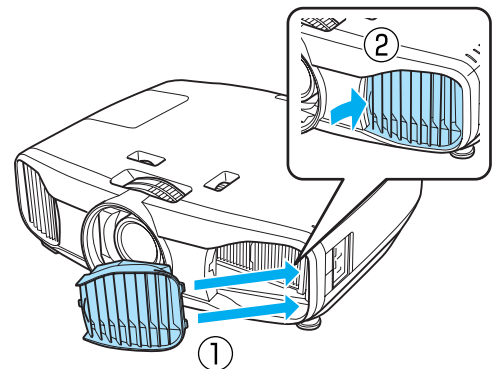
**1** リモコンまたは操作パネルの ⏻ ボタンで電源を切り、主電源スイッチをOFFにしてから電源ケーブルを抜きます。

**2** エアフィルターカバーを取り外します。

エアフィルターカバーのタブに指をかけ、レンズ側から外します。

**3** 古いエアフィルターを取り外します。

中央のつまみを持ってエアフィルターを取り出します。

**4** 新しいエアフィルターを取り付けます。

中央のつまみを持ってエアフィルターを斜めに差し込んで取り付けます。

**5** エアフィルターカバーを取り付けます。

外側のツメをはめてからレンズ側をはめます。

## ランプの交換方法

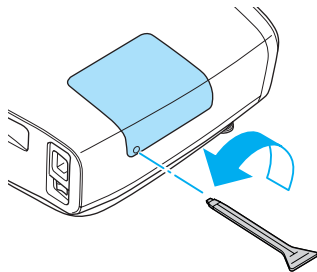
警告

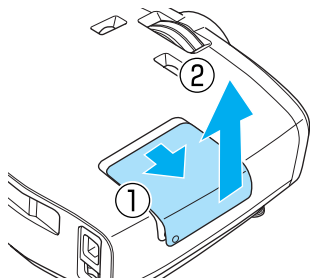
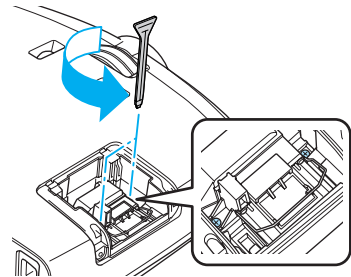
ランプが点灯しなくなり交換する場合は、ランプが割れている可能性があります。本機を天吊りで使用していてランプ交換を行う場合は、ランプが割れていることを想定し、ランプカバーをそっと取り外してください。ランプカバーを開ける際に細かいガラス破片が落ちてくる可能性があります。万一、目や口にガラス破片が入った場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

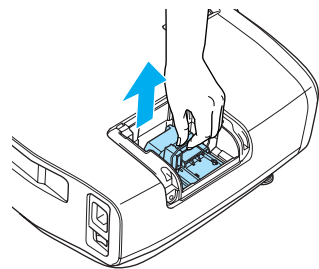
注意

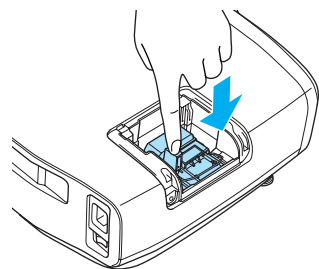
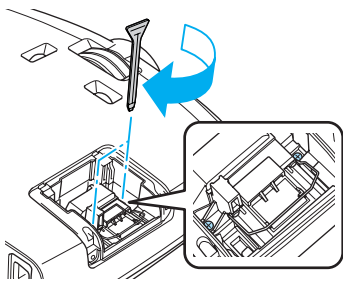
電源を切った直後はランプカバーが熱くなっていますので、触らないようにしてください。ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。熱でけがの原因となることがあります。

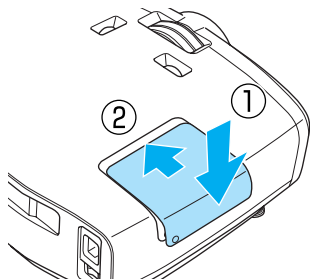
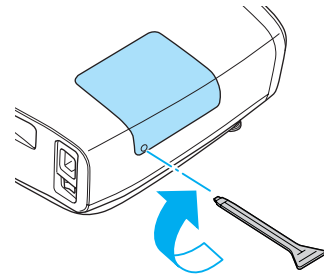
**1** リモコンまたは操作パネルの ⏻ ボタンで電源を切り、主電源スイッチをOFFにしてから電源ケーブルを抜きます。

**2** ランプカバー固定ネジをゆるめます。

**3** ランプカバーを取り外します。

ランプカバーをまっすぐスライドさせて外します。

**4** ランプ固定ネジをゆるめます。

**5** 古いランプを取り出します。

取っ手を持ってまっすぐ引き抜きます。

**6** 新しいランプを取り付けます。

向きを合わせて押し込みます。

**7** ランプ固定ネジをしっかり締めます。

**8** ランプカバーを取り付けます。

スライドさせながらカバーを取り付けます。

**9** ランプカバー固定ネジを締めます。

**警告**

ランプの分解・改造は絶対しないでください。

**注意**

- ランプやランプカバーは確実に取り付けてください。取り付けが不十分だと電源が入りません。
- ランプには水銀が含まれています。使用済みのランプは、地域の蛍光管の廃棄ルールに従って廃棄してください。

## ランプ点灯時間初期化

ランプ交換をした後は、必ずランプ点灯時間の初期化をしてください。

本機はランプ点灯時間を記憶し、累計が交換時間に達すると、メッセージやインジケーターでお知らせします。

**1** 電源を入れます。

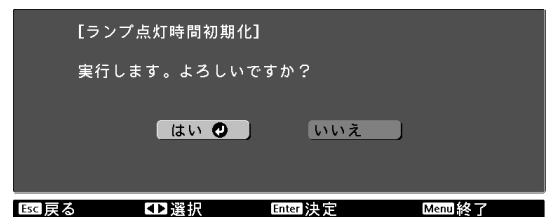
**2** Menu ボタンを押します。

環境設定メニューが表示されます。

**3** ［初期化］－［ランプ点灯時間初期化］を選択します。

初期化を確認する画面が表示されます。

**4** ◁▷ ボタンで［はい］を選択し、Enter ボタンを押して実行します。

ランプ点灯時間が初期化されます。

#  オプション・消耗品一覧

下記のオプション•消耗品を用意しています。 用途に合わせてお買い求めください。 これらのオプション•消耗品類は2012年9月現在のものです。 予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

## オプション品

| 名称 | 型番 | 説明 |
|---|---|---|
| 天吊り金具※ | ELPMB30 | 本機を天井に取り付けるときに使います。 |
| | ELPMB22 | |
| パイプ600（600mmホワイト）※ | ELPFP07 | 高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。 |
| パイプ450（450mmホワイト）※ | ELPFP13 | |
| パイプ700（700mmホワイト）※ | ELPFP14 | |
| RF方式3Dメガネ | ELPGS03 | 複数人で楽しむときに追加で購入してください。 |
| ケーブルカバー | ELPCC04B (Black)、ELPCC04W (White) | 天吊り時に雑然としたケーブル類をきれいに包み隠し、スッキリとした外観となります。HDMIケーブルクランプでケーブルを固定している場合は、ケーブルカバーは取り付けられません。 |
| USB充電AC電源アダプター | ELPAC01 | 3Dメガネを充電するときに使います。 |

※ 天吊り設置には特別な技術が必要となります。 お買い求めいただいた販売店にご相談ください。

## 消耗品

| 名称 | 型番 | 説明 |
|---|---|---|
| 交換用ランプ | ELPLP69 | 使用済みランプと交換します。（ランプ1個） |
| エアフィルター | ELPAF39 | 使用済みのエアフィルターと交換します。（エアフィルター1枚） |

# 対応解像度一覧

## コンポーネントビデオ

| 信号 | リフレッシュレート（Hz） | 解像度（ドット） |
|---|---|---|
| SDTV（480i） | 60 | 720 x 480 |
| SDTV（576i） | 50 | 720 x 576 |
| SDTV（480p） | 60 | 720 x 480 |
| SDTV（576p） | 50 | 720 x 576 |
| HDTV（720p） | 50/60 | 1280 x 720 |
| HDTV（1080i） | 50/60 | 1920 x 1080 |
| HDTV（1080p） | 50/60 | 1920 x 1080 |

## コンポジットビデオ

| 信号 | リフレッシュレート（Hz） | 解像度（ドット） |
|---|---|---|
| TV（NTSC） | 60 | 720 x 480 |
| TV（SECAM） | 50 | 720 x 576 |
| TV（PAL） | 50/60 | 720 x 576 |

## コンピューター映像（アナログRGB）

| 信号 | リフレッシュレート（Hz） | 解像度（ドット） |
|---|---|---|
| VGA | 60/72/75/85 | 640 x 480 |
| SVGA | 56/60/72/75/85 | 800 x 600 |
| XGA | 60/70/75/85 | 1024 x 768 |
| SXGA | 70/75/85 | 1152 x 864 |
| | 60/75/85 | 1280 x 960 |
| | 60/75/85 | 1280 x 1024 |
| WXGA | 60 | 1280 x 768 |
| | 60 | 1360 x 768 |
| | 60/75/85 | 1280 x 800 |

## HDMI1/HDMI2入力信号

| 信号 | リフレッシュレート（Hz） | 解像度（ドット） |
|---|---|---|
| VGA | 60 | 640 x 480 |
| SDTV（480i） | 60 | 720 x 480 |
| SDTV（576i） | 50 | 720 x 576 |
| SDTV（480p） | 60 | 720 x 480 |
| SDTV（576p） | 50 | 720 x 576 |
| HDTV（720p） | 50/60 | 1280 x 720 |
| HDTV（1080i） | 50/60 | 1920 x 1080 |
| HDTV（1080p） | 24/50/60 | 1920 x 1080 |

## 3D入力信号

| 信号 | リフレッシュレート（Hz） | 解像度（ドット） | 3Dフォーマット | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | フレームパッキング | サイドバイサイド | トップアンドボトム |
| HDTV750p（720p） | 50/60 | 1280 x 720 | ✓ | ✓ | ✓ |
| HDTV1125i（1080i） | 50/60 | 1920 x 1080 | - | ✓ | - |
| HDTV1125p（1080p） | 50/60 | 1920 x 1080 | - | ✓ | - |
| HDTV1125p（1080p） | 24 | 1920 x 1080 | ✓ | - | ✓ |

## WirelessHD入力信号

| 信号 | リフレッシュレート（Hz） | 解像度（ドット） |
|---|---|---|
| VGA | 60 | 640 x 480 |
| SDTV（480i） | 60 | 720 x 480 |
| SDTV（576i） | 50 | 720 x 576 |
| SDTV（480p） | 60 | 720 x 480 |
| SDTV（576p） | 50 | 720 x 576 |
| HDTV（720p）※ | 50/60 | 1280 x 720 |
| HDTV（1080i） | 50/60 | 1920 x 1080 |
| HDTV（1080p）※ | 24/50/60 | 1920 x 1080 |

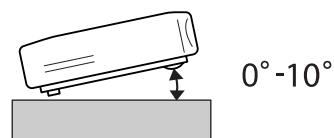
※ WirelessHDで投写するときは1080p 60/50 Hz、1080P 24 Hzフレームパッキング、720P 50/60 HzフレームパッキングはDeep Color に対応していません。

#  仕様一覧

| 商品名 | | EH-TW8100W | EH-TW8100 |
|---|---|---|---|
| 外形寸法（フット含まず） | | 466（幅） x 140（高さ） x 395（奥行き） mm | |
| パネルサイズ | | 0.74型ワイド | |
| 表示方式 | | ポリシリコンTFTアクティブマトリクス | |
| 画素数 | | 横1920 x 縦1080 x 3 | |
| 走査周波数 | デジタル | ピクセルクロック：13.5 - 148.5 MHz | |
| | | 水平：15.6 - 67.5 kHz | |
| | | 垂直：24 - 60 Hz | |
| | アナログ | ピクセルクロック：13.5 - 157.5 MHz | |
| | | 水平：15.6 - 91.2 kHz | |
| | | 垂直：50 - 85 Hz | |
| フォーカス調整 | | 手動 | |
| ズーム調整 | | 手動（約1：2.1） | |
| ランプ（光源） | | UHEランプ　定格230W、型番：ELPLP69 | |
| 電源 | | 100 - 240 V AC±10%、50/60 Hz、3.7 - 1.6 A | |
| 消費電力 | 100 - 120 Vエリア | 定格消費電力：357 W | |
| | | 待機時消費電力：0.30 W<br>待機時消費電力：7.5 W※ | |
| | 220 - 240 Vエリア | 定格消費電力：340 W | |
| | | 待機時消費電力：0.39 W<br>待機時消費電力：8.4 W※ | |
| 動作高度 | | 標高0～2286 m | |
| 動作温度範囲 | | ＋5～＋35℃（結露しないこと） | |
| 保存温度範囲 | | −10～＋60℃（結露しないこと） | |
| 質量 | | 約8.6 kg | 約8.4 kg |
| 接続端子 | | Component入力端子x1系統、3RCAピンジャック | |
| | | PC入力端子x1系統、ミニD-sub 15pin（メス）青色 | |
| | | HDMI入力端子x2系統、HDMI<br>HDCP対応、CEC信号対応、Deep Color | |
| | | Video入力端子x1系統、RCAピンジャック | |
| | | RS-232C端子x1系統、D-sub 9pin（オス） | |
| | | Trigger out端子x1系統、3.5mmミニジャック | |

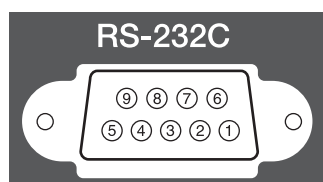
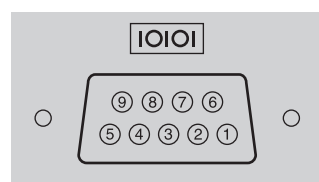
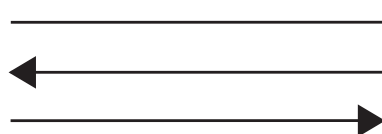
※ EH-TW8100WでWirelessHDトランスミッターを使用し、以下の条件を満たす場合
［設定］ - ［WirelessHD］ - ［WirelessHD］ - ［オン］
［設定］ - ［HDMIリンク］ - ［電源オン連動］ が ［双方向］ または ［接続機器→PJ］ ☛ p.71

### 傾斜角度

10°以上傾けて使用すると、故障や事故の原因となります

### RS-232Cケーブル配線

RS232Cクロスケーブルをお使いください。

- コネクター形状：D-sub 9pin（オス）
- プロジェクター入力端子名：RS-232C
- 信号名：

| 信号名 | 機能 |
|---|---|
| GND | 各信号線の接地 |
| TD | 送信データ |
| RD | 受信データ |

- 通信プロトコル
  ボーレート基準速度：9600 bps
  データ長：8 bit
  パリティ：なし
  ストップビット：1 bit
  フロー制御：なし

#  用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細に付いては市販の書籍などを利用してください。

| | |
|---|---|
| HDCP | High-bandwidth Digital Content Protectionの略で、DVIやHDMI端子を経由して送受信するデジタル信号を暗号化し、不正なコピーを防止する著作権保護技術です。本機のHDMI入力端子はHDCPに対応しているため、HDCP技術で保護されたデジタル映像を投写できます。ただし、HDCPの規格変更等が行われたときは、変更後の規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなる場合があります。 |
| HDMI™ | High Definition Multimedia Interfaceの略で、HD映像と、マルチチャンネルオーディオ信号をデジタル伝送する規格のことをいいます。<br>HDMI™はデジタル家電やコンピューターをターゲットにした規格であり、デジタル信号を圧縮せず高品質のまま転送でき、デジタル信号の暗号化機能もあります。 |
| HDTV | High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。<br>• 垂直解像度720p、1080i以上（pはプログレッシブ走査、i はインターレース走査）<br>• 画面のアスペクトは16：9・ドルビーデジタル音声の受信、再生（あるいは出力） |
| NTSC | National Television Standards Committeeの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式の一つ。この方式は日本や北米、中南米で利用されています。 |
| PAL | Phase Alternation by Lineの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式の一つ。この方式はフランス以外の西ヨーロッパ諸国をはじめ、中国などのアジア諸国やアフリカなどで利用されています。 |
| SDTV | Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満たさない標準テレビ放送のことです。 |
| SECAM | SEquential Couleur A Memoireの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式の一つ。 フランス、東ヨーロッパや旧ソ連、中東、アフリカなどで利用されています。 |
| SVGA | 画面サイズの規格で、横800ドットx縦600ドットのものを呼びます。 |
| SXGA | 画面サイズの規格で、横1,280ドットx縦1,024ドットのものを呼びます。 |
| VGA | 画面サイズの規格で、横640ドットx縦480ドットのものを呼びます。 |
| XGA | 画面サイズの規格で、横1,024ドットx縦768ドットのものを呼びます。 |
| YCbCr | SDTV用のコンポーネント映像信号で、Yが輝度、Cb、Crが色差を表します。 |
| YPbPr | HDTV用のコンポーネント映像信号で、Yが輝度、Pb、Prが色差を表します。 |
| アスペクト比 | 画面の横と縦の比率をいいます。横：縦の比率が16：9の、HDTVなどの画面をワイド画面といいます。<br>SDTVや、一般的なコンピューターのディスプレイのアスペクト比は、4：3です。 |
| インターレース | 1つの画面を作り出す情報を上から下へひとつ飛ばしに伝送します。1フレームの表示が1ラインおきとなるため、ちらつき（フリッカー）が出やすくなります。 |
| ペアリング | Bluetooth機器で接続するとき、相互に通信できるよう、あらかじめ機器を登録することです。 |

# 一般のご注意

### ご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
(4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
(7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

### 使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

### 本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源ケーブルを現地にてお求めください。

### 瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。 電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

### JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

## 商標について

HDMIとHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI LicensingLLCの商標、または登録商標です。

WirelessHD、WiHD、およびWiHDロゴはWirelessHD LLC.の商標または登録商標です。

Full HD 3D Glasses™とFull HD 3D Glasses™ロゴはFull HD 3D Glasses Initiative™の商標または登録商標です。

Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, Inc.の商標です。

InstaPrevueおよびInstaPrevueロゴは、Silicon Image, Inc.の商標または登録商標です。

Bluetopia® is provided for your use by Stonestreet One, LLC® under a software license agreement. Stonestreet One, LLC® is and shall remain the sole owner of all right, title and interest whatsoever in and to Bluetopia® and your use is subject to such ownership and to the license agreement. Stonestreet One, LLC® reserves all rights related to Bluetopia® not expressly granted under the license agreement and no other rights or licenses are granted either directly or by implication, estoppel or otherwise, or under any patents, copyrights, mask works, trade secrets or other intellectual property rights of Stonestreet One, LLC®.


なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

## 数字・アルファベット


2画面 ........ 63, 76
2画面終了 ........ 76
3D明るさ調整 ........ 68
3D映像 ........ 43
3D奥行き調整 ........ 68
3D設定 ........ 68
3D表示 ........ 68
3D方式設定 ........ 68
3Dメガネ ........ 43
3Dメガネ左右反転 ........ 68
3Dメガネ充電端子 ........ 52
3Dメガネの掃除 ........ 90
CEC規格 ........ 61
Component ........ 74
Deep Color ........ 75
EPSON Super White ........ 70
HDMI1入力端子 ........ 20, 21
HDMI2入力端子 ........ 20, 21
HDMI端子 ........ 61
HDMIリンク ........ 61
HDMIビデオレベル ........ 70
Linkインジケーター ........ 52
PC入力端子 ........ 21
RGB ........ 67
RGBCMY ........ 33, 67
RGBの調整 ........ 35
WiHDインジケーター ........ 52
WirelessHD ........ 51, 71
WirelessHD機器の接続 ........ 21


## ア


明るさ ........ 66
明るさ切替 ........ 67
アスペクト ........ 31, 68
アドバンスト ........ 67, 69
異常/警告インジケーター ........ 77
イルミネーション ........ 73
色合い ........ 66
色の濃さ ........ 66
インジケーター ........ 77
動き検出 ........ 69
エアフィルターカバー ........ 88, 91
エアフィルターの掃除 ........ 88
エアフィルター ........ 88
エアフィルターの交換 ........ 91
エアフィルターの交換時期 ........ 90
映像メニュー ........ 68
オートアイリス ........ 37, 67
オーバースキャン ........ 70
オフセット ........ 35, 67


## カ


外形寸法 ........ 17
拡張設定メニュー ........ 73
画質 ........ 30
画質メニュー ........ 66
型番表示モード ........ 74
傾き調整 ........ 28
画面サイズ ........ 76
カラーモード ........ 30, 66
環境設定メニュー ........ 65
ガンマ ........ 33, 67
クールダウン ........ 25
ゲイン ........ 35, 67
言語 ........ 74
交換時期 ........ 90
高地モード ........ 73
子画面 ........ 59
コントラスト ........ 66
コンピューターとの接続 ........ 21
コンポーネント入力端子 ........ 20


## サ


彩度 ........ 33, 67
サブメニュー ........ 65
左右画面入替 ........ 76
色相 ........ 33, 67
視聴注意の表示 ........ 68
視聴範囲 ........ 46
自動絞り ........ 37
自動タテ補正 ........ 71
自動調整 ........ 69
シャープネス ........ 36, 66
受信感度 ........ 55, 71
仕様一覧 ........ 98
情報メニュー ........ 75
消耗品の交換 ........ 91
消耗品の交換時期 ........ 90
初期化 ........ 67, 70, 71, 73, 74
初期化メニュー ........ 75
シリアル番号 ........ 75
ズーム ........ 31
ズームサイズ ........ 68
ズーム字幕位置 ........ 68
ズーム調整 ........ 27
ズームリング ........ 9
スタートアップスクリーン ........ 74
スタンバイ確認 ........ 74
ステータス ........ 75
スライド式ヨコ補正 ........ 71
スリープモード ........ 73
接続 ........ 20
接続機器一覧 ........ 55, 71

接続機器名称削除 ........ 71
接続機器名称変更 ........ 71
絶対色温度 ........ 66
設置モード ........ 72
設定メニュー ........ 71
セットアップレベル ........ 69
全初期化 ........ 75
操作パネル ........ 9, 10
操作範囲 ........ 23
走査方式 ........ 75
操作ボタンロック ........ 72

**タ**

対応解像度 ........ 96
台形補正 ........ 29, 71
台形ゆがみ ........ 29
ダイレクトパワーオン ........ 73
タテ補正 ........ 71
タテヨコ ........ 71
チャイルドロック ........ 72
通信範囲 ........ 56
テストパターン表示 ........ 27
電源 ........ 24, 25
点灯時間 ........ 93
同期 ........ 68
同期情報 ........ 75
動作設定 ........ 73
投写サイズ ........ 19
投写サイズの調整 ........ 27
トップメニュー ........ 65
トラッキング ........ 68

**ナ**

入力解像度 ........ 75
入力信号 ........ 74, 75
入力ソース ........ 25, 75, 76
ノイズ ........ 82
ノイズリダクション ........ 69

**ハ**

背景表示 ........ 74
肌の色調整 ........ 66
左画面 ........ 76
ビデオ機器との接続 ........ 20
ビデオ信号方式 ........ 74, 75
ビデオ入力端子 ........ 20
表示位置 ........ 68
表示設定 ........ 74
ピント ........ 81
ピント調整 ........ 27
フォーカス調整 ........ 27
フォーカスリング ........ 9, 27
プログレッシブ変換 ........ 69
ペアリング ........ 45
本体の掃除 ........ 89

**マ**

右画面 ........ 76
明度 ........ 33, 67
メッセージ表示 ........ 74
メニュー ........ 65
メニューカラー ........ 74
メニュー表示位置 ........ 74
メモリー機能 ........ 40
メモリー削除 ........ 41, 75
メモリー初期化 ........ 41, 75
メモリー登録 ........ 40, 75
メモリー名称変更 ........ 41, 75
メモリーメニュー ........ 75
メモリー呼出 ........ 41, 75

**ヤ**

ユーザーボタン ........ 72
ヨコ補正 ........ 71
ヨコ補正スライダー ........ 9

**ラ**

ランプカバー ........ 9, 92
ランプカバー固定ネジ ........ 92
ランプ点灯時間 ........ 75
ランプ点灯時間初期化 ........ 75, 93
ランプの交換 ........ 92
ランプの交換時期 ........ 90
リフレッシュレート ........ 75
リモコン ........ 12, 23
レンズの掃除 ........ 90
ロック設定 ........ 72

**ワ**

ワイド ........ 31